

# 富岡町 住民意向調査 報告書

平成28年3月

復興庁  
福島県  
富岡町



# 富岡町 住民意向調査

## 報告書

### 目 次

<b>I 調査の概要</b> . . . . .	1
1-1 調査目的 . . . . .	3
1-2 調査内容 . . . . .	3
1-3 調査設計 . . . . .	3
1-4 回収結果 . . . . .	3
1-5 報告書の見方 . . . . .	3
<b>II 回答者の属性</b> . . . . .	5
2-1 回答者の属性 . . . . .	7
<b>III 調査結果</b> . . . . .	11
3-1 現在の状況 . . . . .	13
3-1-1 現在の避難先自治体 . . . . .	13
3-1-2 世帯構成・人数 . . . . .	15
3-1-3 職業 . . . . .	19
3-1-4 震災発生当時の住居形態 . . . . .	22
3-1-5 現在の住居形態 . . . . .	23
3-2 復興公営住宅の入居意向 . . . . .	26
3-2-1 復興公営住宅への入居意向 . . . . .	26
3-2-2 復興公営住宅への入居を希望する自治体と世帯構成 . . . . .	30
3-2-3 復興公営住宅へ入居する場合に必要なと考えるサービス . . . . .	34
3-2-4 復興公営住宅への入居を現時点で判断できない理由 . . . . .	36
3-2-5 復興公営住宅へ入居しない場合に希望する住居形態 . . . . .	38
3-2-6 復興公営住宅への入居を希望しない場合に居住したい自治体 . . . . .	40
3-3 将来の意向 . . . . .	41
3-3-1 富岡町への帰還意向 . . . . .	41
3-3-2 富岡町への帰還時期 . . . . .	46
3-3-3 避難指示解除まで待てる期間 . . . . .	48

3-3-4	富岡町へ戻る場合の家族	50
3-3-5	富岡町へ帰還した場合の仕事	52
3-3-6	富岡町へ帰還する場合の住居形態	55
3-3-7	富岡町への帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由	58
3-3-8	富岡町へ帰還する場合の災害公営住宅 (町が今後町内に整備する住宅)への希望	59
3-3-9	富岡町へ帰還する場合に今後の生活において必要な支援	61
3-3-10	帰還の判断がつかないあるいは戻らないと決めている理由	63
3-3-11	富岡町への帰還を判断する上で必要と思う情報	67
3-3-12	富岡町へ戻った場合に希望する仕事	70
3-3-13	帰還しない場合に居住したい自治体	72
3-3-14	帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態	74
3-3-15	富岡町との“つながり”を保ちたいか	75
3-4	意見・要望	77
<b>IV</b>	<b>◆参考資料</b>	<b>99</b>
4-1	使用調査票	101

# I 調査の概要



## 1-1 調査目的

本調査は、富岡町住民の復興公営住宅の入居意向など避難期間中の生活環境の整備や、帰還に向けた諸施策を適切に実施するための基礎資料とすることを目的とする。

## 1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

## 1-3 調査設計

(1) 調査地域	富岡町
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 7,076 世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	平成27年8月3日（月）～平成27年8月17日（月）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、富岡町
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

## 1-4 回収結果

有効回収数 3,635 世帯（有効回収率 51.4%）

## 1-5 報告書の見方

- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ $n$  値）が少数（概ね 30 を下回る）のものは、統計上、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。ただし、震災発生当時の住まいの行政区別の分析は  $n$  値が 30 を下回る場合も言及する場合がある。





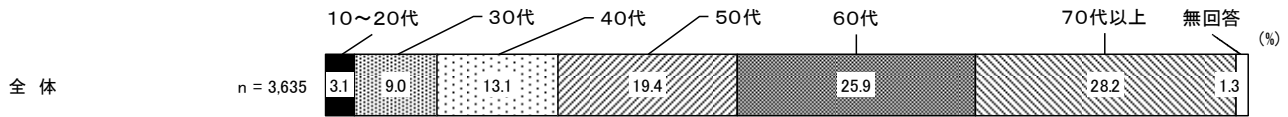
## II 回答者の属性



## 2-1 回答者の属性

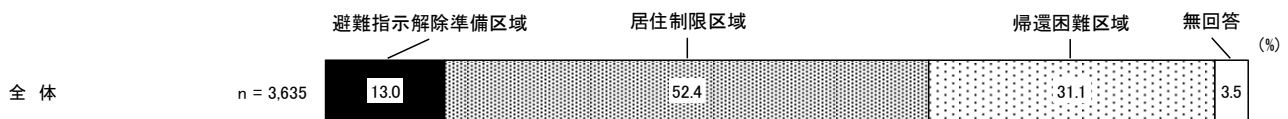
### (1) 年齢

<図表2-1-1>



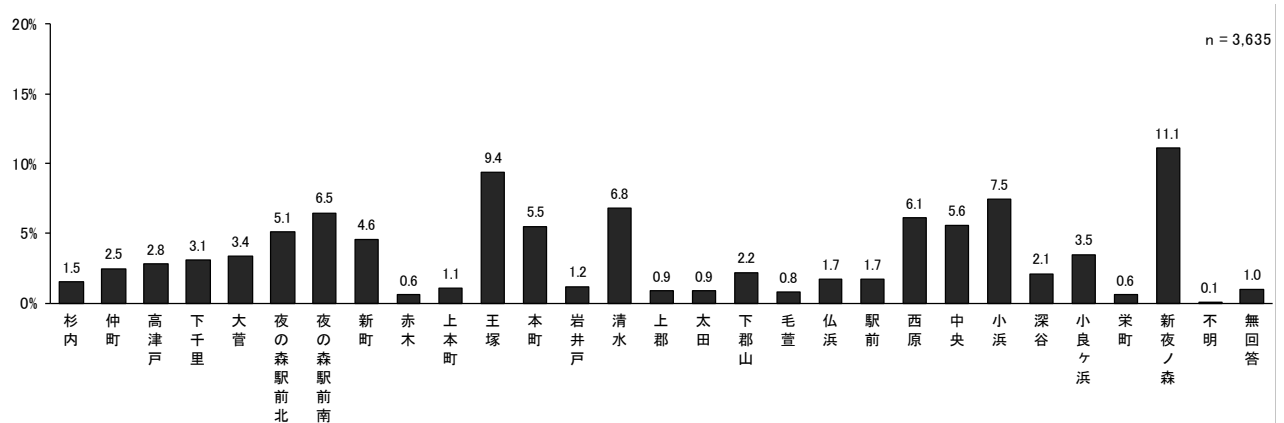
### (2) 震災発生当時の住まいの避難指示の状況（避難指示区域）

<図表2-1-2>



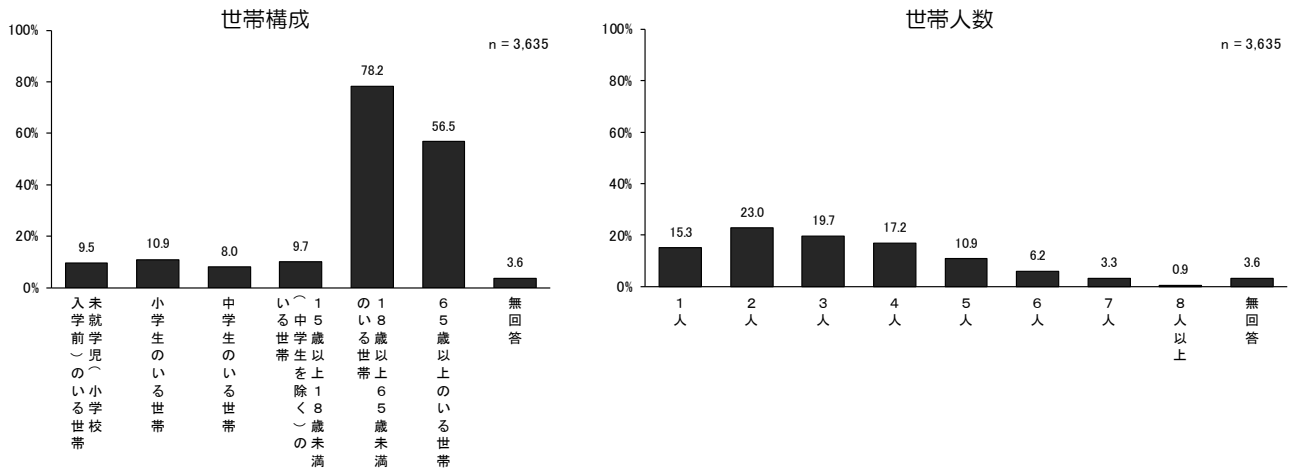
### (3) 震災発生当時の住まいの行政区

<図表2-1-3>



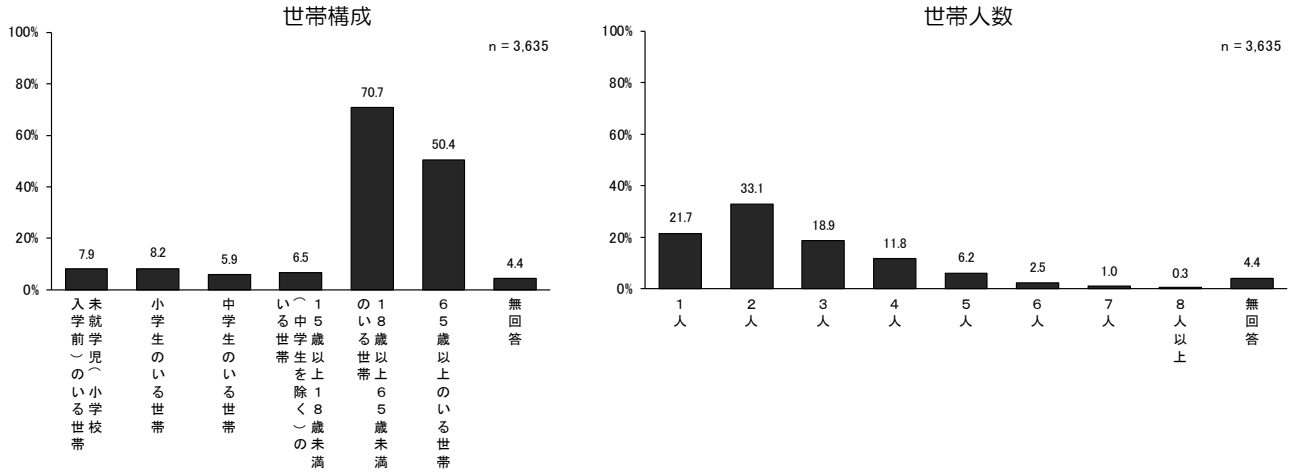
(4) 震災発生当時の世帯構成・人数

<図表2-1-4>



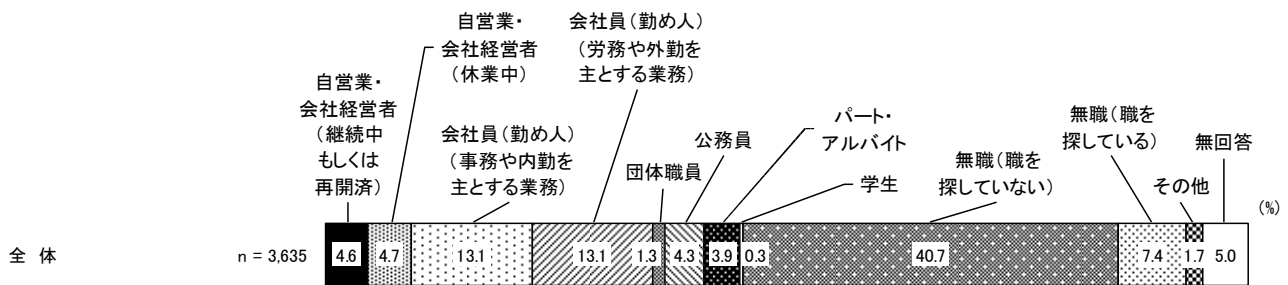
(5) 現在の世帯構成・人数

<図表2-1-5>



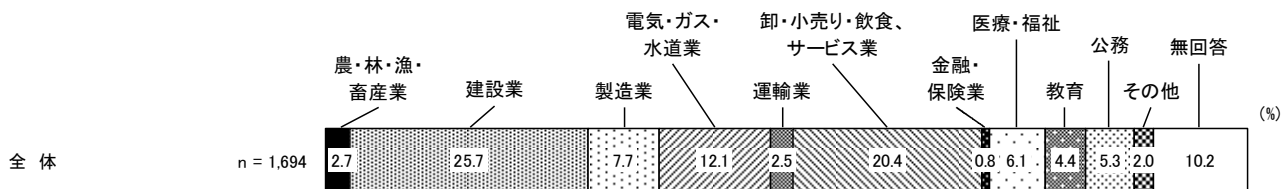
(6) 現在の職業（就業形態）

<図表2-1-6>



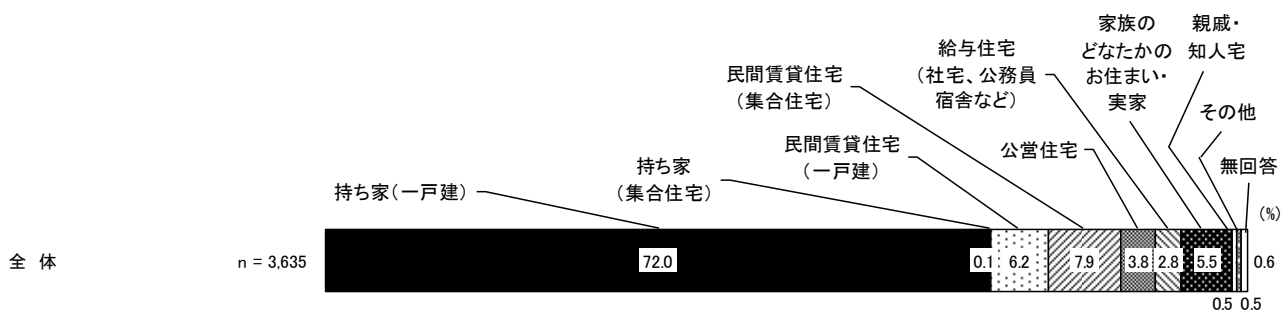
(7) 現在の職業（業種）

<図表2-1-7>



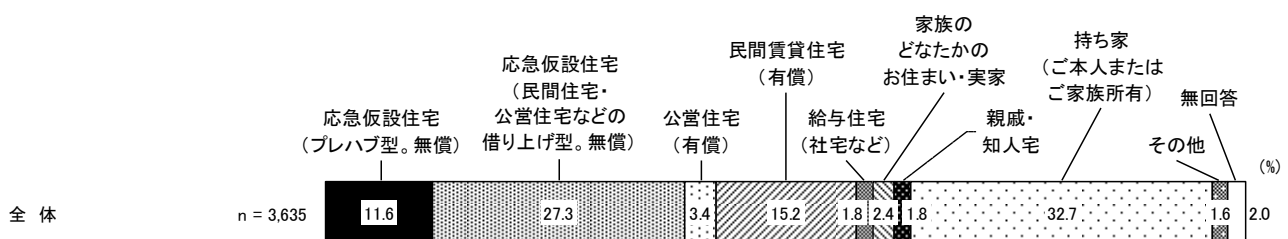
(8) 震災発生当時の住居形態

<図表2-1-8>



(9) 現在の住居形態

<図表2-1-9>





### **III 調査結果**





### 3-1 現在の状況

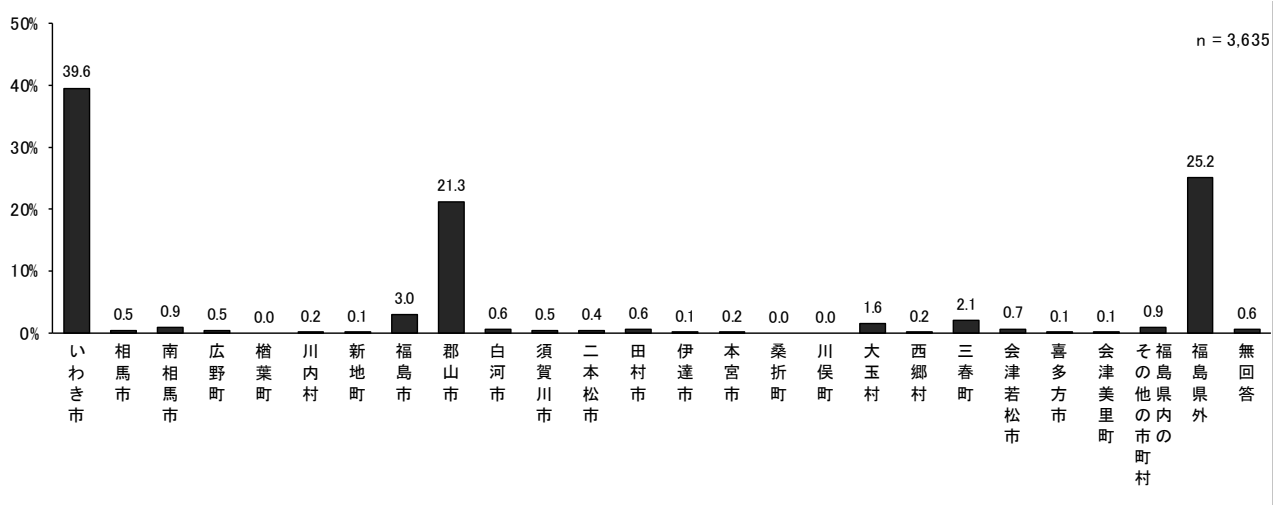
#### 3-1-1 現在の避難先自治体

問5 あなたが現在避難されている自治体を教えてください。(〇は1つ)

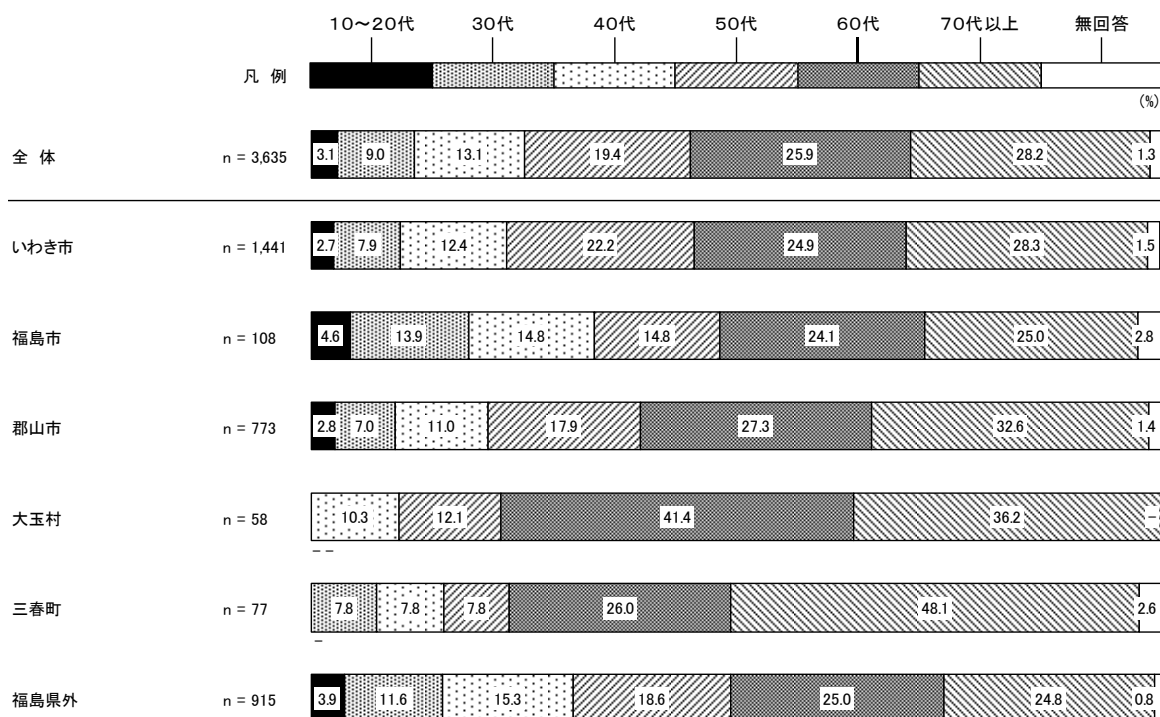
現在の避難先自治体については、「いわき市」が39.6%と最も高く、次いで「福島県外」が25.2%、「郡山市」が21.3%となっている。

主な避難先の自治体について、回答者の年齢別にみると、「大玉村」は60代以上(77.6%)で8割近く、「三春町」(74.1%)で7割台半ばを占め、高齢層で割合が高い。

<図表3-1-1-1 避難先自治体>



<図表3-1-1-2 主な避難先自治体の年齢構成>



### Ⅲ 調査結果

震災発生当時の住まいの行政区別にみると、岩井戸、清水、太田、下郡山、毛萱、栄町では「いわき市」が5割以上となっている。また、杉内、赤木では「郡山市」が3割以上となっている。

<図表3-1-1-3 主な避難先自治体（震災発生当時の住まいの行政区別）>

		(%)					
	n	いわき市	福島市	郡山市	大玉村	三春町	福島県外
全体	3,635	39.6	3.0	21.3	1.6	2.1	25.2
杉内	55	34.5	-	40.0	1.8	3.6	10.9
仲町	91	39.6	4.4	25.3	1.1	1.1	18.7
高津戸	102	40.2	3.9	20.6	2.0	2.0	23.5
下千里	111	33.3	0.9	29.7	2.7	2.7	21.6
大菅	123	31.7	3.3	23.6	2.4	2.4	29.3
夜の森駅前北	186	39.8	2.7	18.8	1.6	2.7	25.8
夜の森駅前南	235	34.5	3.0	23.4	1.7	1.3	28.9
新町	169	42.0	3.0	21.9	1.2	3.0	23.1
赤木	22	45.5	-	36.4	-	4.5	9.1
上本町	41	34.1	2.4	29.3	-	9.8	17.1
王塚	343	36.7	2.3	23.6	1.7	2.6	26.2
本町	199	42.2	2.5	20.6	0.5	2.5	25.1
岩井戸	44	50.0	6.8	20.5	-	4.5	18.2
清水	247	50.6	0.8	15.4	1.6	-	25.9
上郡	33	48.5	6.1	21.2	6.1	-	15.2
太田	33	63.6	-	9.1	-	3.0	18.2
下郡山	79	50.6	3.8	16.5	-	1.3	20.3
毛萱	30	63.3	-	6.7	3.3	3.3	6.7
仏浜	63	31.7	-	25.4	6.3	1.6	30.2
駅前	61	42.6	6.6	18.0	3.3	1.6	23.0
西原	223	48.4	4.0	16.6	3.6	1.8	19.7
中央	204	38.7	3.9	22.5	2.0	2.0	26.5
小浜	274	36.5	5.5	15.7	0.4	2.6	32.5
深谷	76	44.7	-	19.7	-	2.6	26.3
小良ヶ浜	127	35.4	2.4	23.6	1.6	0.8	27.6
栄町	22	50.0	-	9.1	4.5	-	27.3
新夜ノ森	402	34.1	3.5	24.4	0.7	2.2	27.6
不明	4	25.0	-	25.0	-	-	50.0

### 3-1-2 世帯構成・人数

#### (1) 震災発生当時の世帯構成・人数

問6 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。

(1) 「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。

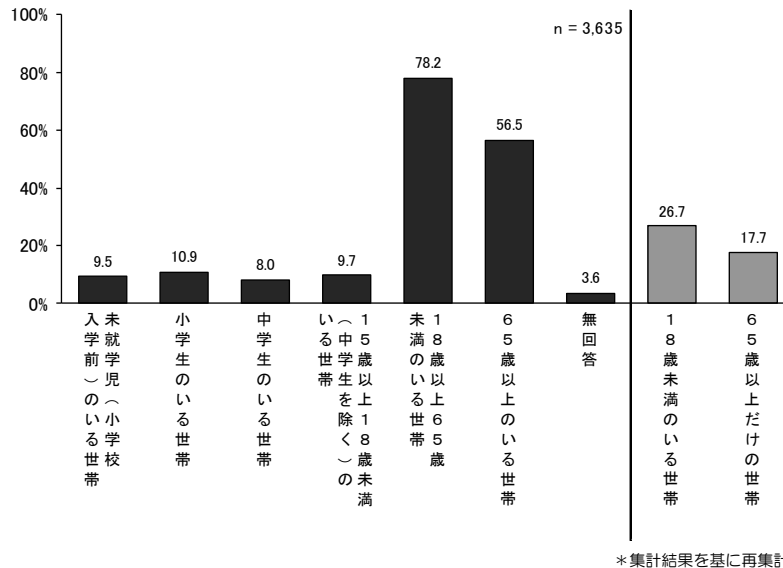
あなた自身を含めて、現在の年齢等にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

#### ① 震災発生当時の世帯構成

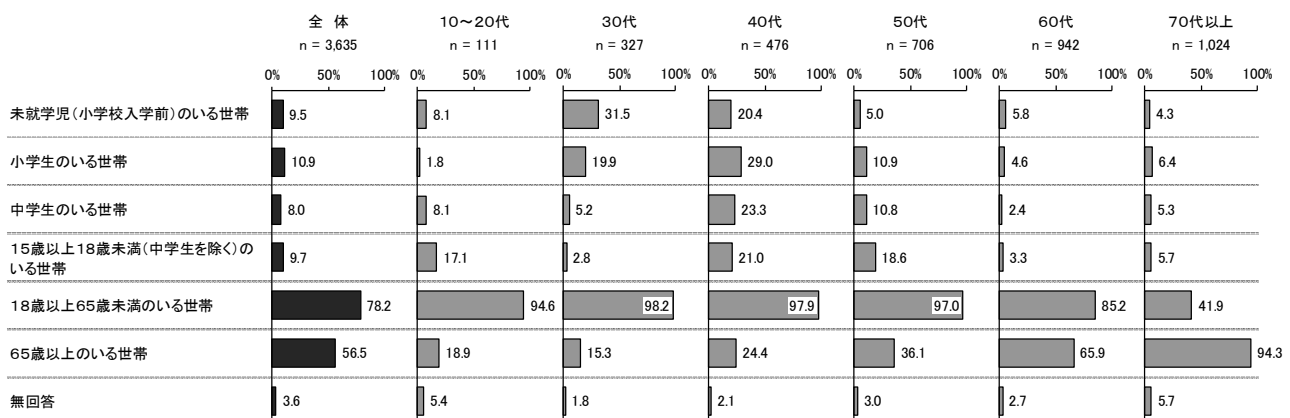
震災発生当時の世帯構成は、「18歳以上65歳未満のいる世帯」が78.2%、「65歳以上のいる世帯」が56.5%となっている。一方、「未就学児(小学校入学前)のいる世帯」(9.5%)、「小学生のいる世帯」(10.9%)、「中学生のいる世帯」(8.0%)、「15歳以上18歳未満(中学生を除く)のいる世帯」(9.7%)はいずれも概ね1割となっている。

また、「18歳未満のいる世帯」が26.7%、「65歳以上だけの世帯」が17.7%となっている。

<図表3-1-2-1 震災発生当時の世帯構成>



<図表3-1-2-2 震災発生当時の世帯構成(年齢別)>

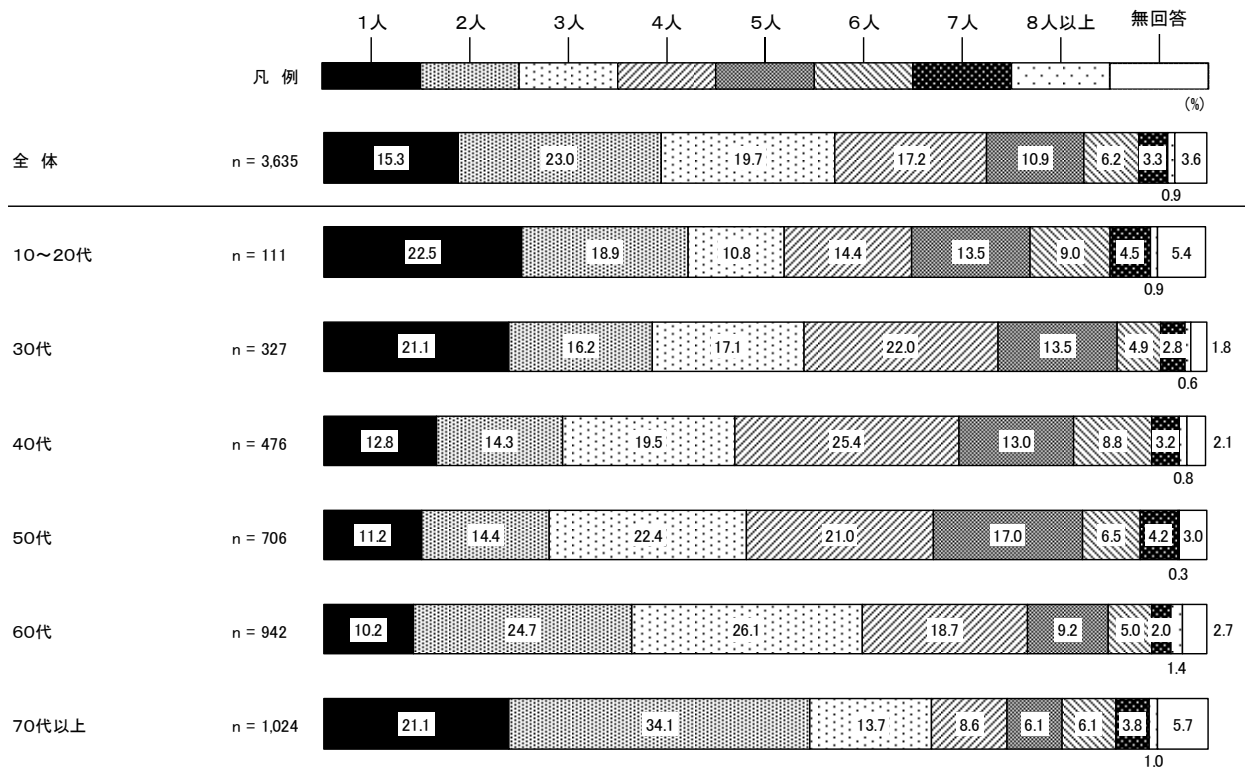


② 震災発生当時の世帯人数

震災発生当時の世帯人数は、「2人」が23.0%と最も高く、次いで「3人」が19.7%、「4人」が17.2%、「1人」が15.3%となっている。

回答者の年齢別にみると、「2人」は70代以上(34.1%)で、「3人」は60代(26.1%)で、「4人」は40代(25.4%)で、「1人」は10~20代(22.5%)、30代(21.1%)、70代以上(21.1%)で他の年齢と比べて高くなっている。

<図表3-1-2-3 震災発生当時の世帯人数(年齢別)>



(2) 現在の世帯構成・人数

問6 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。

(2)「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。

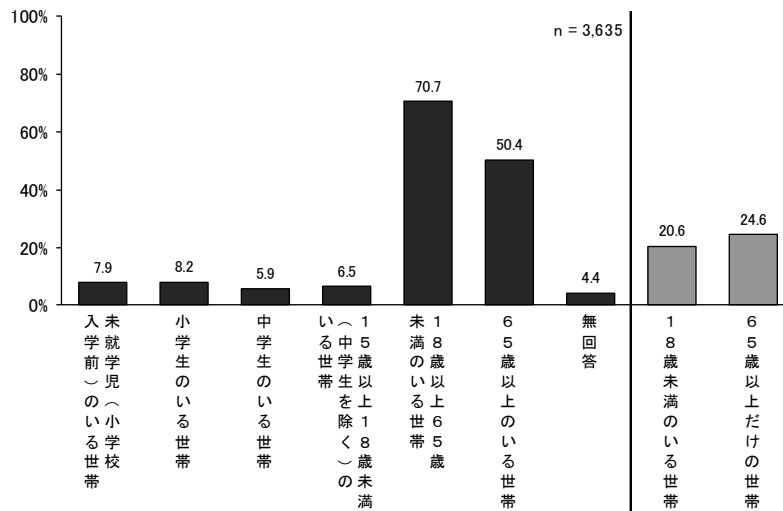
あなた自身を含めて、現在の年齢等にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

① 現在の世帯構成

現在の世帯構成は、「18歳以上65歳未満のいる世帯」が70.7%、「65歳以上のいる世帯」が50.4%となっている。

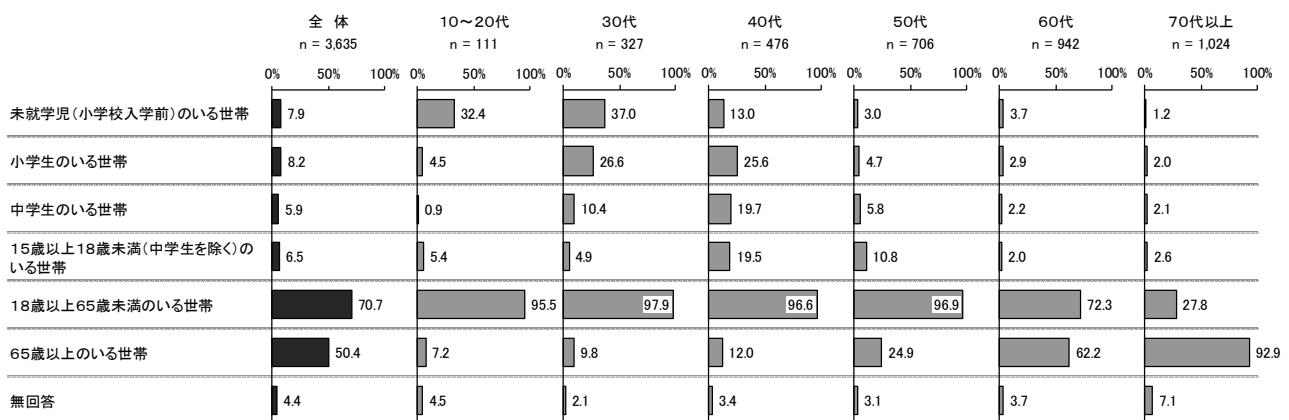
また、「18歳未満のいる世帯」が20.6%、「65歳以上だけの世帯」が24.6%となっている。

<図表3-1-2-4 現在の世帯構成>



\*集計結果を基に再集計

<図表3-1-2-5 現在の世帯構成(年齢別)>

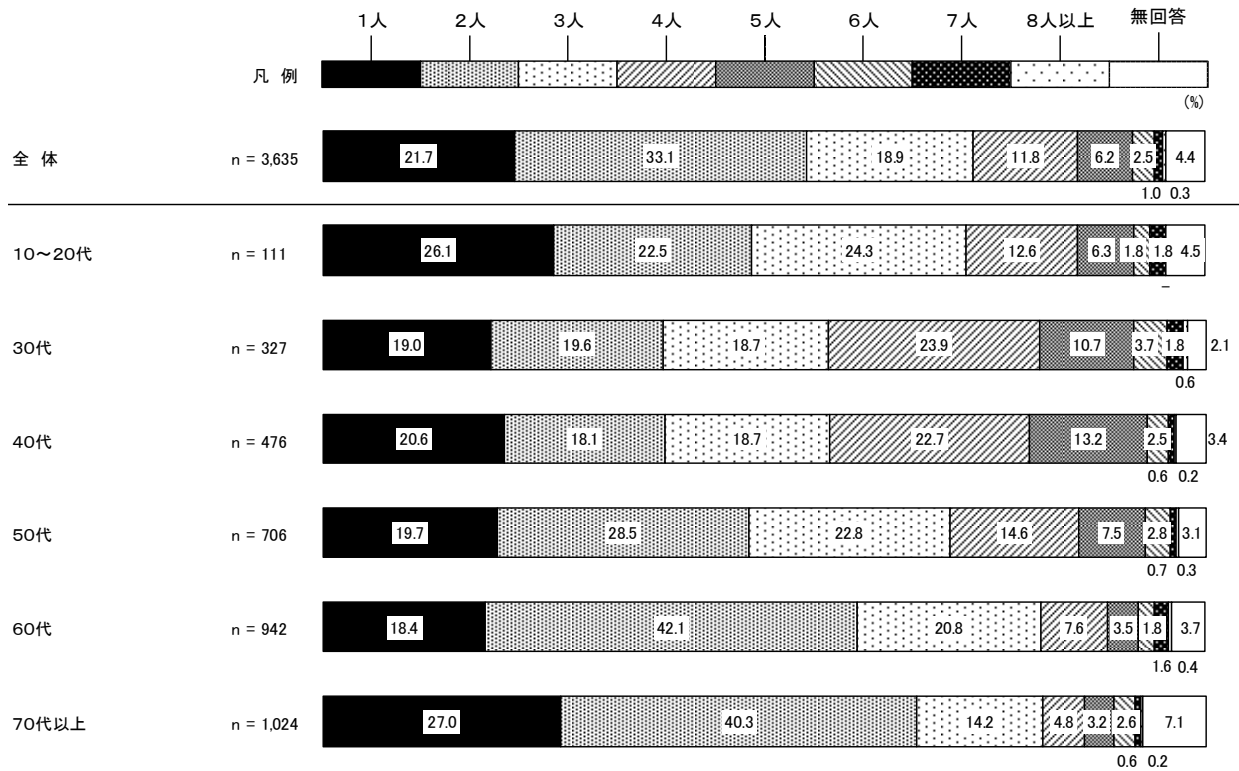


② 現在の世帯人数

現在の世帯人数は、「2人」が33.1%と最も高く、次いで「1人」が21.7%、「3人」が18.9%となっている。

回答者の年齢別にみると、「2人」は60代（42.1%）、70代以上（40.3%）で、「1人」は10～20代（26.1%）、70代以上（27.0%）で、「3人」は10～20代（24.3%）で、「4人」は30代（23.9%）、40代（22.7%）で他の年齢と比べて高くなっている。

<図表3-1-2-6 現在の世帯人数（年齢別）>



### 3-1-3 職業

#### (1) 現在の職業（就業形態）

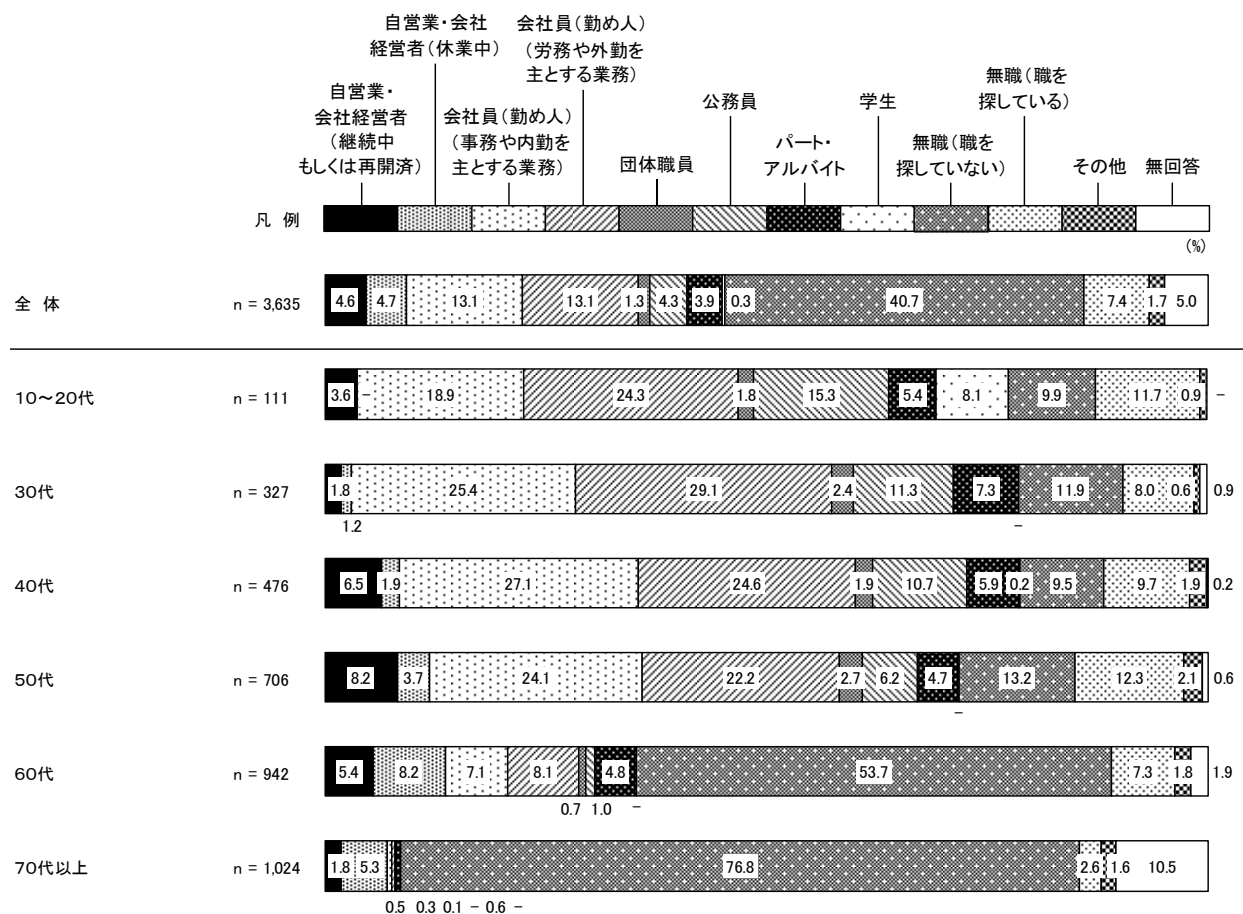
問2 現在のあなたの職業を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

(1) 職業（就業形態）(〇は1つ)

現在の職業（就業形態）については、「無職」（職を探していない・職を探している）以外では、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」、「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」がともに13.1%となっている。

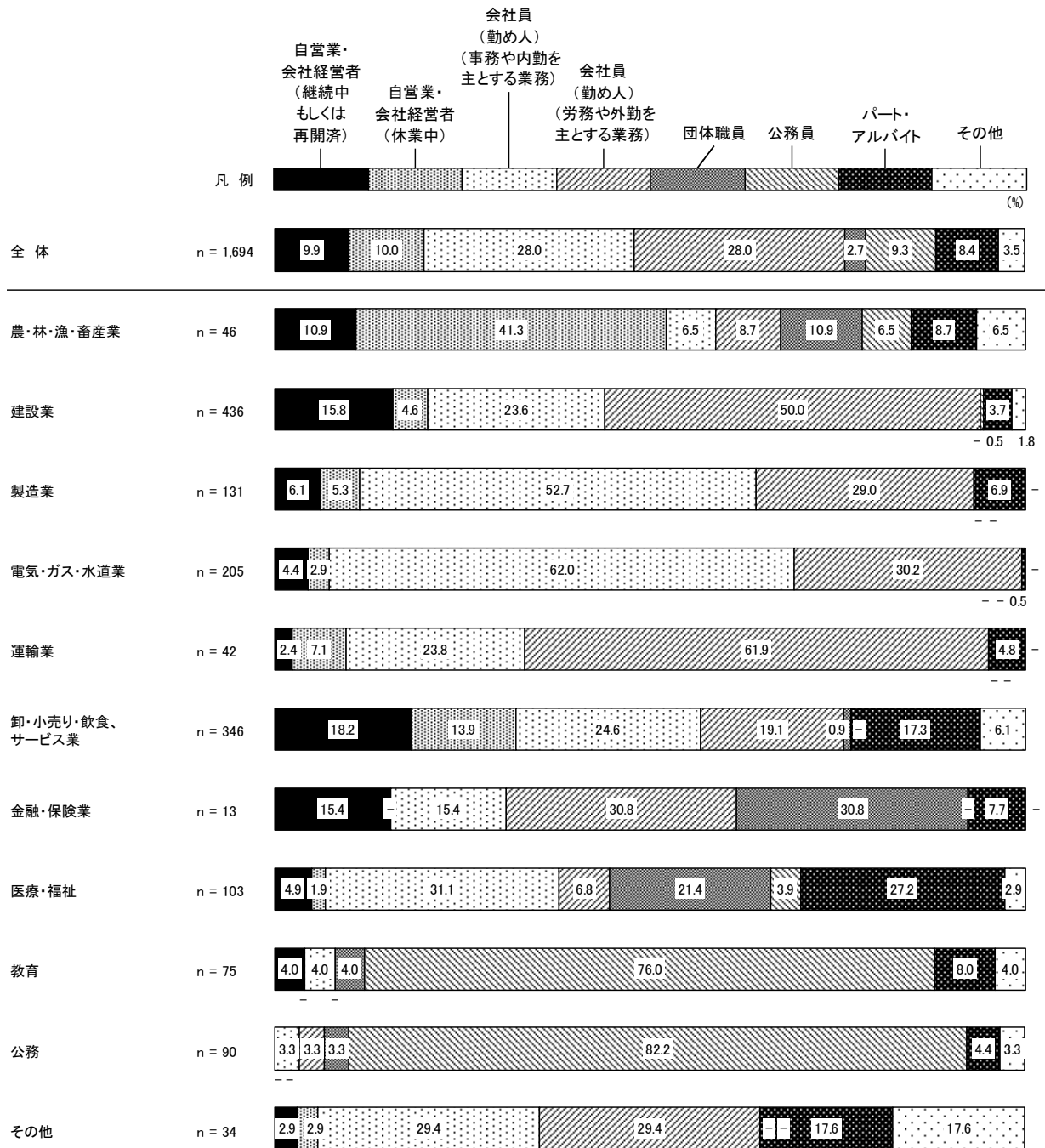
回答者の年齢別にみると、10～20代で「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が24.3%、30代で「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が29.1%、40代で「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が27.1%、50代で「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が24.1%、60代で「無職（職を探していない）」が53.7%、70代以上で「無職（職を探していない）」が76.8%とそれぞれの年齢で最も割合が高くなっている。

<図表3-1-3-1 現在の職業（年齢別）>



業種別にみると、「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」は運輸業（61.9%）、建設業（50.0%）で、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」は電気・ガス・水道業（62.0%）、製造業（52.7%）で、他の業種と比べて高くなっている。

<図表3-1-3-2 現在の職業（業種別）>





(2) 現在の業種

問2 現在のあなたの職業を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

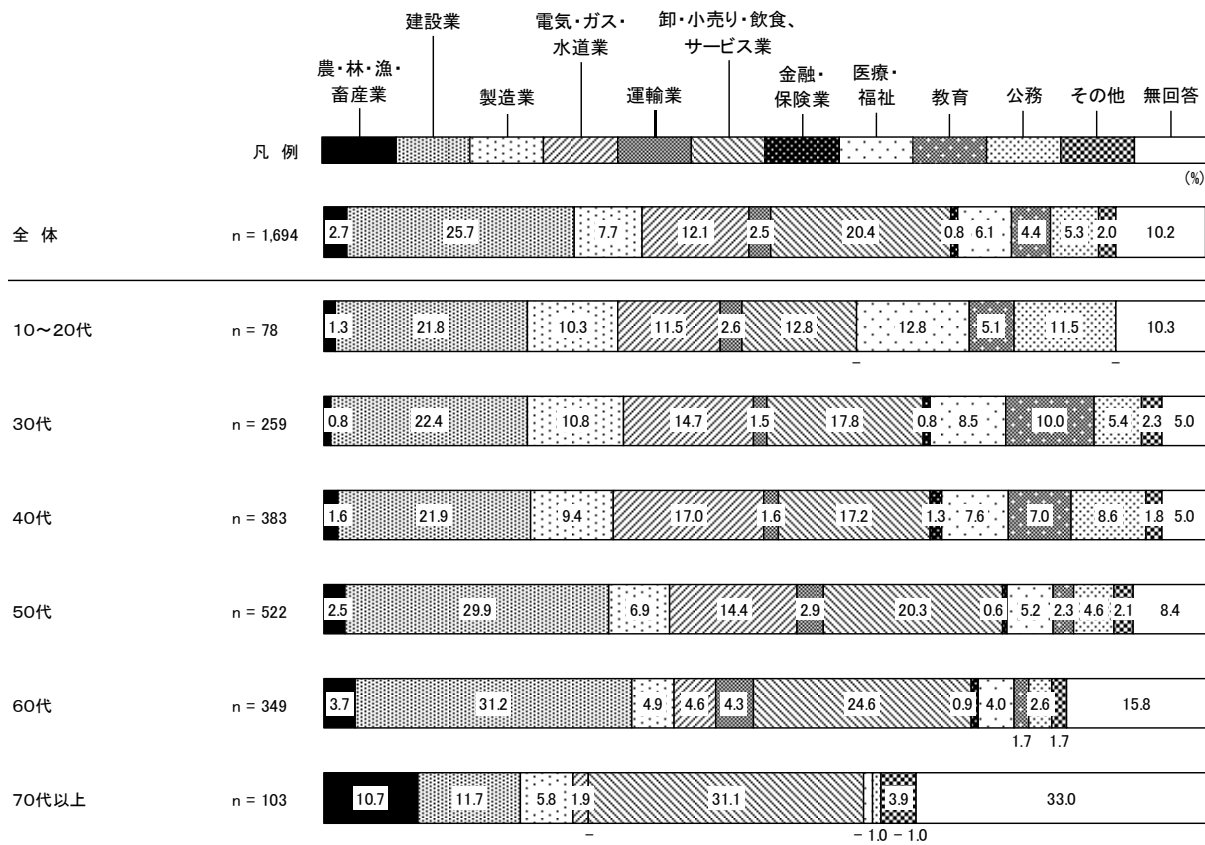
【仕事に就いている方(問2(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方)にうかがいます。】

(2) 業種 (〇は1つ)

現在の業種については、「建設業」が25.7%と最も高く、次いで「卸・小売り・飲食、サービス業」が20.4%、「電気・ガス・水道業」が12.1%となっている。

回答者の年齢別にみると、「建設業」は60代(31.2%)で、「卸・小売り・飲食、サービス業」は70代(31.1%)で高くなっている。

<図表3-1-3-3 業種(年齢別)>



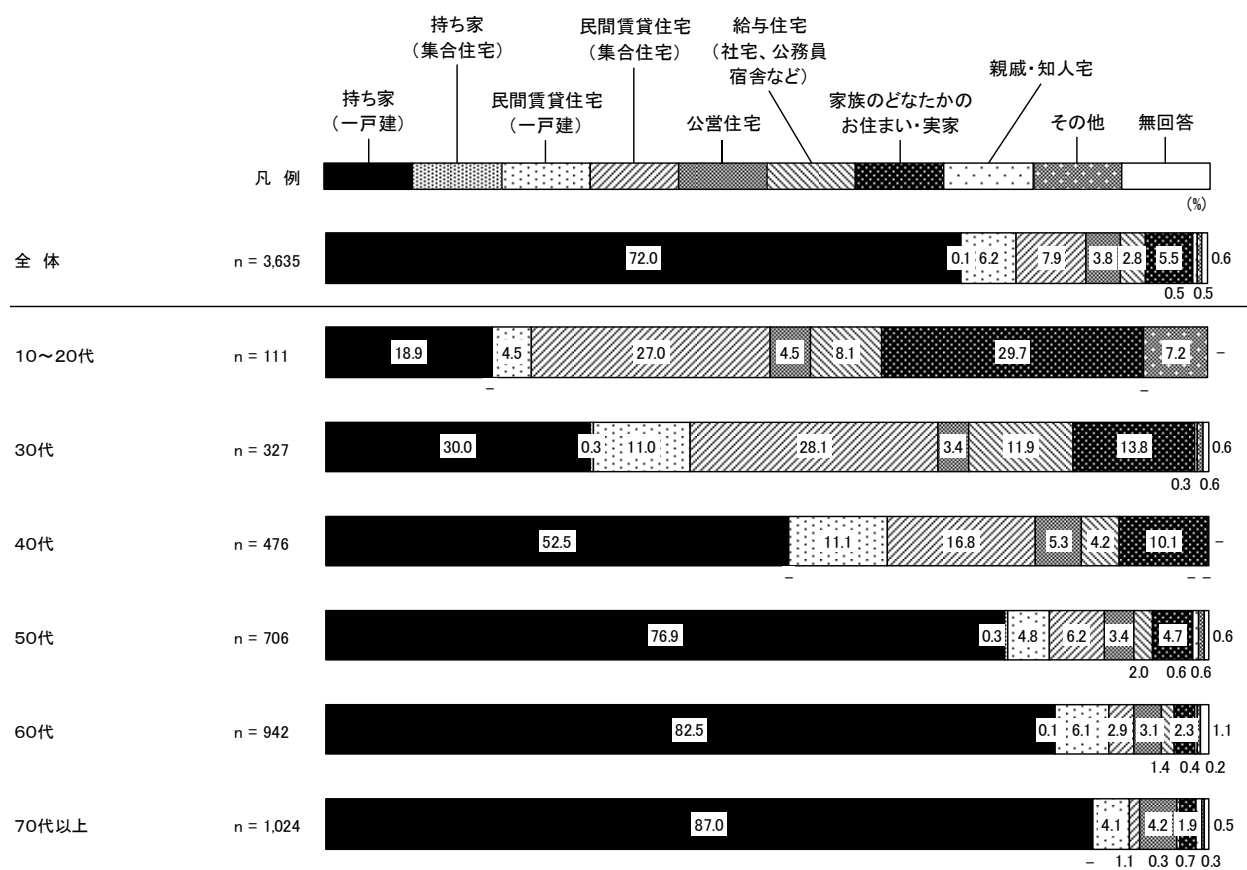
### 3-1-4 震災発生当時の住居形態

問4 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(〇は1つ)

震災発生当時の住居形態については、「持ち家（一戸建）」が72.0%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」が7.9%、「民間賃貸住宅（一戸建）」が6.2%となっている。

回答者の年齢別にみると、「持ち家（一戸建）」は年齢が高くなるにつれ割合が高くなり、70代以上では87.0%と9割近くを占める。「民間賃貸住宅（集合住宅）」は10～20代（27.0%）、30代（28.1%）、40代（16.8%）で高い。また、「家族のどなたかのお住まい・実家」は若年層で高く、10～20代で29.7%、30代で13.8%となっている。

<図表3-1-4-1 震災発生当時の住居形態（年齢別）>



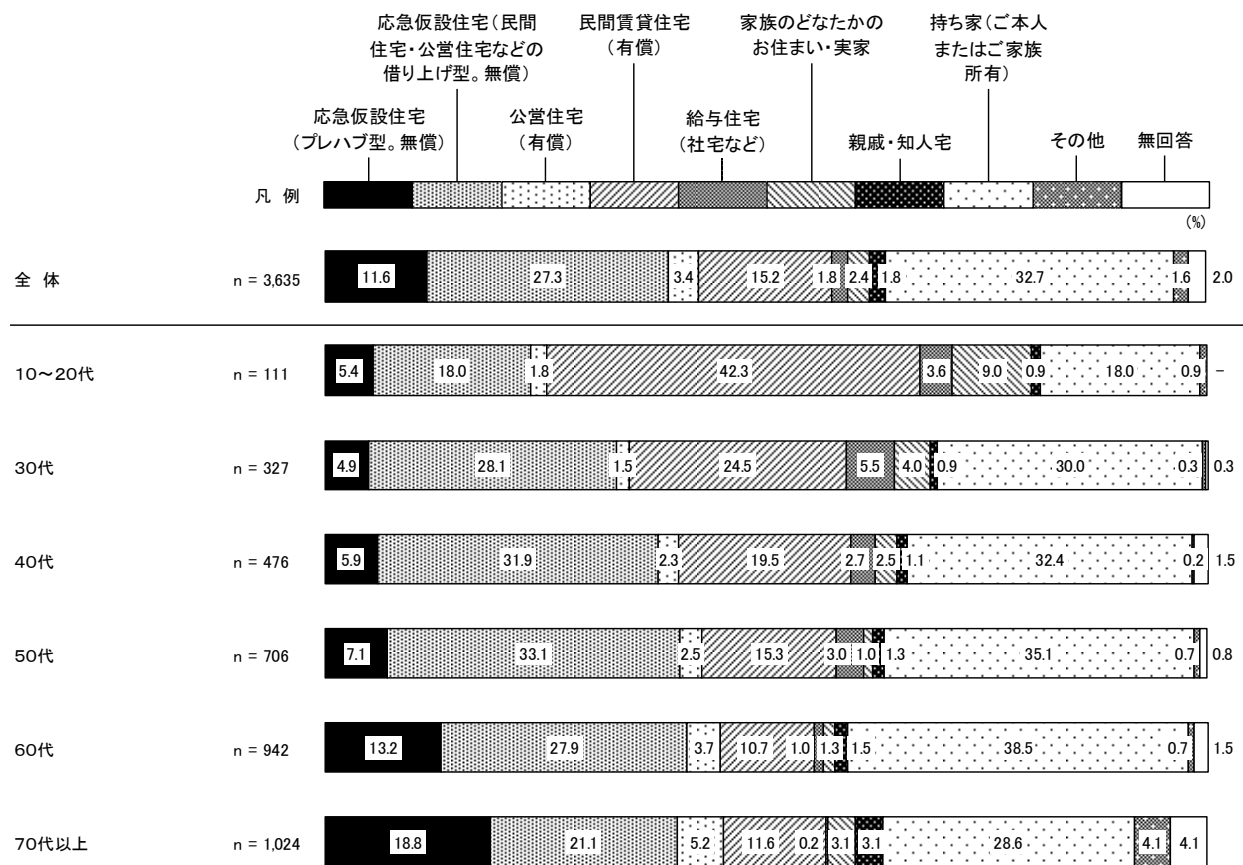
### 3-1-5 現在の住居形態

問7 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(〇は1つ)

現在の住居形態については、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が32.7%と最も高く、次いで、「応急仮設住宅（民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償）」が27.3%、「民間賃貸住宅（有償）」が15.2%となっている。

回答者の年齢別にみると、「応急仮設住宅（民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償）」は50代(33.1%)、40代(31.9%)で3割以上と高い。「民間賃貸住宅（有償）」は若年層で高く、10~20代で42.3%、30代で24.5%となっている。「応急仮設住宅（プレハブ型。無償）」は70代以上で高く、18.8%となっている。

<図表3-1-5-1 現在の住居形態（年齢別）>

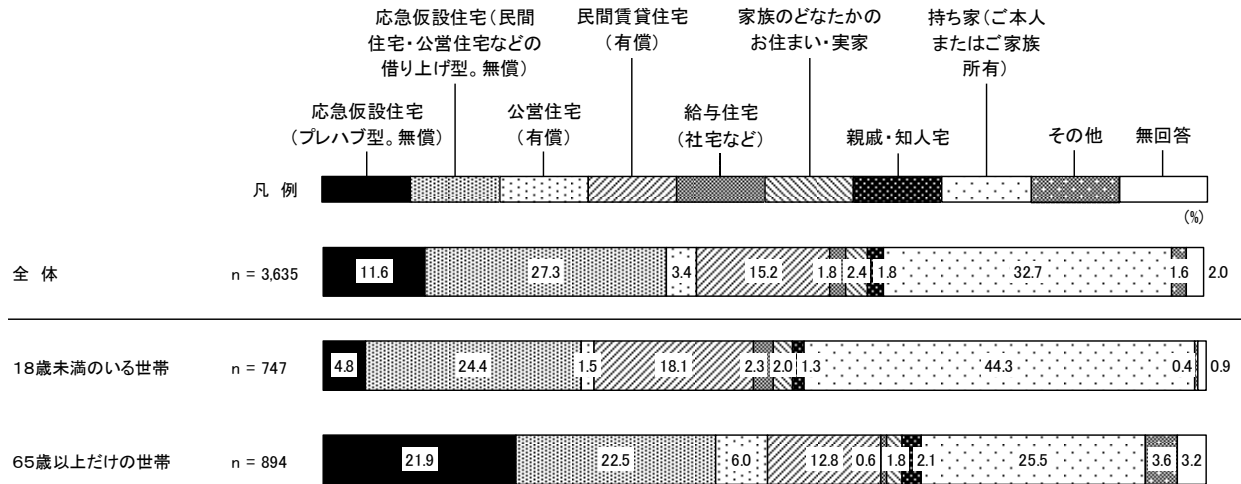


### III 調査結果

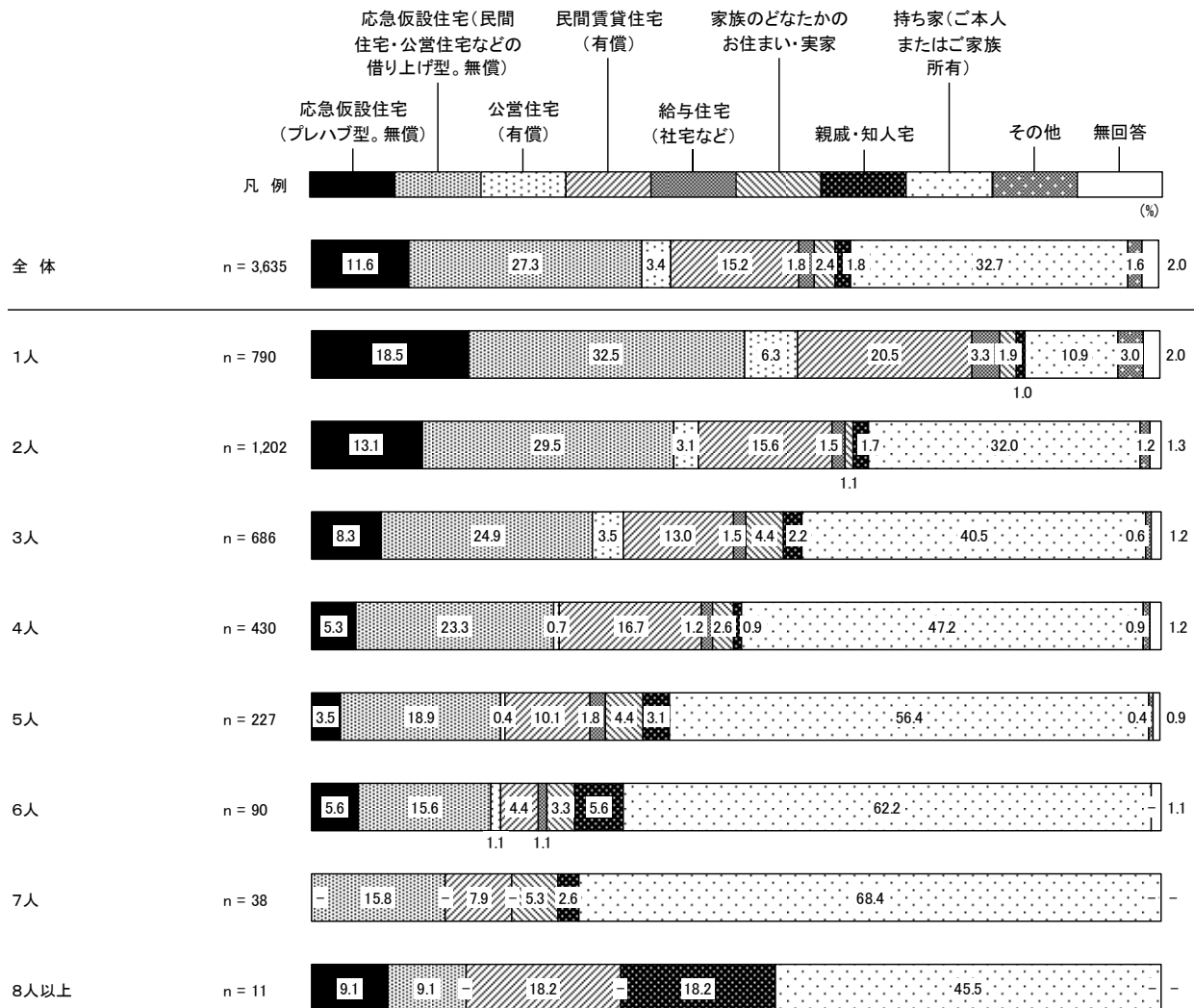
世帯構成別にみると、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」は、18歳未満のいる世帯で44.3%と全体の割合と比べて高くなっている。

世帯人数別にみると、世帯人数が多くなるにつれて、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」の割合が高くなる傾向にある。なお、世帯人数が1人の場合では「応急仮設住宅（民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償）」（32.5%）、「民間賃貸住宅（20.5%）」、「応急仮設住宅（プレハブ型。無償）」（18.5%）が高い。

<図表3-1-5-2 現在の住居形態（世帯構成別）>

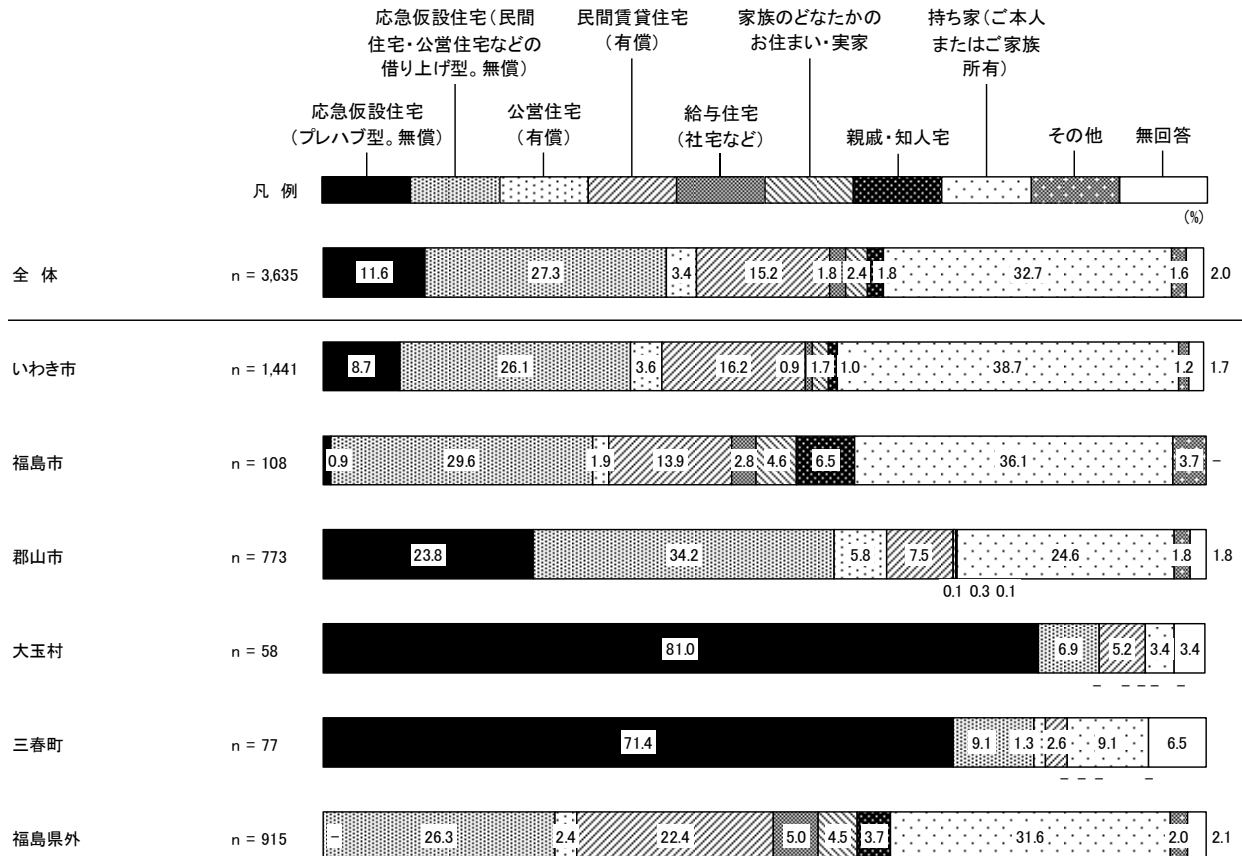


<図表3-1-5-3 現在の住居形態（世帯人数別）>



主な避難先自治体別にみると、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」はいわき市で38.7%と高い。「応急仮設住宅（民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償）」は郡山市で34.2%と高くなっている。「民間賃貸住宅（有償）」は福島県外で22.4%と高い。「応急仮設住宅（プレハブ型。無償）」は大玉村で81.0%、三春町で71.4%、郡山市で23.8%となっている。

<図表3-1-5-4 現在の住居形態（主な避難先自治体別）>



### 3-2 復興公営住宅の入居意向

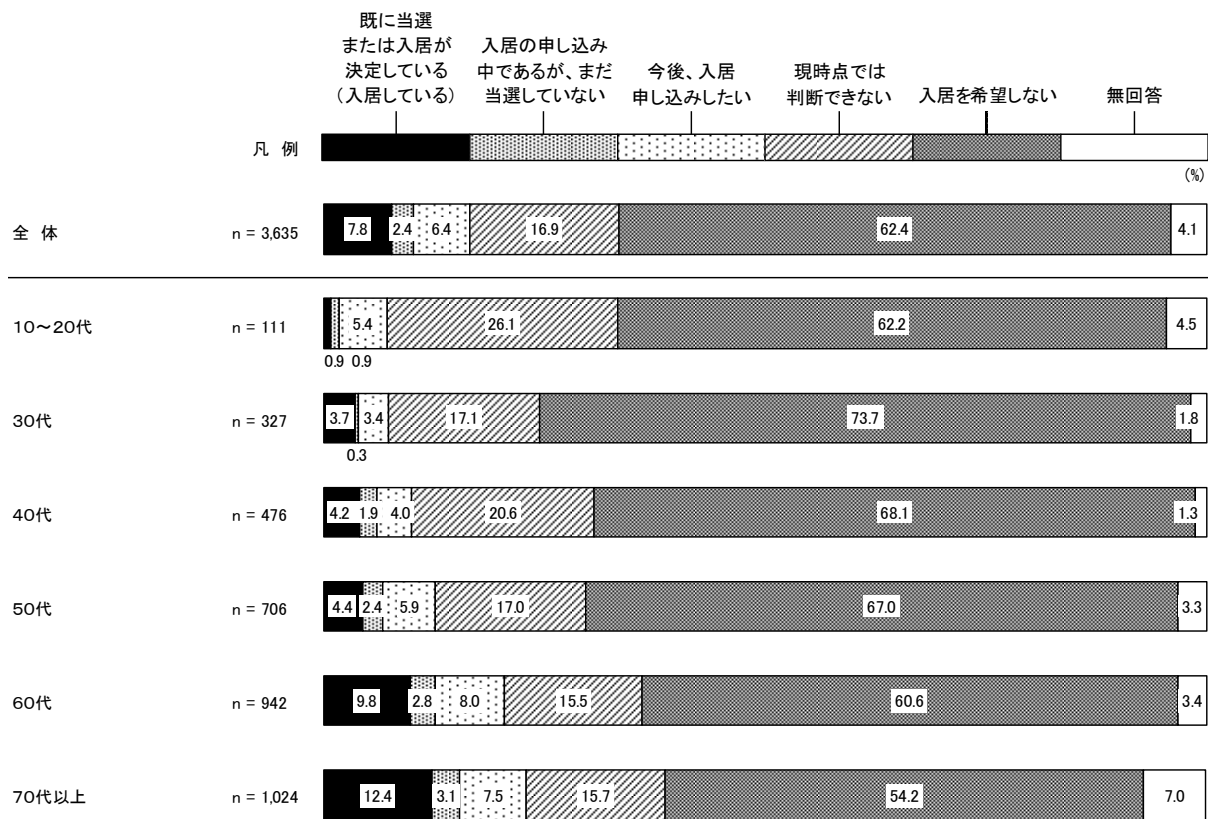
#### 3-2-1 復興公営住宅への入居意向

問8 現在、福島県は別紙に記載の通り、復興公営住宅の整備を進めています。あなたの世帯は、復興公営住宅への入居を希望しますか。(〇は1つ)

復興公営住宅への入居意向については、「入居を希望しない」が62.4%と最も高く、次いで「現時点では判断できない」が16.9%、入居意向のある世帯（「既に当選または入居が決定している」・「入居の申し込み中である」・「今後、入居申し込みしたい」）が16.6%となっている。

回答者の年齢別にみると、入居意向のある世帯は、年齢が高くなるにつれ割合が高くなる傾向がある。

<図表3-2-1-1 復興公営住宅への入居意向（年齢別）>



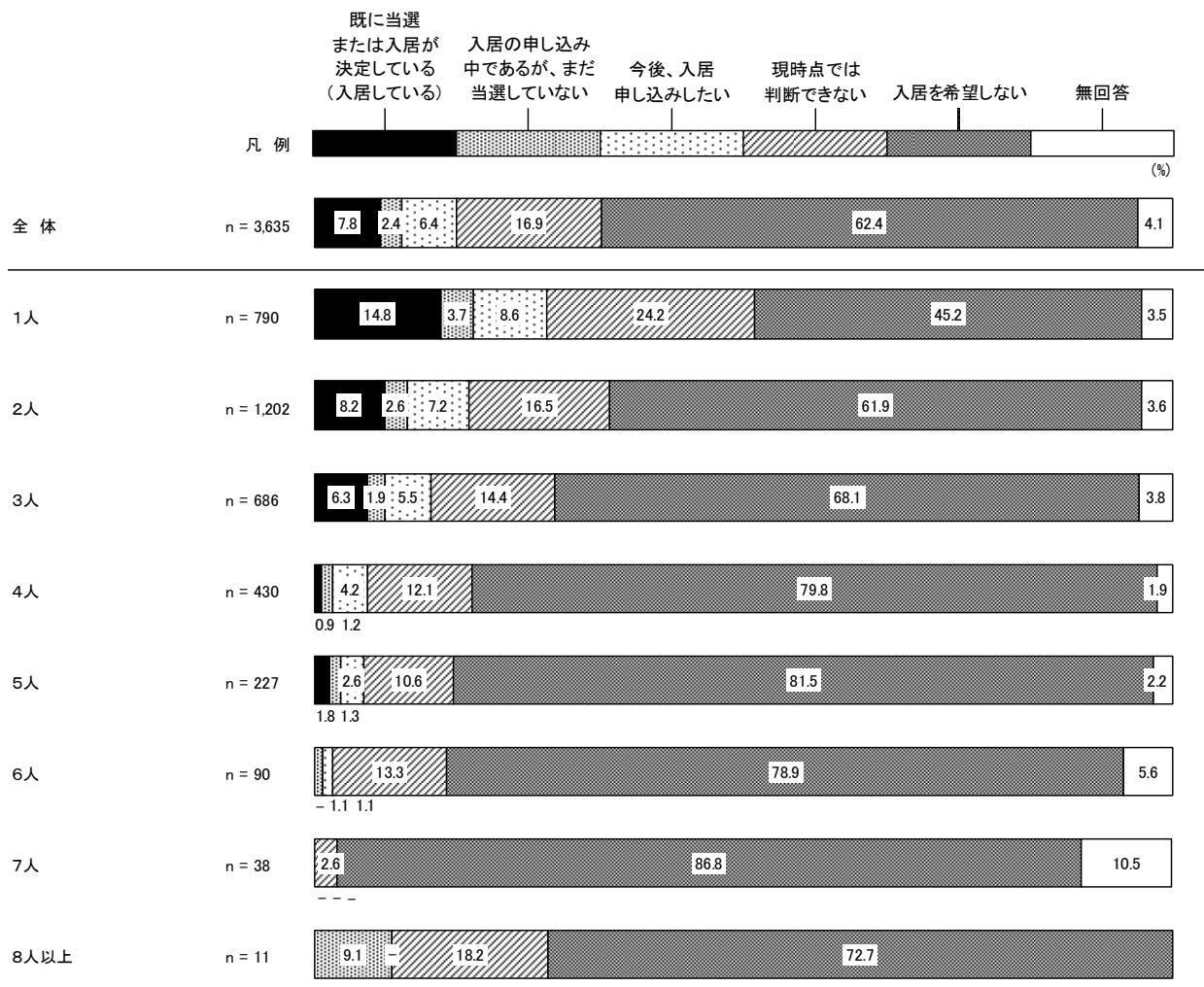
世帯構成別にみると、「入居を希望しない」は18歳未満のいる世帯で76.6%と高くなっている。一方、65歳以上だけの世帯では入居意向のある世帯（「既に当選または入居が決定している」・「入居の申し込み中である」・「今後、入居申し込みしたい」）の割合が3割近く（27.7%）となっている。

世帯人数別にみると、「入居を希望しない」は世帯人数が多いほど高い傾向にある。入居意向のある世帯は、世帯人数が1人の世帯で27.1%と高い。

<図表3-2-1-2 復興公営住宅への入居意向（世帯構成別）>

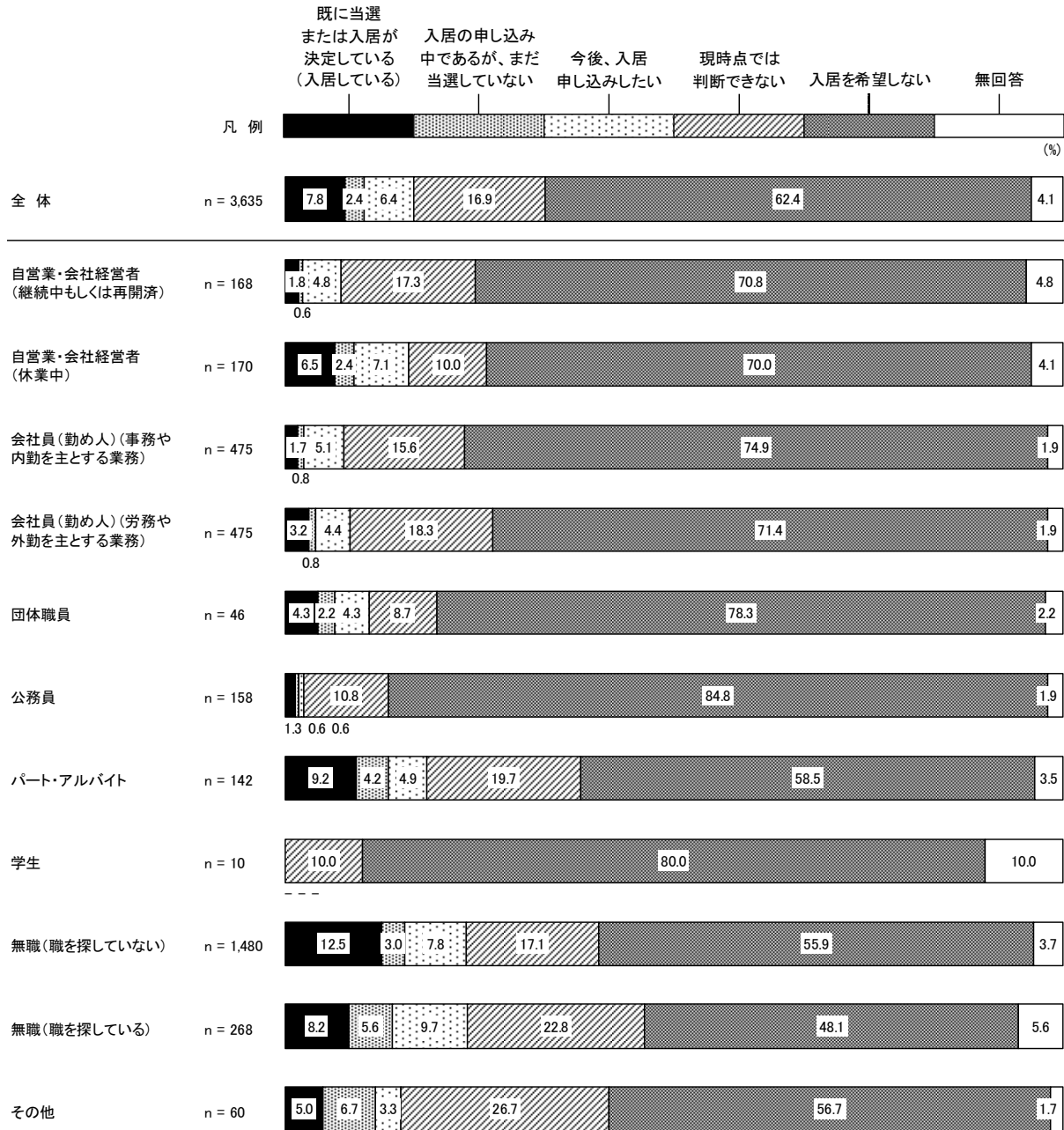


<図表3-2-1-3 復興公営住宅への入居意向（世帯人数別）>



職業別にみると、入居意向のある世帯は無職（職を探している）（23.5%）、無職（職を探していない）（23.3%）で他の職業と比べて高くなっている。

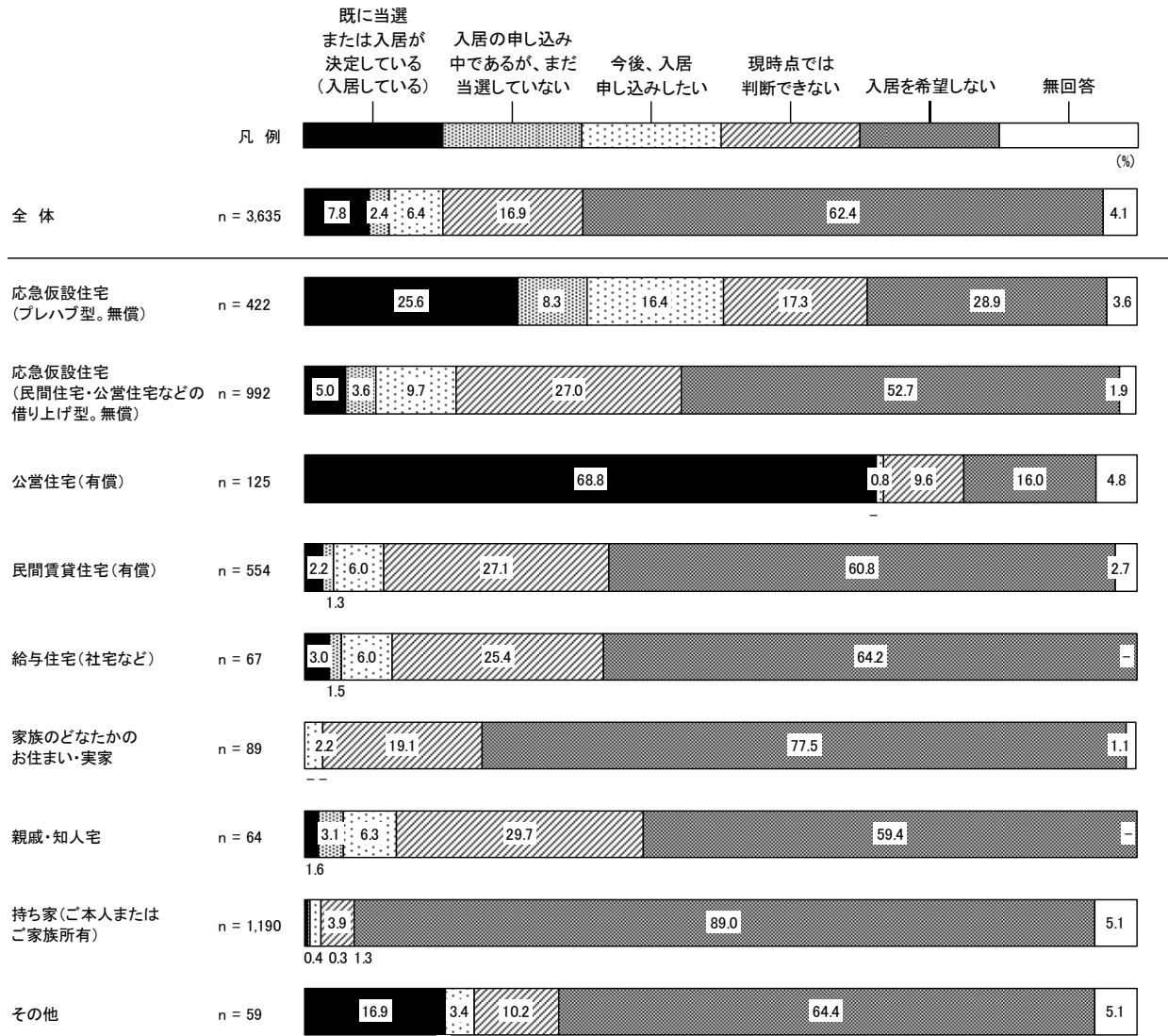
<図表3-2-1-4 復興公営住宅への入居意向（職業別）>





現在の住居形態別にみると、入居意向のある世帯は、応急仮設住宅（プレハブ型。無償）にお住まいの世帯で50.3%と高くなっている。

<図表3-2-1-5 復興公営住宅への入居意向（現在の住居形態別）>



### 3-2-2 復興公営住宅への入居を希望する自治体と世帯構成

【問8で「1」、「2」、「3」と回答した方（復興公営住宅へ既に当選または入居が決定している（入居している）方、入居の申し込み中である方、今後、入居申し込みしたい方）にうかがいます。】

問8-1 入居が決定している（入居している）、入居を希望する、または申し込みを行っている復興公営住宅の地域（自治体名）、入居する際の家族構成についてお聞かせください。

※家族が多い等の理由により、復興公営住宅を2戸借りられる方（希望も含む）は、＜2世帯目＞の列にもお答えください。

※現在、分散してお住まいのご家族についてはご記入いただかなくて結構です。

＜1世帯目＞

（1）自治体名を教えてください。

（2）入居する際の家族構成をご記入ください。（人数で回答）

＜2世帯目＞

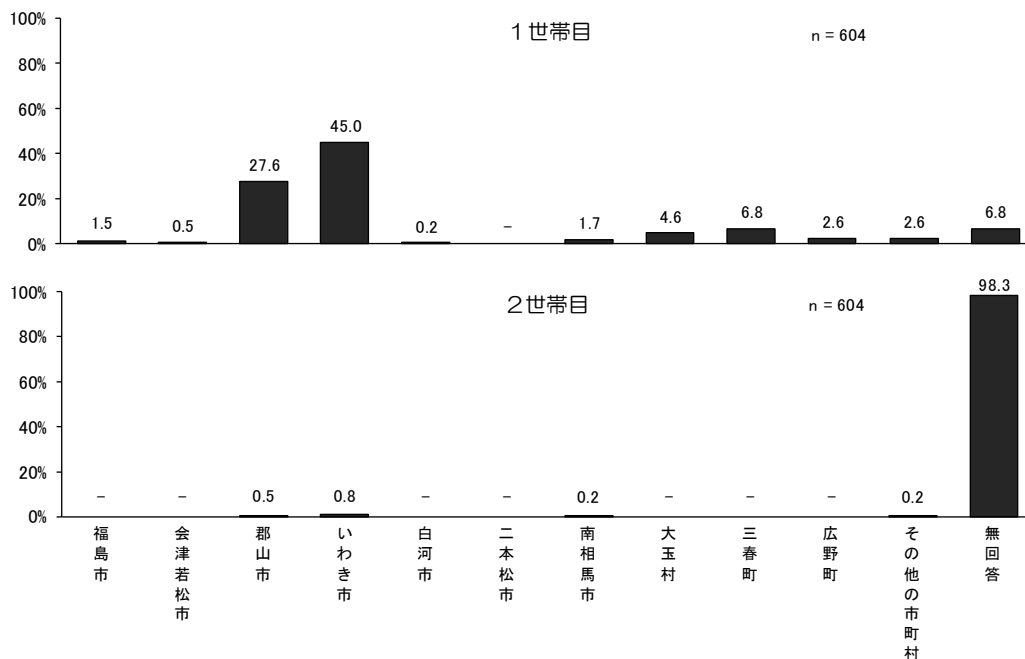
（1）自治体名を教えてください。

（2）入居する際の家族構成をご記入ください。（人数で回答）

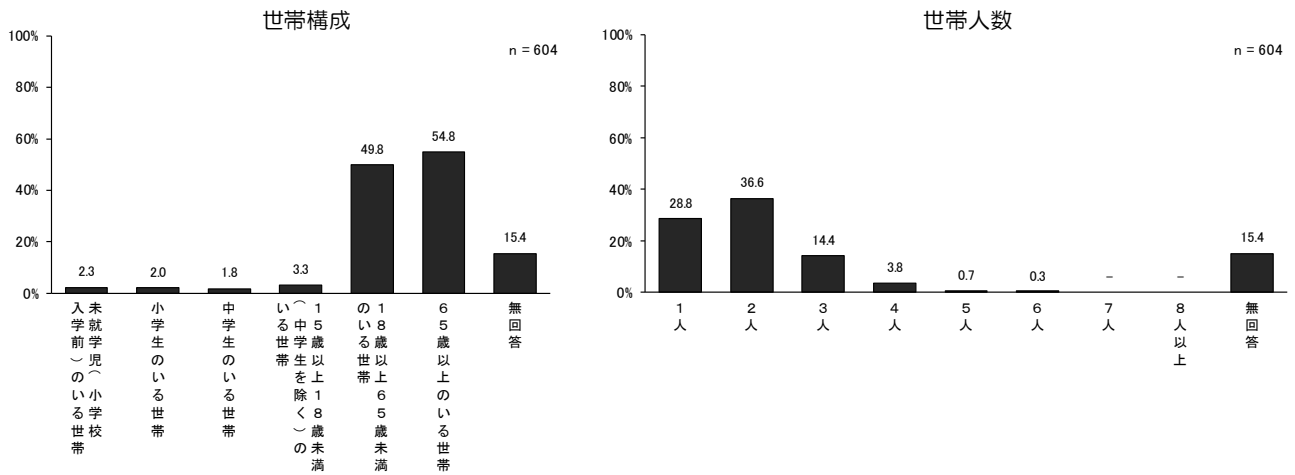
＜1世帯目＞の復興公営住宅への入居を希望する自治体については、「いわき市」が45.0%と最も高く、次いで「郡山市」が27.6%となっている。入居を希望する世帯人数（1世帯目）については、「2人」が36.6%と最も高く、次いで「1人」が28.8%、「3人」が14.4%となっている。入居を希望する世帯構成（1世帯目）としては、「65歳以上のいる世帯」が最も高く54.8%、次いで「18歳以上65歳未満のいる世帯」49.8%となっており、子どものいる世帯（未就学児、小学生、中学生及び15歳以上18歳未満（中学生を除く）のいる世帯）ではいずれも2～3%程度となっている。

＜2世帯目＞については、入居を希望する世帯のうち1.7%が2世帯目の入居を希望している。

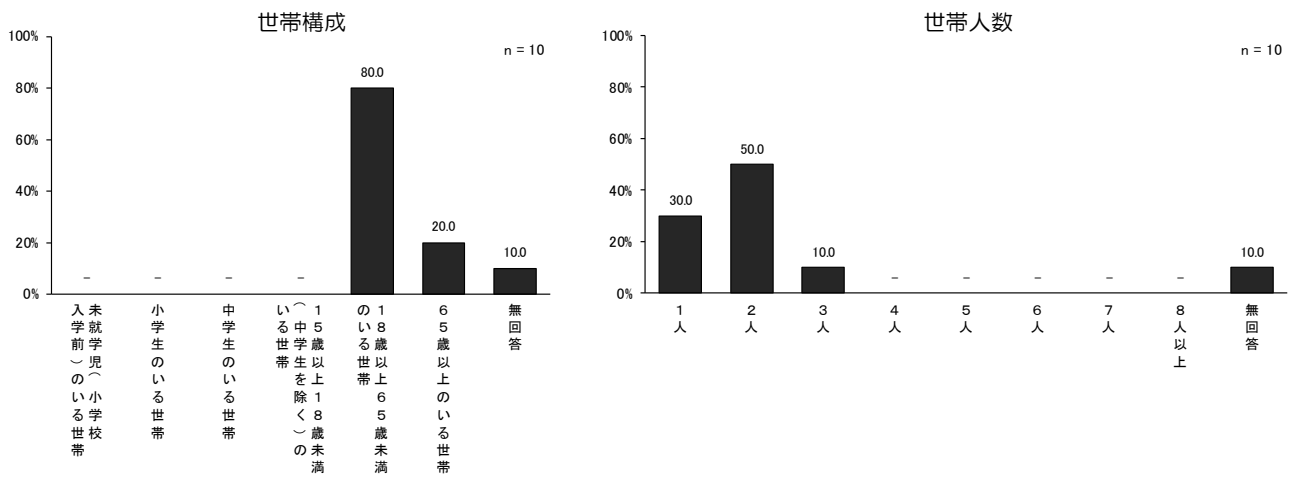
＜図表3-2-2-1 入居を希望する自治体＞



<図表3-2-2-2 入居を希望する世帯構成・人数（1世帯目）>

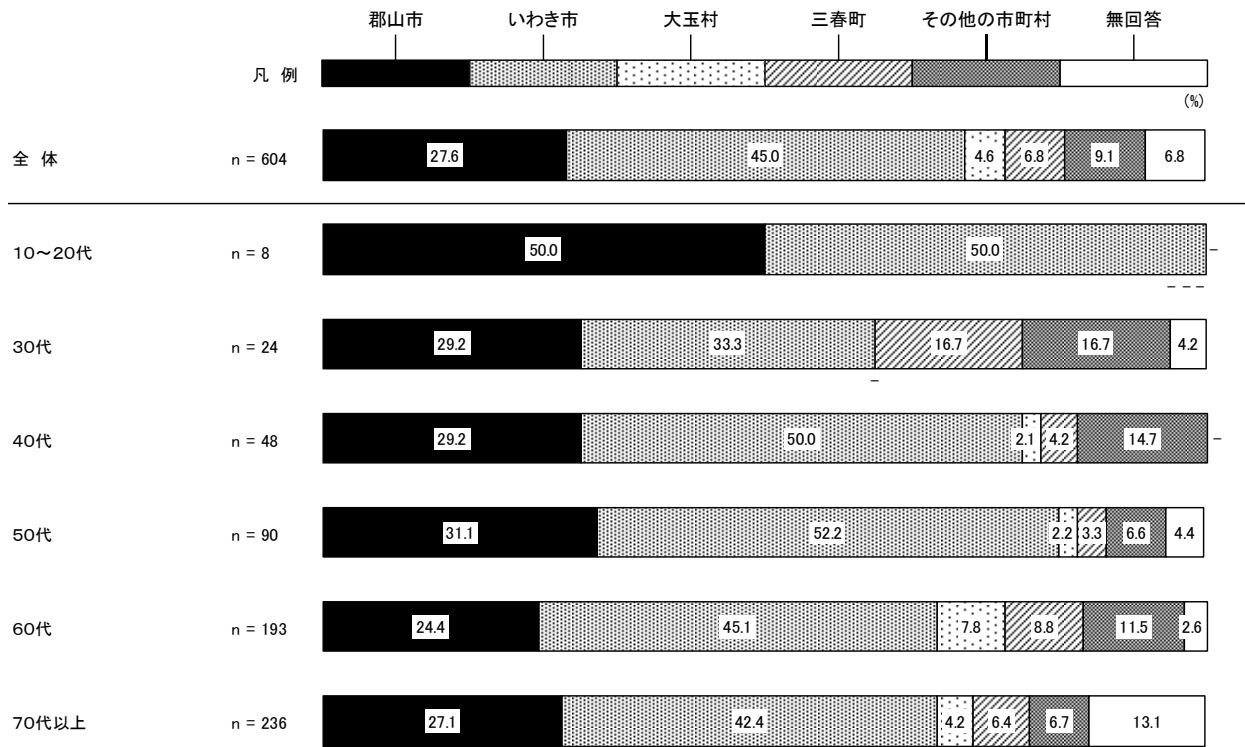


<図表3-2-2-3 入居を希望する世帯構成・人数（2世帯目）>



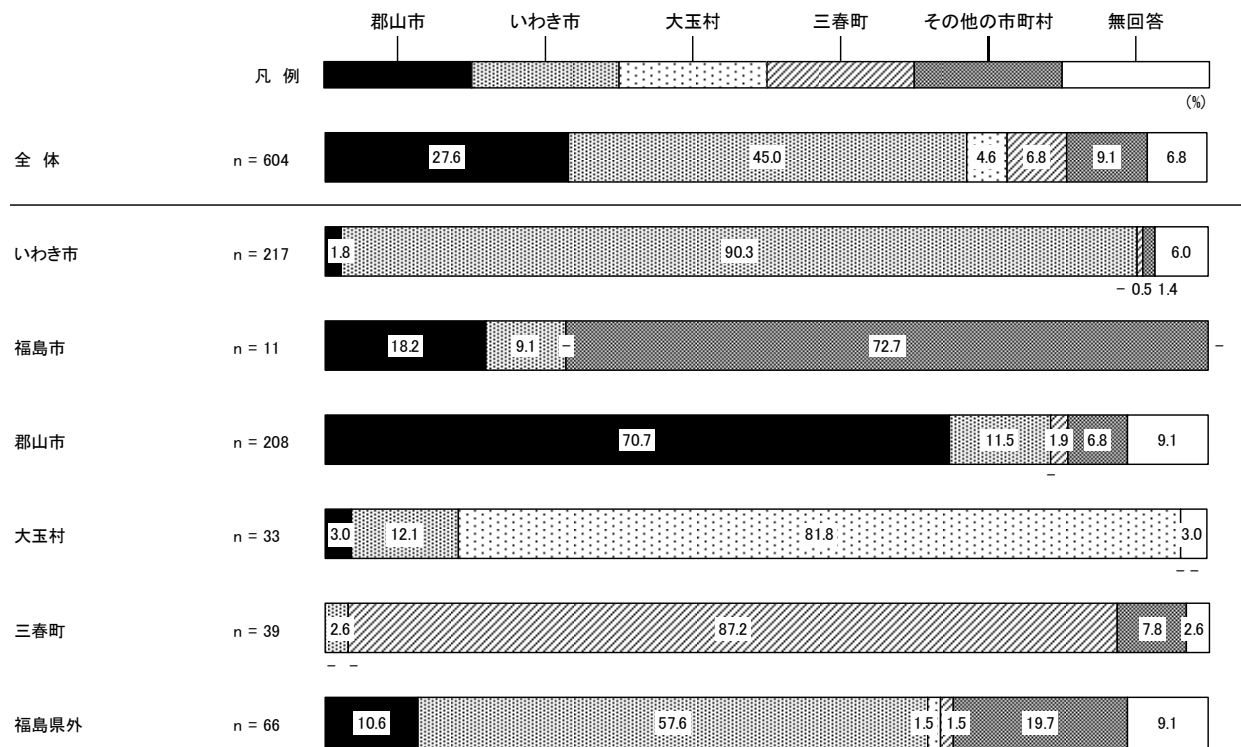
復興公営住宅への入居を希望する主な自治体<1世帯目>について、回答者の年齢別にみると、いずれの年代においても「いわき市」「郡山市」の順で割合が高くなっている。

<図表3-2-2-4 入居を希望する主な自治体（1世帯目）（年齢別）>



復興公営住宅への入居を希望する主な自治体<1世帯目>について、主な避難先自治体別にみると、いずれの自治体でも避難先の自治体に入居を希望する割合が高いが、福島県外に避難している世帯では、「いわき市」が57.6%となっている。

<図表3-2-2-5 入居を希望する主な自治体（1世帯目）（主な避難先自治体別）>



### 3-2-3 復興公営住宅へ入居する場合に必要と考えるサービス

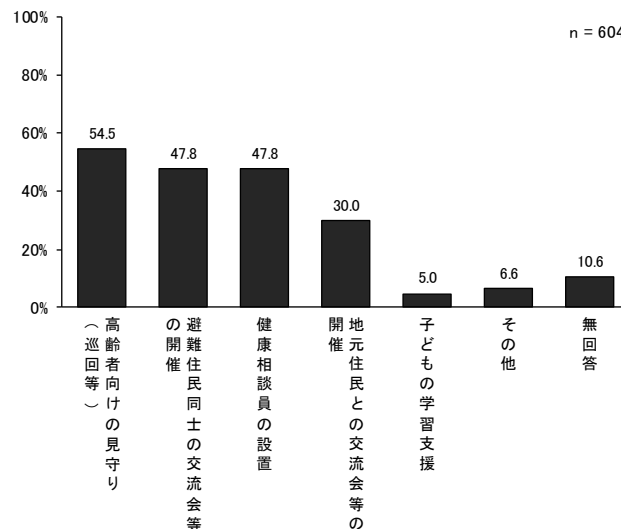
【問8で「1」、「2」、「3」と回答した方（復興公営住宅へ既に当選または入居が決定している（入居している）方、入居の申し込み中である方、今後、入居申し込みしたい方）にうかがいます。】

問8-2 復興公営住宅へ入居する場合に、サービスとして必要だと思うものは何ですか。（〇は3つまで）

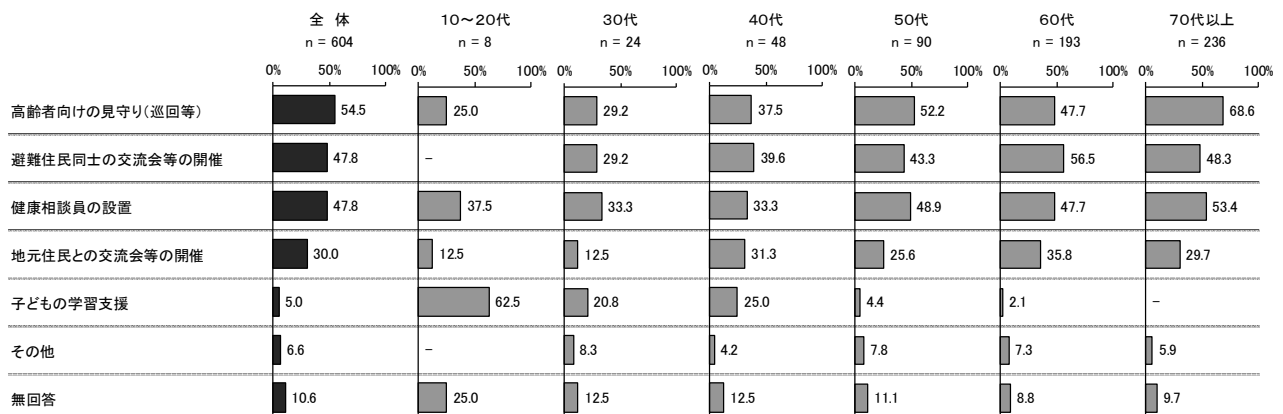
復興公営住宅へ入居する場合に必要と考えるサービスについては、「高齢者向けの見守り（巡回等）」が54.5%と最も高く、次いで「避難住民同士の交流会等の開催」と「健康相談員の設置」がいずれも47.8%となっている。

回答者の年齢別にみると、「高齢者向けの見守り（巡回等）」は70代以上（68.6%）、「避難住民同士の交流会等の開催」は60代（56.5%）、「健康相談員の設置」は70代以上（53.4%）、「地元住民との交流会等の開催」は60代（35.8%）、「子どもの学習支援」は40代（25.0%）で高くなっている。

<図表3-2-3-1 復興公営住宅へ入居する場合に必要と考えるサービス>



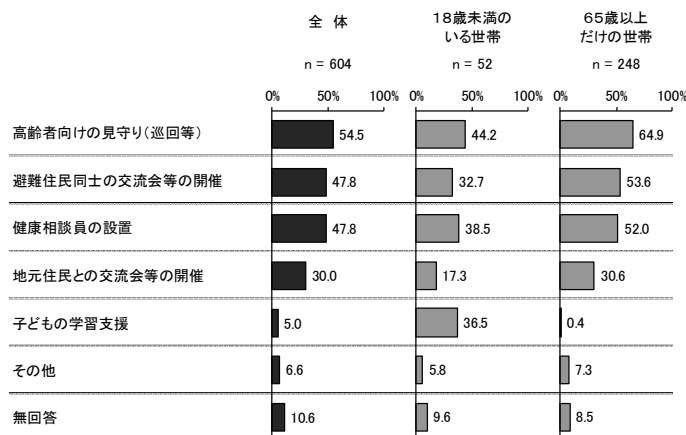
<図表3-2-3-2 復興公営住宅へ入居する場合に必要と考えるサービス（年齢別）>



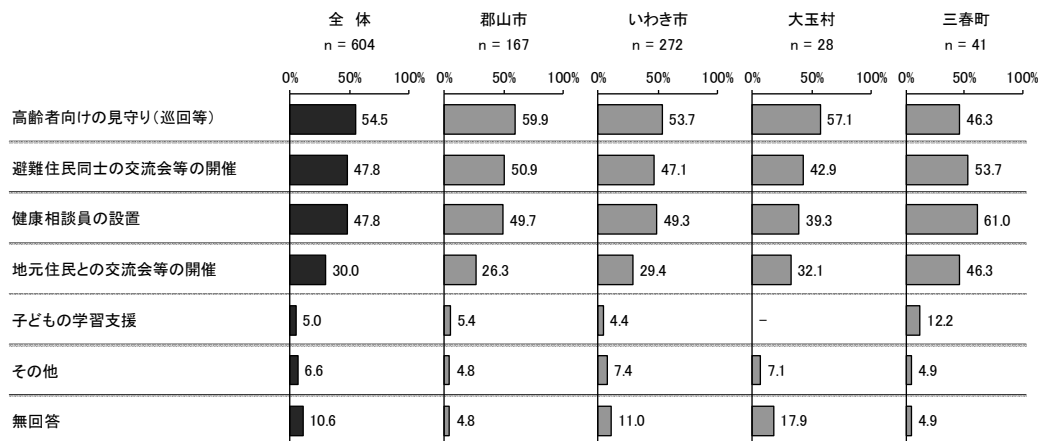
世帯構成別にみると、65歳以上だけの世帯では「高齢者向けの見守り（巡回等）」が64.9%、「避難住民同士の交流会等の開催」が53.6%と高い。一方、18歳未満のいる世帯では「子どもの学習支援」が36.5%と高くなっている。

入居を希望する主な自治体別にみると、「高齢者向けの見守り（巡回等）」は郡山市（59.9%）でおよそ6割と高くなっている。三春町では、「避難住民同士の交流会等の開催」が53.7%、「健康相談員の設置」が61.0%、「地元住民との交流会等の開催」が46.3%と高い。

＜図表3-2-3-3 復興公営住宅へ入居する場合に必要と考えるサービス（世帯構成別）＞



＜図表3-2-3-4 復興公営住宅へ入居する場合に必要と考えるサービス（入居を希望する主な自治体別）＞



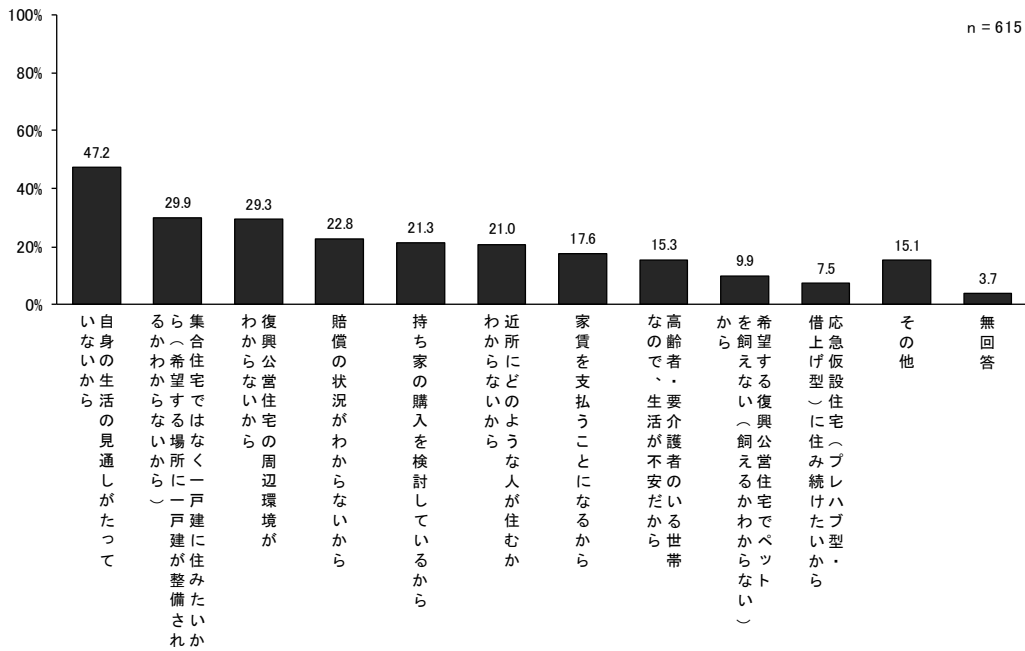
### 3-2-4 復興公営住宅への入居を現時点で判断できない理由

【問8で「4. 現時点では判断できない」と回答した方にうかがいます。】

問8-3 復興公営住宅への入居について、現時点で判断できない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

復興公営住宅への入居を現時点で判断できない理由については、「自身の生活の見通しがたっていないから」が47.2%、次いで「集合住宅ではなく一戸建に住みたいから(希望する場所に一戸建が整備されないから)」が29.9%、「復興公営住宅の周辺環境がわからないから」が29.3%となっている。

<図表3-2-4-1 復興公営住宅への入居を現時点で判断できない理由>

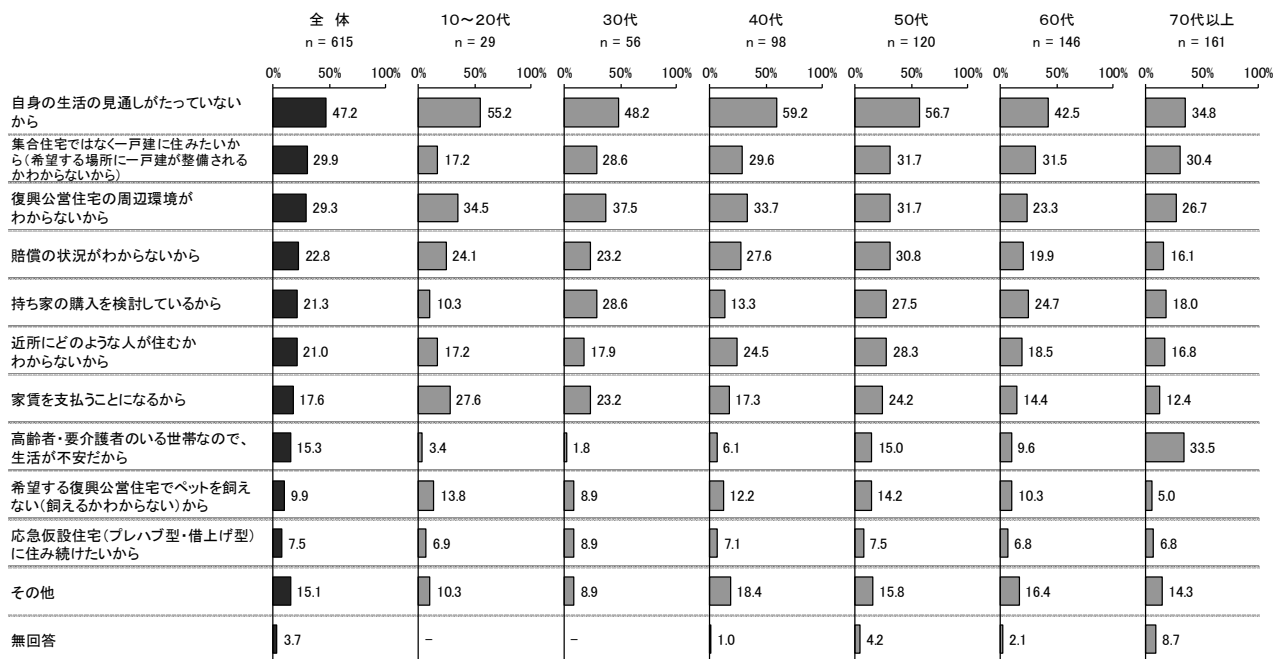




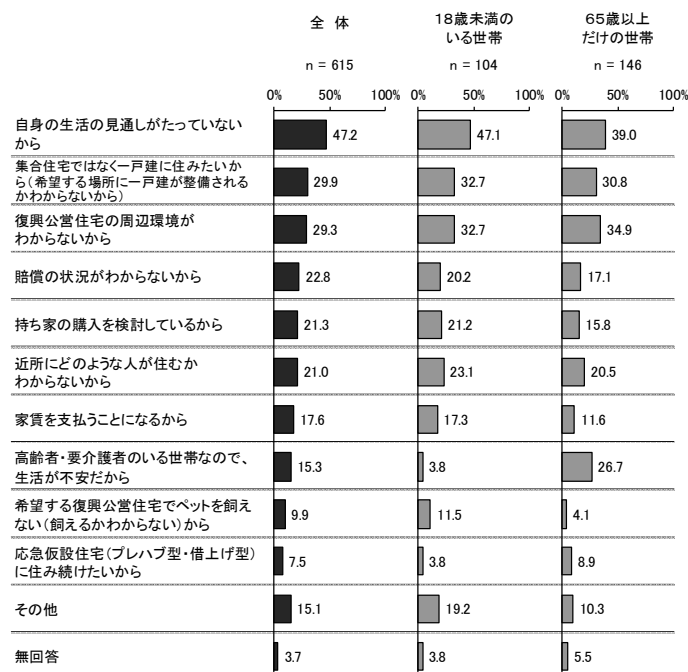
回答者の年齢別にみると、「自身の生活の見通しがたっていないから」は40代(59.2%)、50代(56.7%)で高い。「復興公営住宅の周辺環境がわからないから」は30代(37.5%)で高くなっている。「家賃を支払うことになるから」は30代(23.2%)、50代(24.2%)で高い。「高齢者・要介護者のいる世帯なので、生活が不安だから」は70代で33.5%と高くなっている。そのほか、50代では「賠償の状況がわからないから」が30.8%、「持ち家の購入を検討しているから」が27.5%、「近所にどのような人が住むかわからないから」が28.3%と他の年代に比べて高くなっている。

世帯構成別にみると、「高齢者・要介護者のいる世帯なので、生活が不安だから」は、65歳以上の世帯(26.7%)で高い。

<図表3-2-4-2 復興公営住宅への入居を現時点で判断できない理由(年齢別)>



<図表3-2-4-3 復興公営住宅への入居を現時点で判断できない理由(世帯構成別)>



### 3-2-5 復興公営住宅へ入居しない場合に希望する住居形態

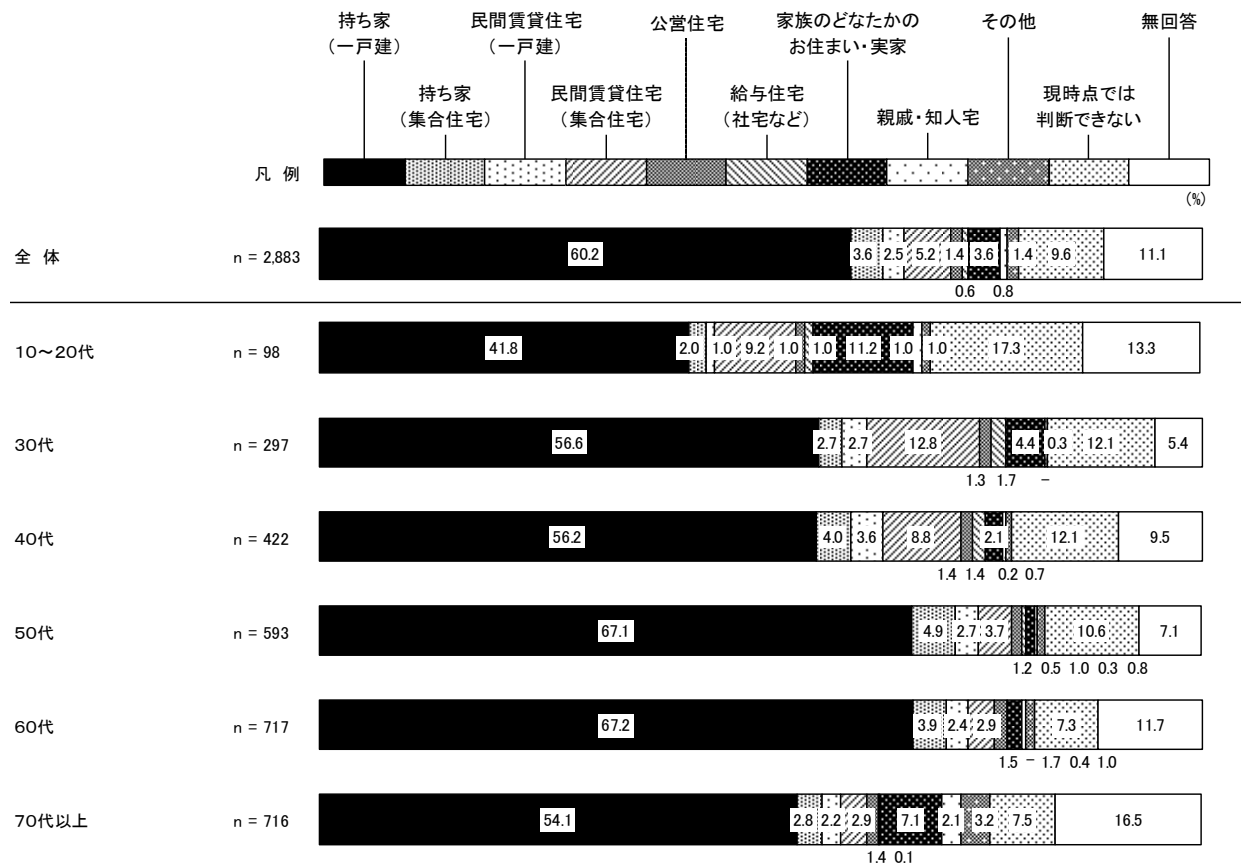
【問8で「4. 現時点では判断できない」、「5. 入居を希望しない」と回答した方うかがいます】

問8-5 復興公営住宅以外で、希望する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。  
（〇は1つ）

復興公営住宅へ入居を希望しない場合の今後の住まいとして希望する住居形態については、「持ち家（一戸建）」（60.2%）がと6割以上となっている。

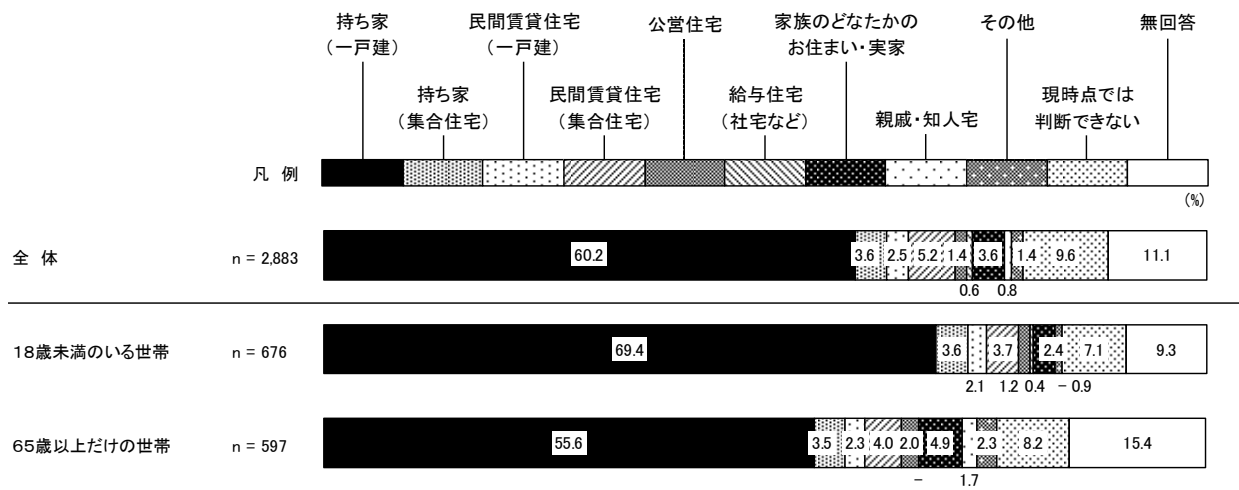
回答者の年齢別にみると、「持ち家（一戸建）」は50代（67.1%）、60代（67.2%）で7割近くを占める。「民間賃貸住宅（集合住宅）」は30代で12.8%と高くなっている。

＜図表3-2-5-1 復興公営住宅へ入居しない場合に希望する住居形態（年齢別）＞

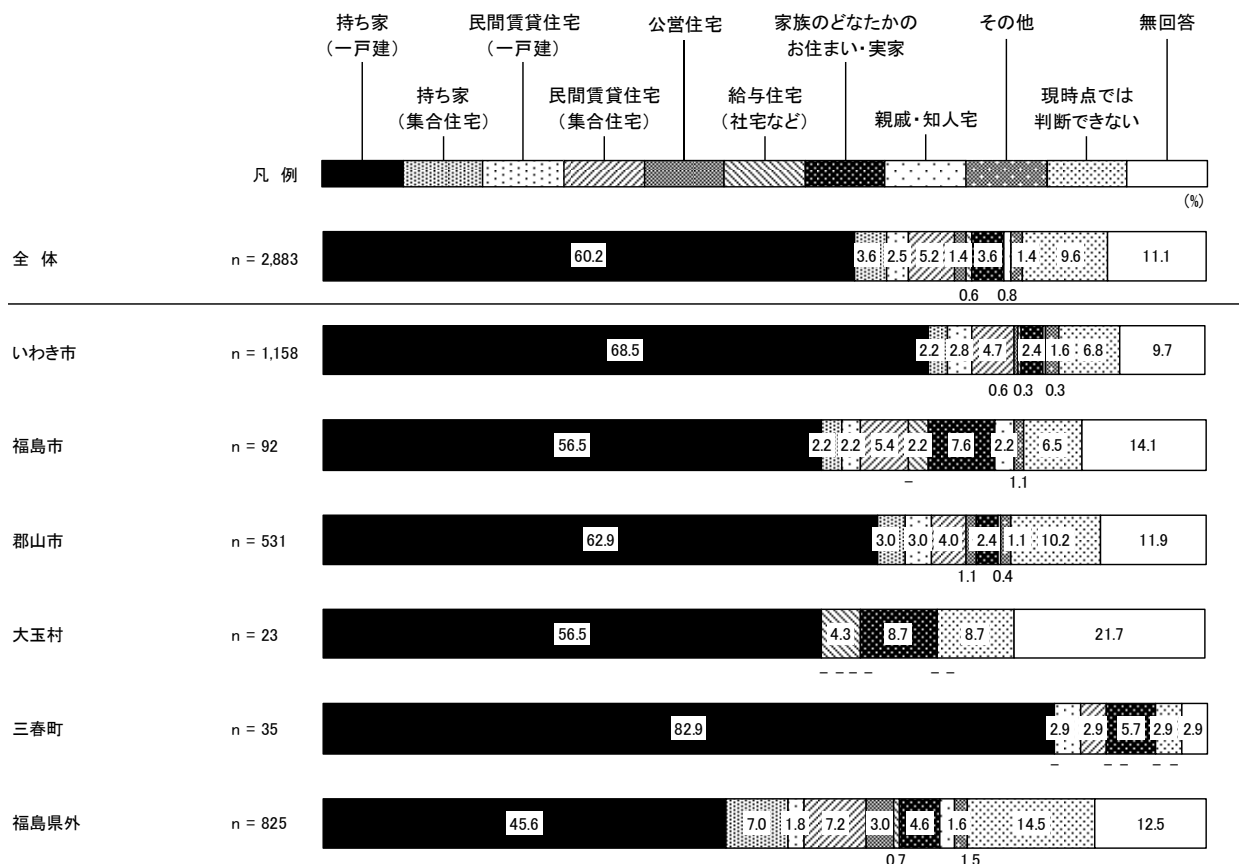


世帯構成別にみると、「持ち家（一戸建）」は18歳未満のいる世帯で69.4%と7割近くを占める。  
 主な避難先自治体別にみると、「持ち家（一戸建）」は三春町（82.9%）で8割以上、いわき市（68.5%）で7割近くと高くなっている。

<図表3-2-5-2 復興公営住宅へ入居しない場合に希望する住居形態（世帯構成別）>



<図表3-2-5-3 復興公営住宅へ入居しない場合に希望する住居形態（主な避難先自治体別）>



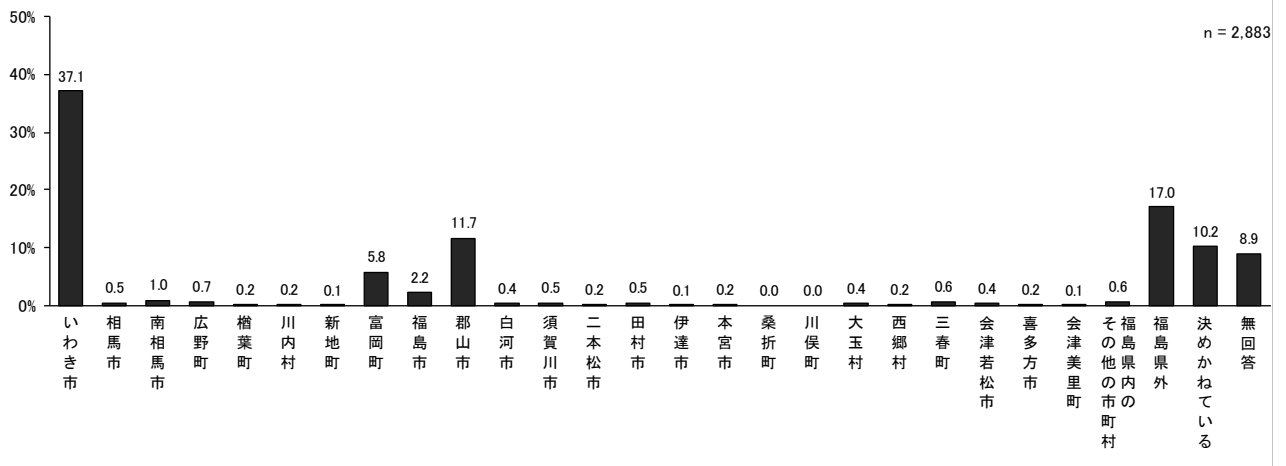
### 3-2-6 復興公営住宅への入居を希望しない場合に居住したい自治体

【問8で「4. 現時点では判断できない」、「5. 入居を希望しない」と回答した方にうかがいます。】

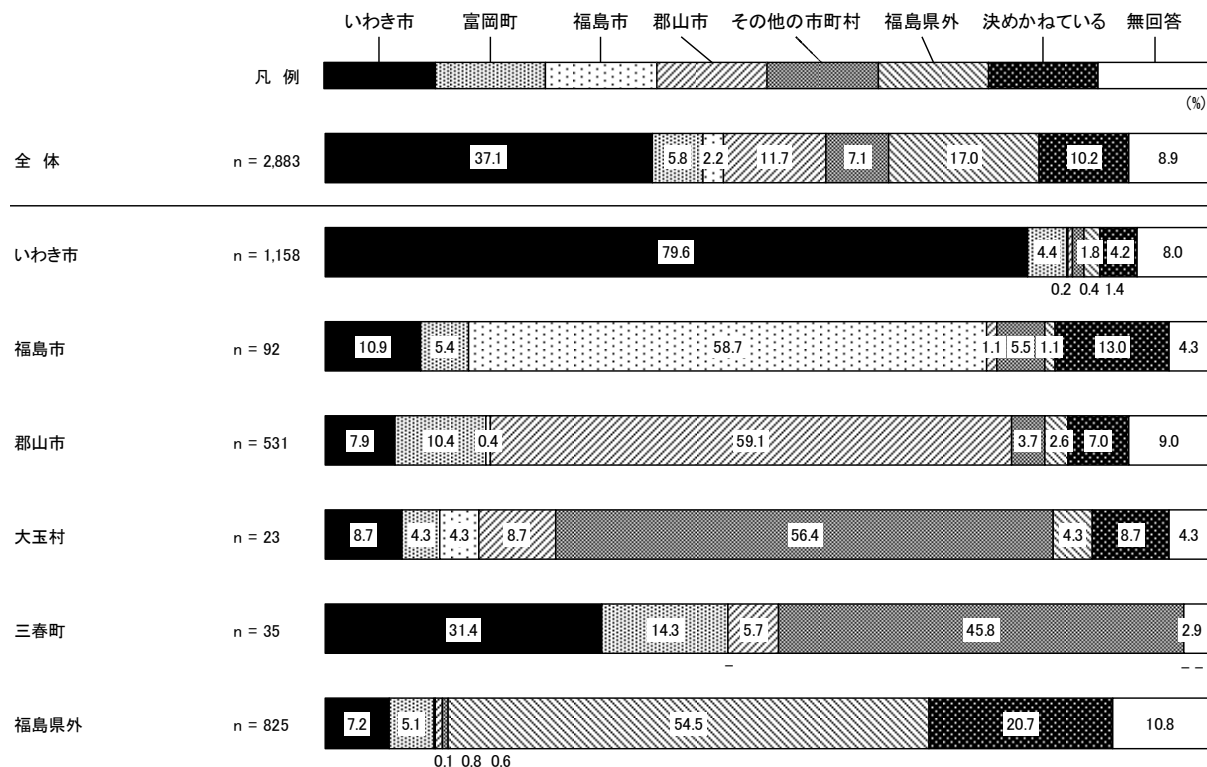
問8-4 復興公営住宅以外で、居住を希望する（既に居住している場合を含む）自治体はどちらですか。その自治体を教えてください。（〇は1つ）

復興公営住宅に入居を希望しない場合に居住したい自治体については、「いわき市」が37.1%と最も高く、次いで「福島県外」が17.0%、「郡山市」が11.7%となっている。  
 主な避難先自治体別にみると、いずれの自治体でも避難先の自治体での居住を希望する割合が高い。

＜図表3-2-6-1 入居を希望しない場合に居住したい自治体＞



＜図表3-2-6-2 入居を希望しない場合に居住したい主な自治体（主な避難先自治体別）＞



### 3-3 将来の意向

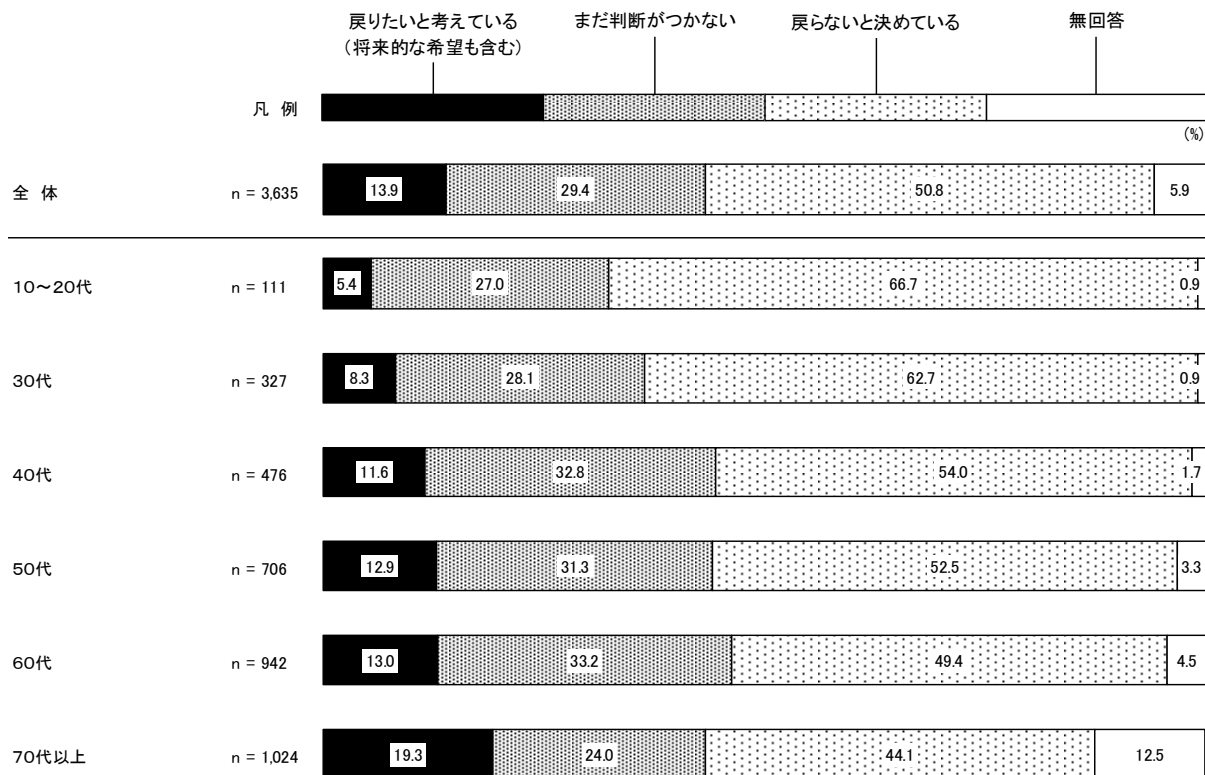
#### 3-3-1 富岡町への帰還意向

問9 将来、富岡町の避難指示が解除された後の富岡町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。「1」から「3」の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。（〇は1つ）

将来、富岡町の避難指示が解除された後の帰還意向については、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」が13.9%、「まだ判断がつかない」が29.4%、「戻らないと決めている」が50.8%となっている。

回答者の年齢別にみると、「戻りたいと考えている」は70代以上（19.3%）で2割近くと高くなっている。一方、「戻らないと決めている」は若年層で高く10~20代（66.7%）、30代（62.7%）では6割以上を占めており、40代（54.0%）、50代（52.5%）でも過半数を占めている。

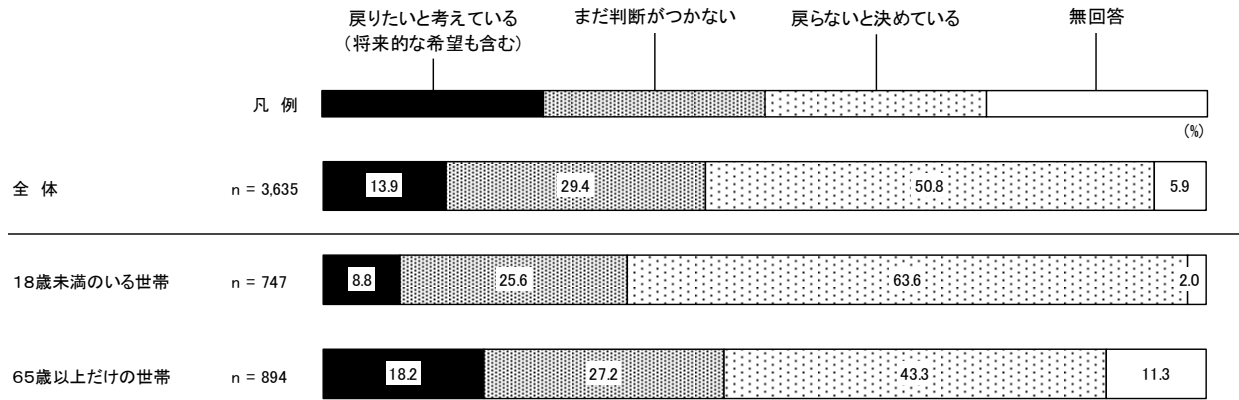
<図表3-3-1-1 富岡町への帰還意向（年齢別）>



### Ⅲ 調査結果

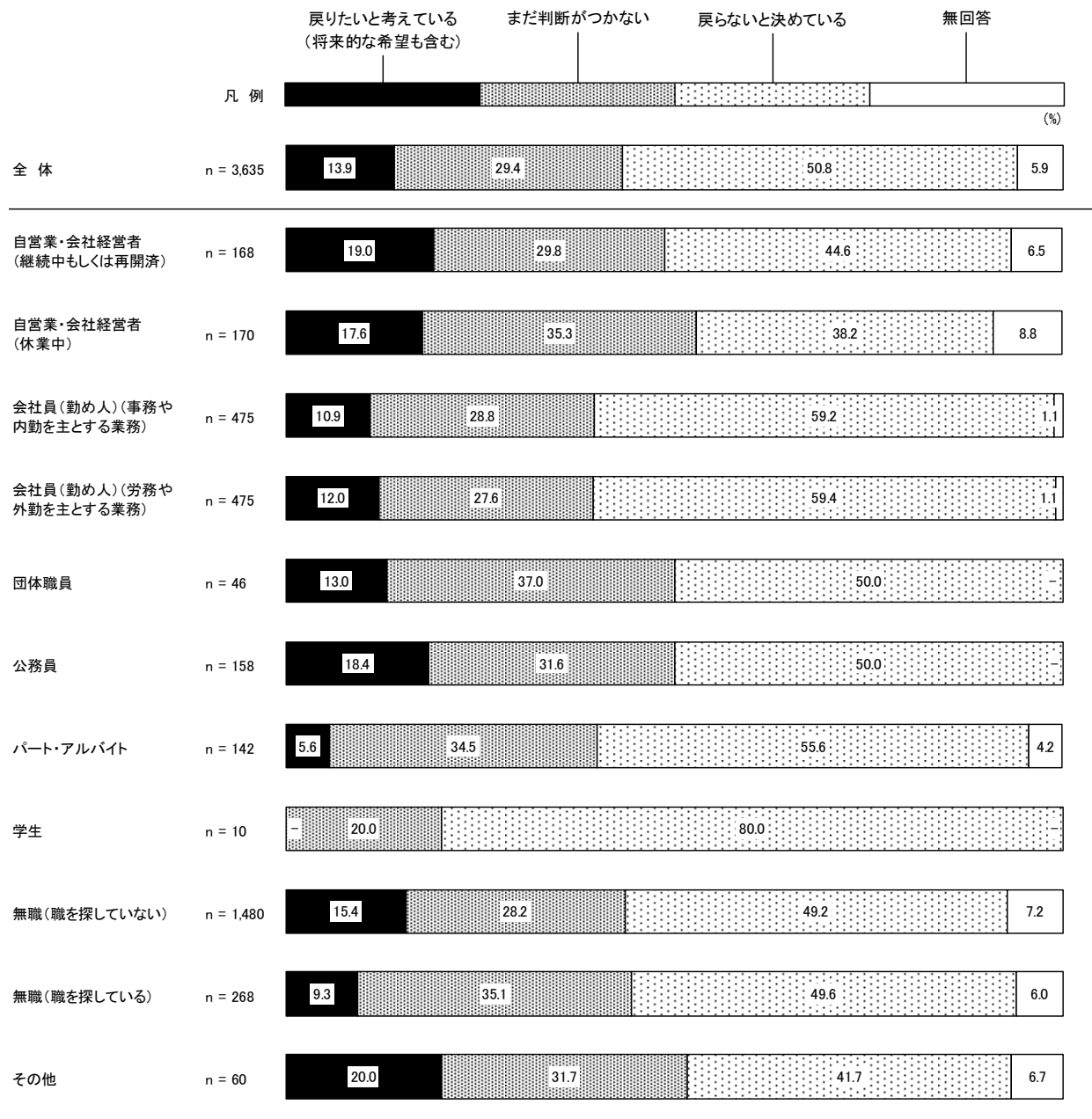
世帯構成別にみると、「戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」は65歳以上だけの世帯では18.2%となっており高くなっている。一方、「戻らないと決めている」は、18歳未満のいる世帯で63.6%と高くなっている。

<図表3-3-1-2 富岡町への帰還意向(世帯構成別)>



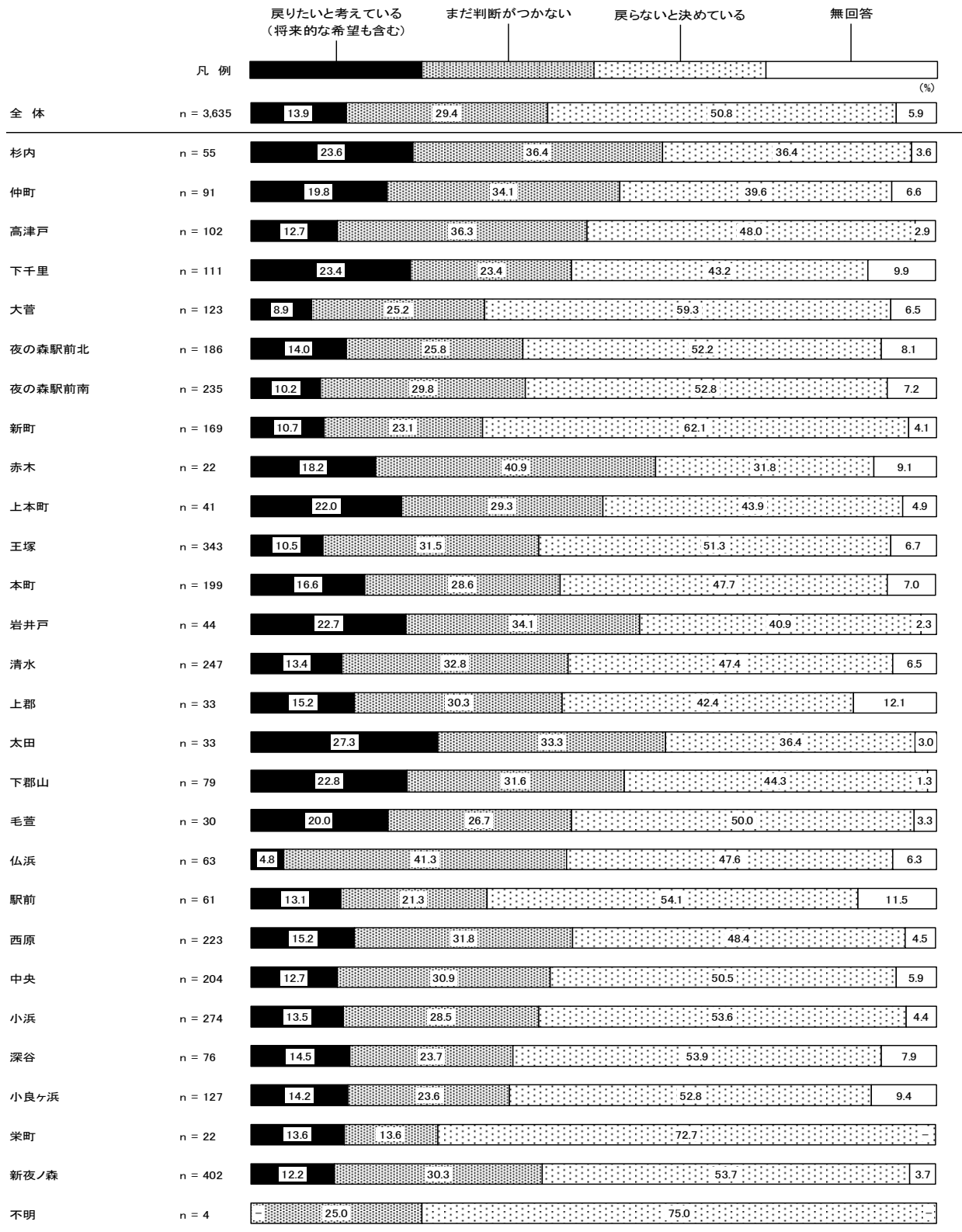
職業別にみると、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」は自営業・会社経営者（継続中もしくは再開済）（19.0％）で比較的高い。一方、「戻らないと決めている」は会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）（59.4％）、会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）（59.2％）で6割近くと高くなっている。

<図表3-3-1-3 富岡町への帰還意向（職業別）>



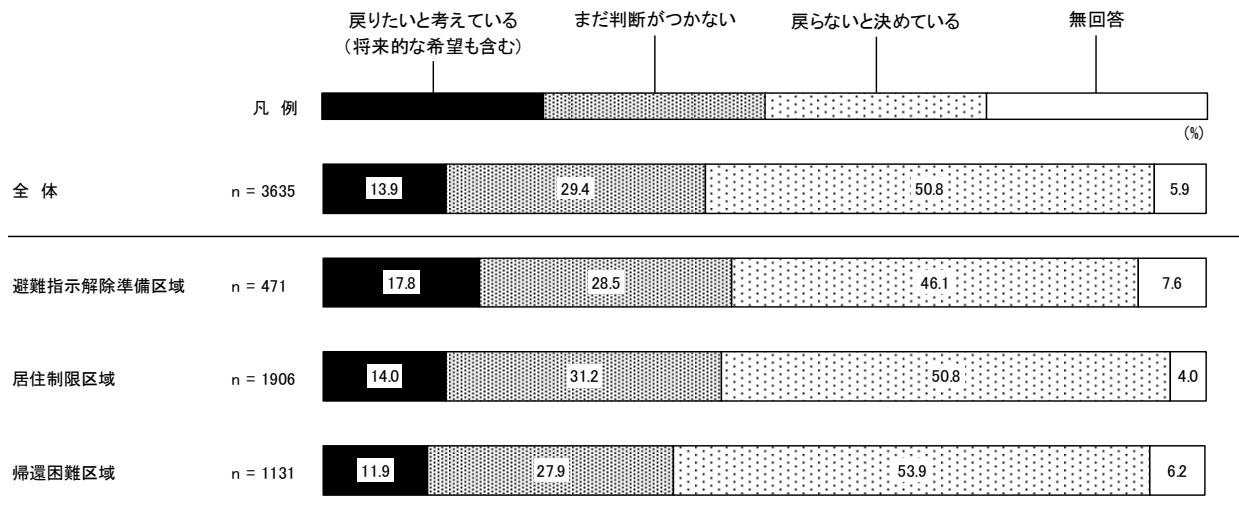
震災発生当時の住まいの行政区別にみると、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」は太田（27.3%）、杉内（23.6%）、下千里（23.4%）、下郡山（22.8%）、岩井戸（22.7%）、上本町（22.0%）、毛萱（20.0%）で高くなっている。

<図表3-3-1-4 富岡町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>



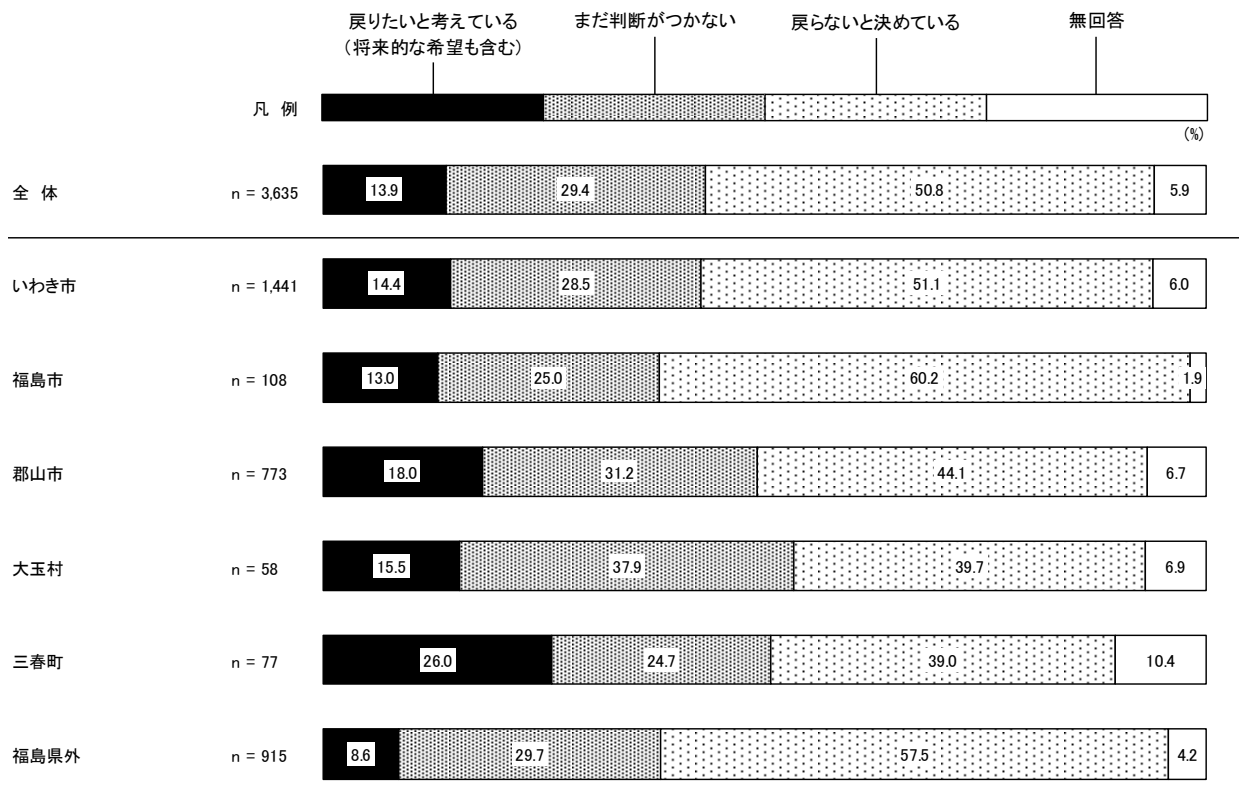


<図表3-3-1-5 富岡町への帰還意向（避難指示区域別）>



主な避難先自治体別にみると、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」は三春町（26.0%）で2割台半ばと高くなっている。

<図表3-3-1-6 富岡町への帰還意向（主な避難先自治体別）>



### 3-3-2 富岡町への帰還時期

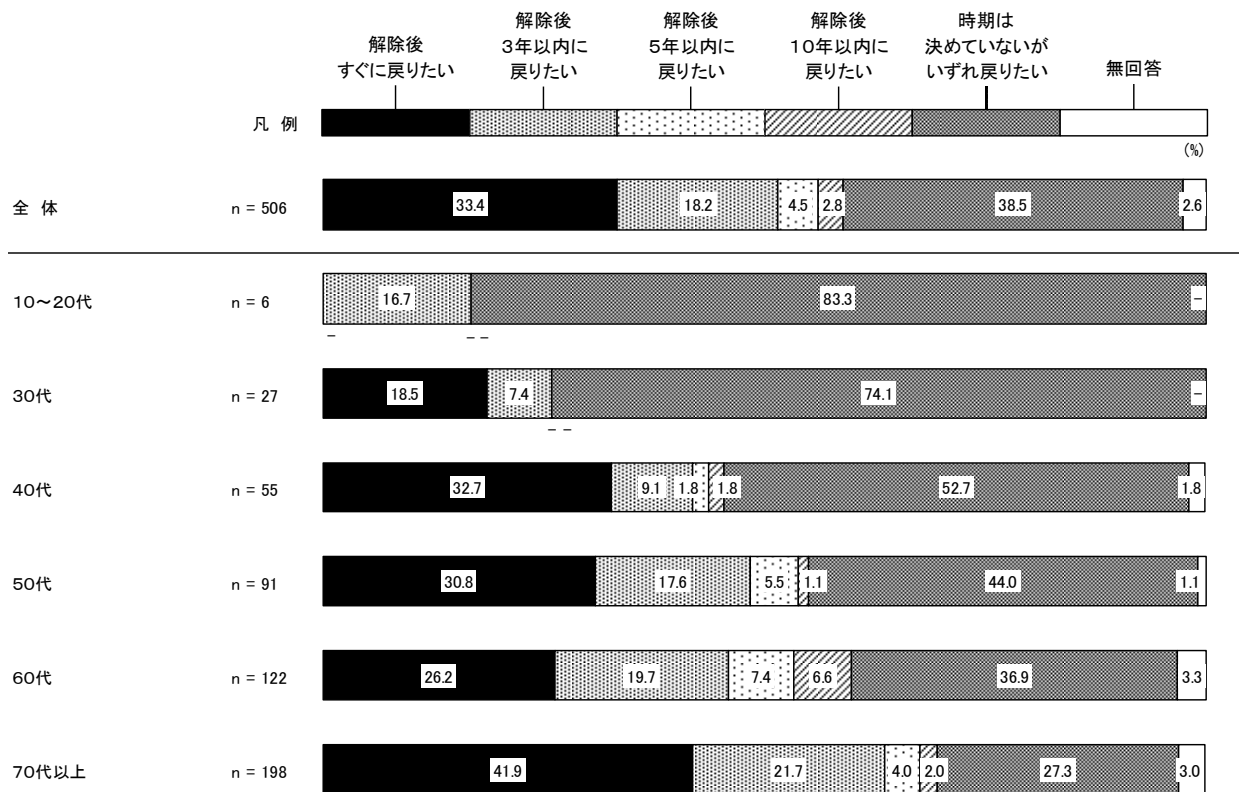
【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

問9-1-1 富岡町へ戻る時期を教えてください。（〇は1つ）

富岡町へ戻る場合の帰還時期については、「時期は決めていないがいずれ戻りたい」が38.5%と最も高く、次いで「解除後すぐに戻りたい」が33.4%、「解除後3年以内に戻りたい」が18.2%となっている。

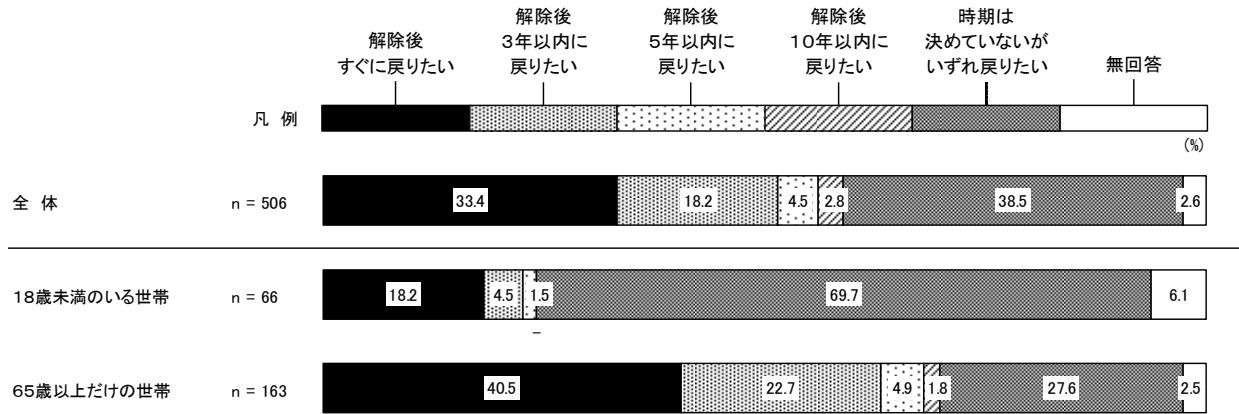
回答者の年齢別にみると、「時期は決めていないがいずれ戻りたい」は年齢が低くなるにつれ割合が高くなる傾向にある。一方、「解除後すぐに戻りたい」は70代以上で41.9%と高くなっている。

<図表3-3-2-1 富岡町への帰還時期（年齢別）>



世帯構成別にみると、「時期は決めていないがいずれ戻りたい」は18歳未満のいる世帯（69.7%）で7割近くを占める。一方、65歳以上だけの世帯では「解除後すぐに戻りたい」が40.5%と高くなっている。

<図表3-3-2-2 富岡町への帰還時期（世帯構成別）>



### 3-3-3 避難指示解除まで待てる期間

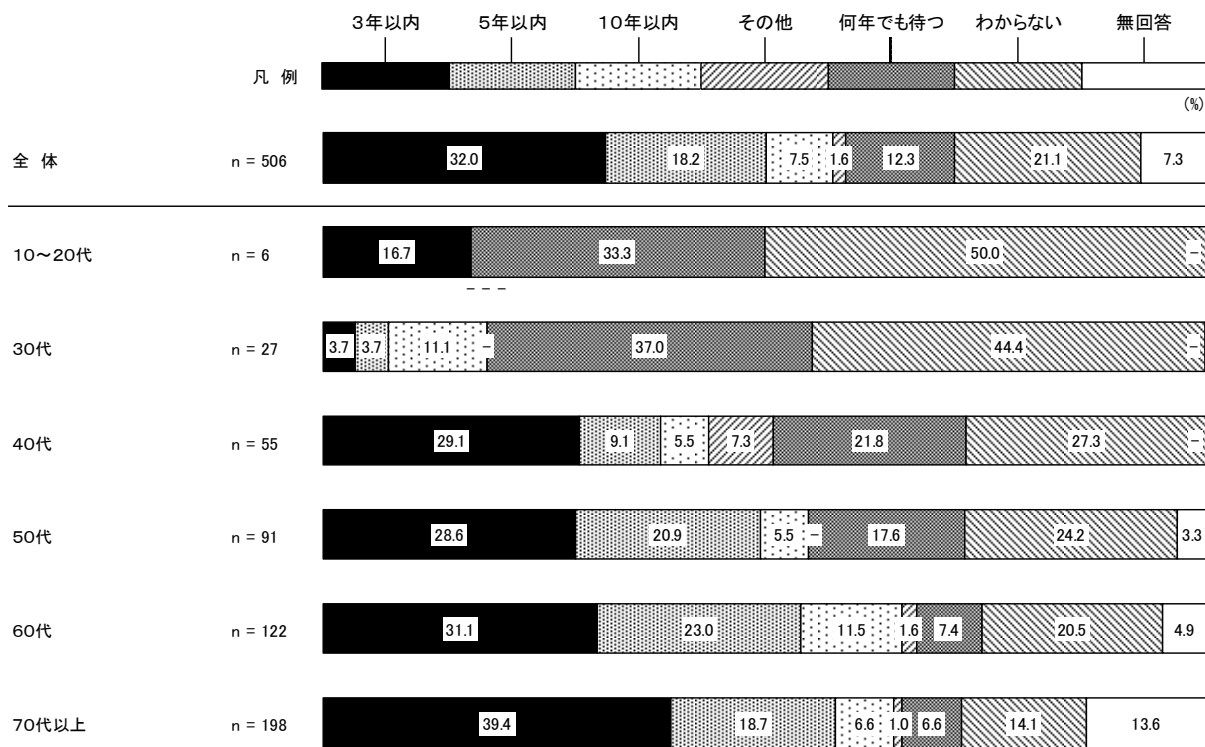
【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にかかっています。】

問9-1-2 現時点から解除まで待てる期間を教えてください。（〇は1つ）

富岡町へ戻る場合の避難指示解除まで待てる期間については、「3年以内」が32.0%、次いで「5年以内」が18.2%、「何年でも待つ」が12.3%となっている。

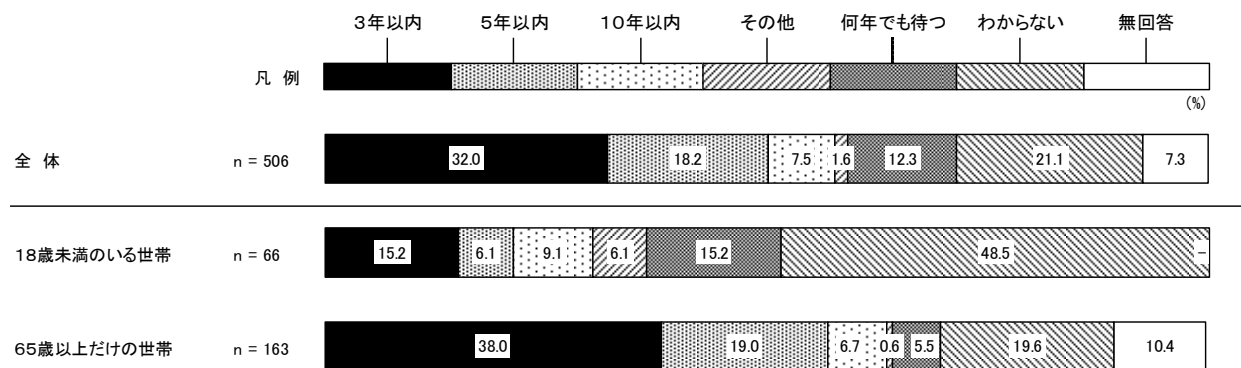
回答者の年齢別にみると、「3年以内」は70代以上で39.4%と高い。「何年でも待つ」は40代(21.8%)、50代(17.6%)で高くなっている

<図表3-3-3-1 避難指示解除まで待てる期間（年齢別）>



世帯構成別にみると、65歳以上だけの世帯では「3年以内」が38.0%と高くなっている。

<図表3-3-3-2 避難指示解除まで待てる期間（世帯構成別）>



### 3-3-4 富岡町へ戻る場合の家族

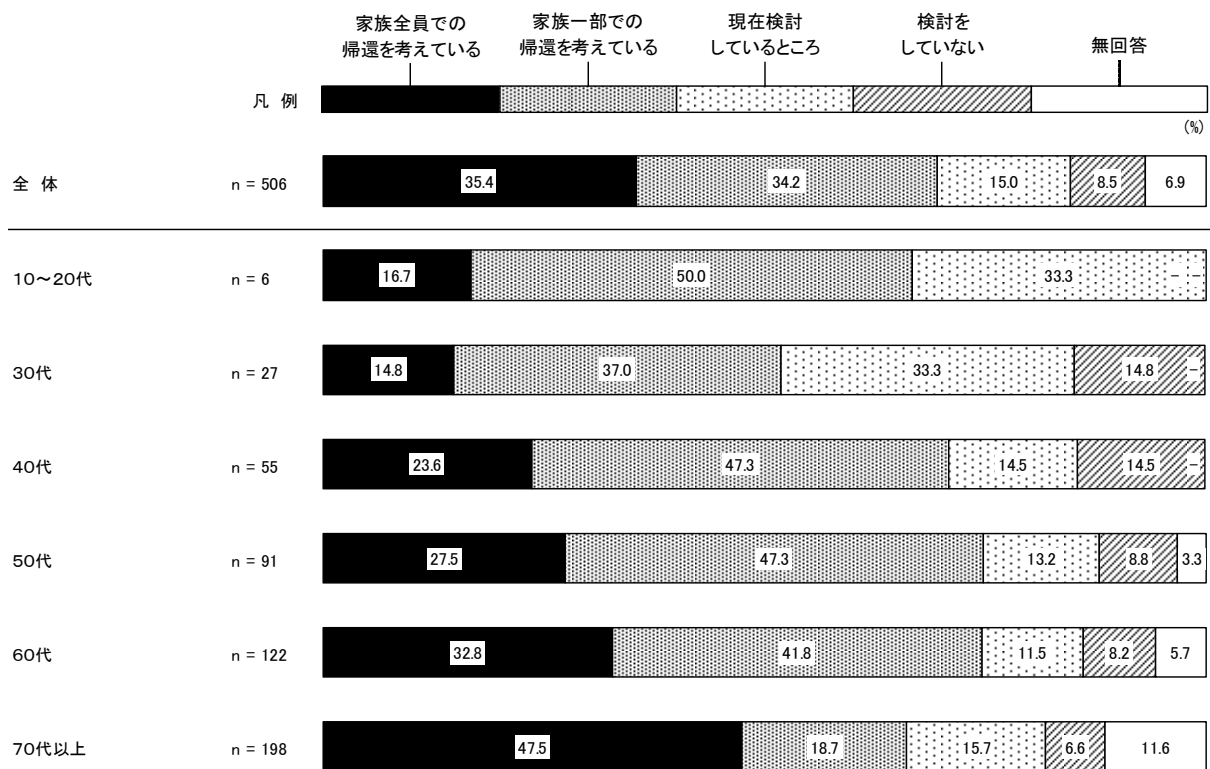
【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にかかっています。】

問9-1-3 戻る場合に家族の全員か一部かについて教えてください。（〇は1つ）

富岡町へ戻る場合の家族については、「家族全員での帰還を考えている」が35.4%、次いで「家族一部での帰還を考えている」が34.2%、「現在検討しているところ」が15.0%となっている。

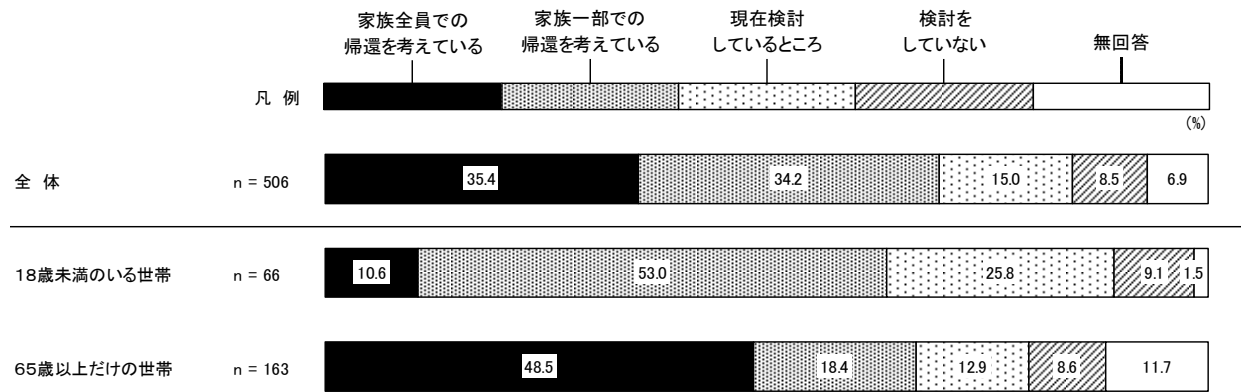
回答者の年齢別にみると、「家族全員での帰還を考えている」は70代以上（47.5%）で5割近くとなっている。「家族一部での帰還を考えている」は40代、50代で47.3%、60代で41.8%と高くなっている。

<図表3-3-4-1 富岡町へ戻る場合の家族（年齢別）>



世帯構成別にみると、「家族全員での帰還を考えている」は65歳以上の世帯（48.5%）で半数近くを占める。また、「家族一部での帰還を考えている」は18歳未満のいる世帯（53.0%）で過半数を占めている。

＜図表3-3-4-2 富岡町へ戻る場合の家族（世帯構成別）＞



### 3-3-5 富岡町へ帰還した場合の仕事

#### (1) 富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し

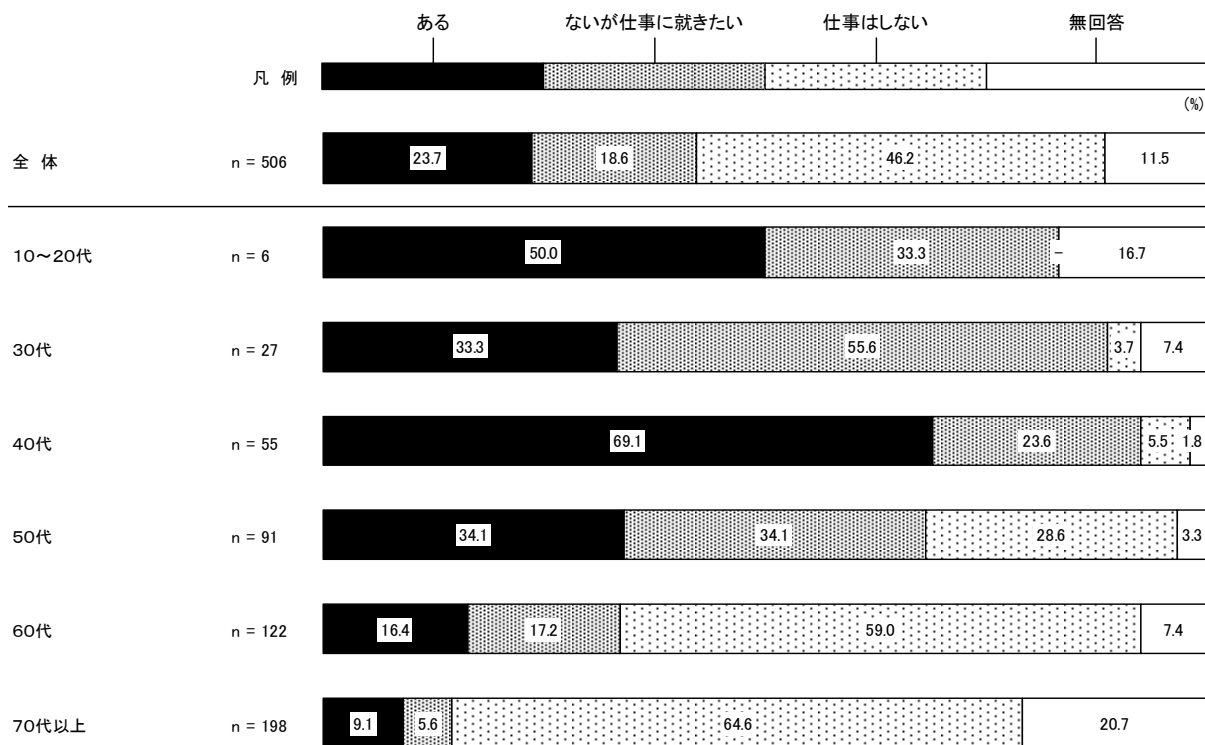
【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

問9-1-4 帰還した場合の仕事の見通しはありますか。(〇は1つ)

富岡町へ帰還した場合の仕事の見通しについては、仕事の見通しが「ある」は23.7%、「ないが仕事に就きたい」が18.6%、「仕事はない」が46.2%となっている。

回答者の年齢別にみると、仕事の見通しが「ある」は40代(69.1%)で7割近くを占めるものの、50代(34.1%)では3割台半ばとなっている。一方仕事の見通しは「ないが仕事に就きたい」は50代で34.1%と、40代と比べて高くなっている。

<図表3-3-5-1 富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し(年齢別)>





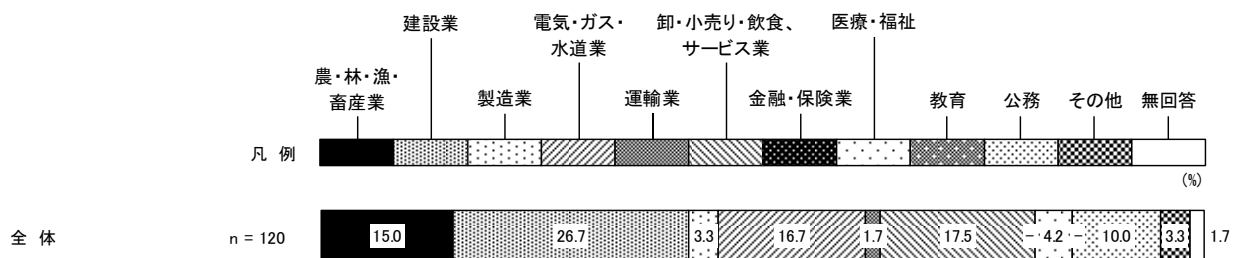
(2) 富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の業種

【問9-1-4で「1」と回答した方にうかがいます。】

問9-1-5 見通しがたっている仕事の業種は何ですか。(〇は1つ)

富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の業種については、「建設業」(26.7%)が最も高く、次いで「卸・小売り・飲食、サービス業」(17.5%)、「電気・ガス・水道業」(16.7%)となっている。

<図表3-3-5-2 富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の業種>



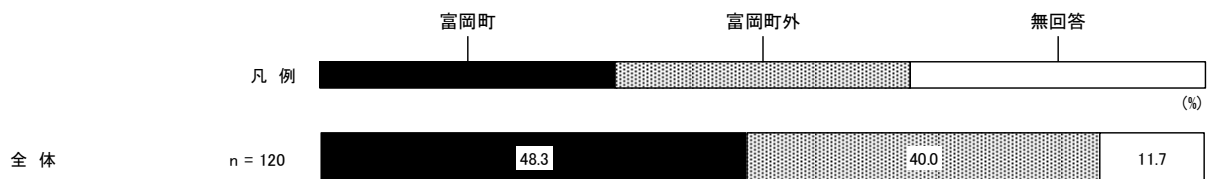
(3) 富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の場所

【問9-1-4で「1」と回答した方にうかがいます。】

問9-1-6 見通しがたっている仕事の場所(勤務先)はどこですか。(〇は1つ)

富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の場所については、「富岡町」(48.3%)が5割近くを占める。

<図表3-3-5-3 富岡町へ帰還した場合に見通しがたっている仕事の場所>



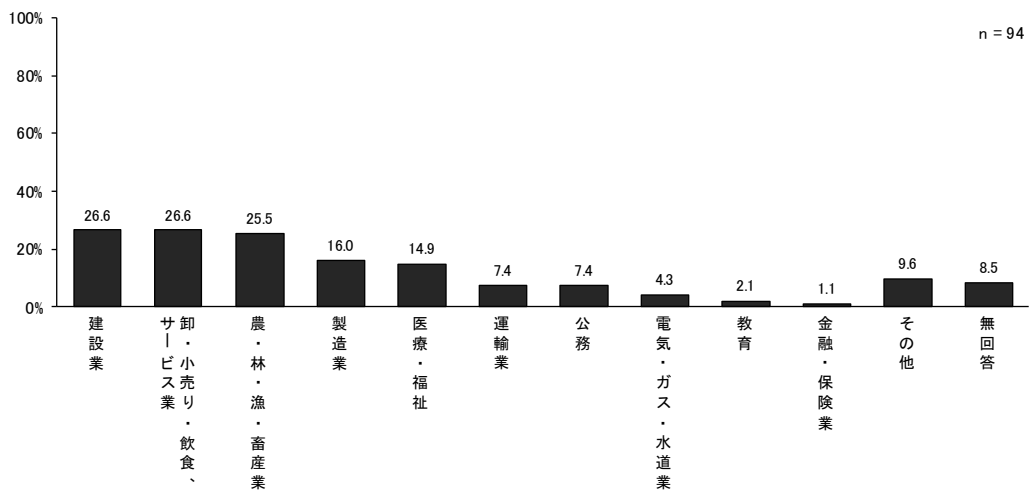
(4) 富岡町へ帰還した場合に就業を希望する仕事の業種

【問9-1-4で「2」と回答した方にうかがいます。】

問9-1-7 仕事に就く場合、どのような業種を希望しますか。(〇はいくつでも)

富岡町へ帰還した場合に就業を希望する仕事の業種については、「建設業」「卸・小売り・飲食、サービス業」(ともに26.6%)、「農・林・漁・畜産業」(25.5%)が2割以上となっている。

<図表3-3-5-4 富岡町へ帰還した場合に就業を希望する仕事の業種>



### 3-3-6 富岡町へ帰還する場合の住居形態

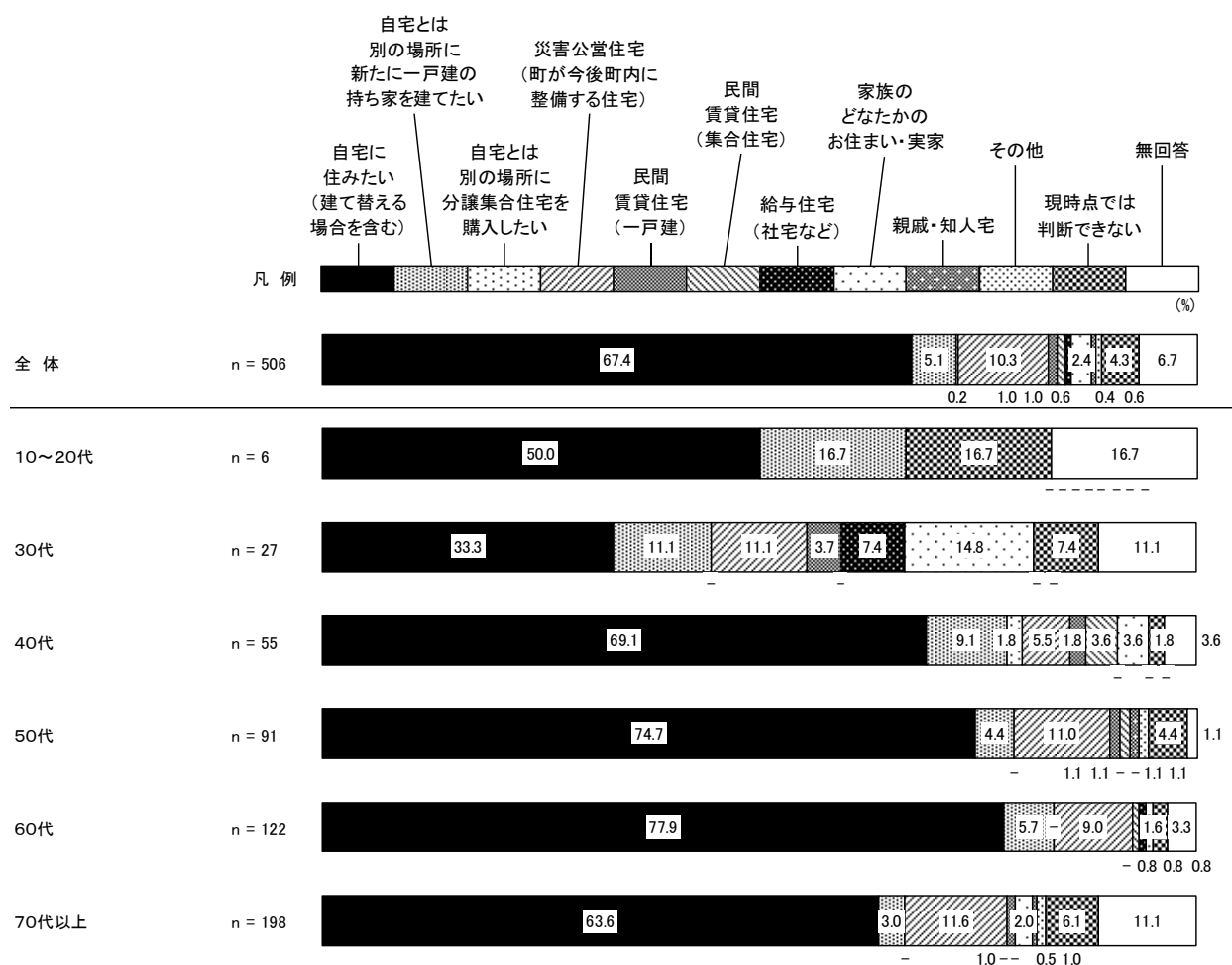
【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にかかっています。】

問9-3 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。（〇は1つ）

富岡町への帰還する場合の住居形態については、「自宅に住みたい（建て替える場合を含む）」が67.4%と最も高く、7割近くを占めており、次いで災害公営住宅（町が今後町内に整備する住宅）が10.3%となっている。

回答者の年齢別にみると、いずれの年代でも「自宅に住みたい（建て替える場合を含む）」が最も高い。

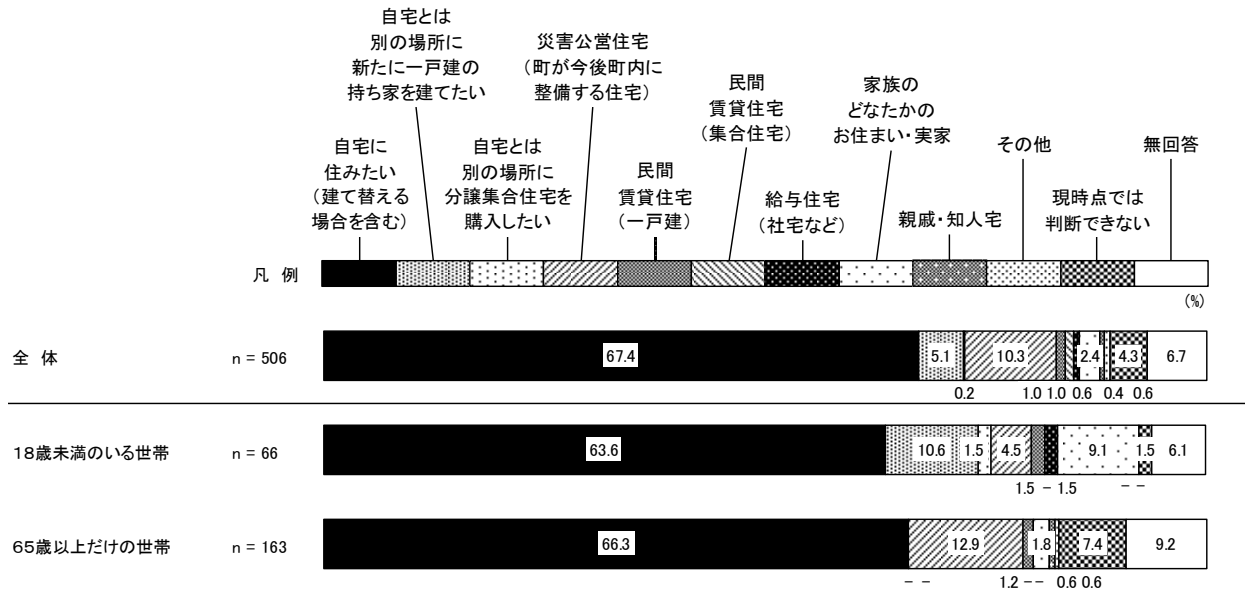
<図表3-3-6-1 富岡町へ帰還する場合の住居形態（年齢別）>



### III 調査結果

世帯構成別にみても、「自宅に住みたい（建て替える場合を含む）」はいずれの世帯構成でも最も高くなっている。また、「災害公営住宅（町が今後町内に整備する住宅）」は65歳だけの世帯で12.9%と全体の割合と比べ高くなっている。

<図表3-3-6-2 富岡町へ帰還する場合の住居形態（世帯構成別）>



<図表3-3-6-3 富岡町へ帰還する場合の住居形態（震災発生当時の住まいの行政区別）>

		(%)											
	n	自 宅 に 替 え る 場 合 を 含 む	自 宅 と は 別 の 場 所 に 新 た に 一 戸 建 の 場 所 を 建 て た い	自 宅 と は 別 の 場 所 に 分 譲 集 合 住 宅 を 購 入 し た い	災 害 公 営 住 宅 （ 町 が 今 後 町 内 に 整 備 す る 住 宅 ）	民 間 賃 貸 住 宅 （ 一 戸 建 ）	民 間 賃 貸 住 宅 （ 集 合 住 宅 ）	給 与 住 宅 （ 社 宅 な ど ）	家 族 の ど な た か の お 住 まい ・ 実 家	親 戚 ・ 知 人 宅	そ の 他	現 時 点 で は い 判 断 で き な い	無 回 答
全 体	506	67.4	5.1	0.2	10.3	1.0	1.0	0.6	2.4	0.4	0.6	4.3	6.7
杉内	13	76.9	-	-	7.7	-	-	-	-	-	-	-	15.4
仲町	18	83.3	-	-	5.6	-	-	-	-	-	-	5.6	5.6
高津戸	13	69.2	7.7	-	7.7	-	-	-	-	-	7.7	-	7.7
下千里	26	84.6	-	-	11.5	-	-	-	-	-	-	-	3.8
大菅	11	81.8	-	-	9.1	-	-	-	9.1	-	-	-	-
夜の森駅前北	26	53.8	3.8	-	19.2	-	-	-	-	3.8	-	11.5	7.7
夜の森駅前南	24	54.2	8.3	-	12.5	-	4.2	-	4.2	-	-	-	16.7
新町	18	55.6	5.6	-	11.1	-	-	-	-	-	-	22.2	5.6
赤木	4	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上本町	9	77.8	-	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	11.1
王塚	36	77.8	5.6	-	2.8	-	-	2.8	2.8	-	2.8	-	5.6
本町	33	66.7	6.1	-	3.0	3.0	3.0	-	3.0	-	-	-	15.2
岩井戸	10	90.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-
清水	33	66.7	-	-	9.1	3.0	-	-	6.1	-	-	6.1	9.1
上郡	5	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
太田	9	88.9	-	-	-	-	-	-	-	11.1	-	-	-
下郡山	18	72.2	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	11.1
毛萱	6	16.7	33.3	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
仏浜	3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3
駅前	8	62.5	12.5	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
西原	34	67.6	8.8	-	8.8	-	2.9	-	5.9	-	-	2.9	2.9
中央	26	57.7	3.8	-	19.2	-	3.8	3.8	-	-	3.8	3.8	3.8
小浜	37	62.2	5.4	-	8.1	-	2.7	2.7	5.4	-	-	5.4	8.1
深谷	11	90.9	-	-	-	9.1	-	-	-	-	-	-	-
小良ヶ浜	18	44.4	16.7	5.6	11.1	5.6	-	-	5.6	-	-	11.1	-
栄町	3	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新夜ノ森	49	57.1	8.2	-	14.3	2.0	-	-	2.0	-	-	10.2	6.1
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

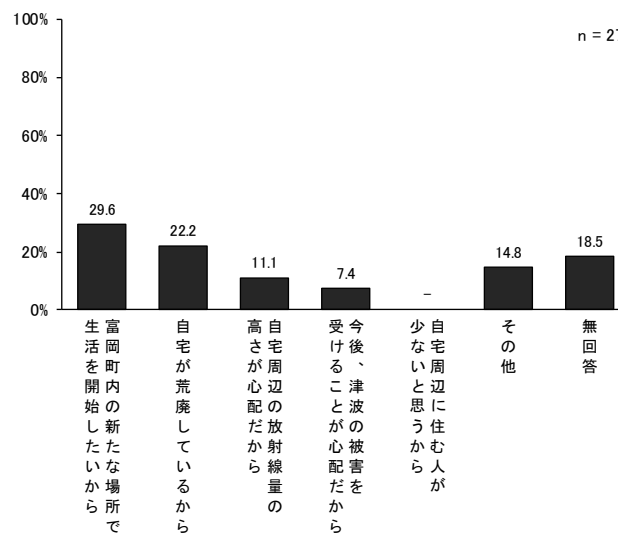
### 3-3-7 富岡町への帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由

【問9-3で「2」、「3」と回答した方にうかがいます。】

問9-4 元の持ち家以外を希望される理由は何ですか。(〇はいくつでも)

富岡町へ帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由については、「富岡町内の新たな場所で生活をしたいから」が29.6%と最も高く、次いで「自宅が荒廃しているから」が22.2%、「自宅周辺の放射線量の高さが心配だから」が11.1%となっている。

<図表3-3-7-1 富岡町へ帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由>



### 3-3-8 富岡町へ帰還する場合の災害公営住宅（町が今後町内に整備する住宅）への希望

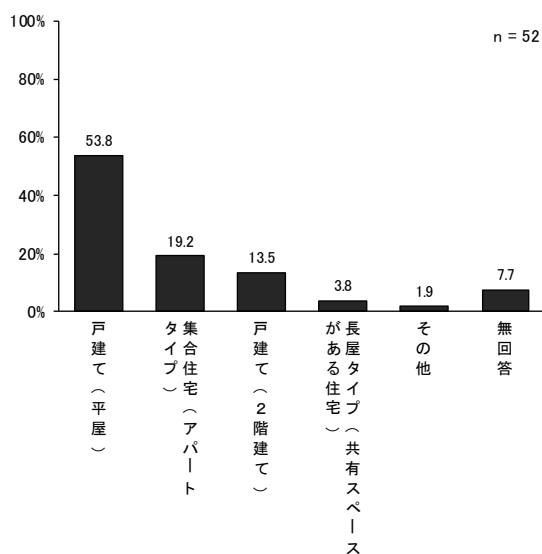
#### （1）災害公営住宅（町が今後町内に整備する住宅）で希望する住居形態

【問9-3で「4」と回答した方にかがいます。】

問9-5 町が今後町内で整備する災害公営住宅では、どのような形態を希望されますか。（○は1つ）

災害公営住宅（町が今後町内に整備する住宅）で希望する住居形態については、「戸建て（平屋）」が53.8%と最も高く過半数を占めている。

<図表3-3-8-1 災害公営住宅（町が今後町内に整備する住宅）で希望する住居形態>



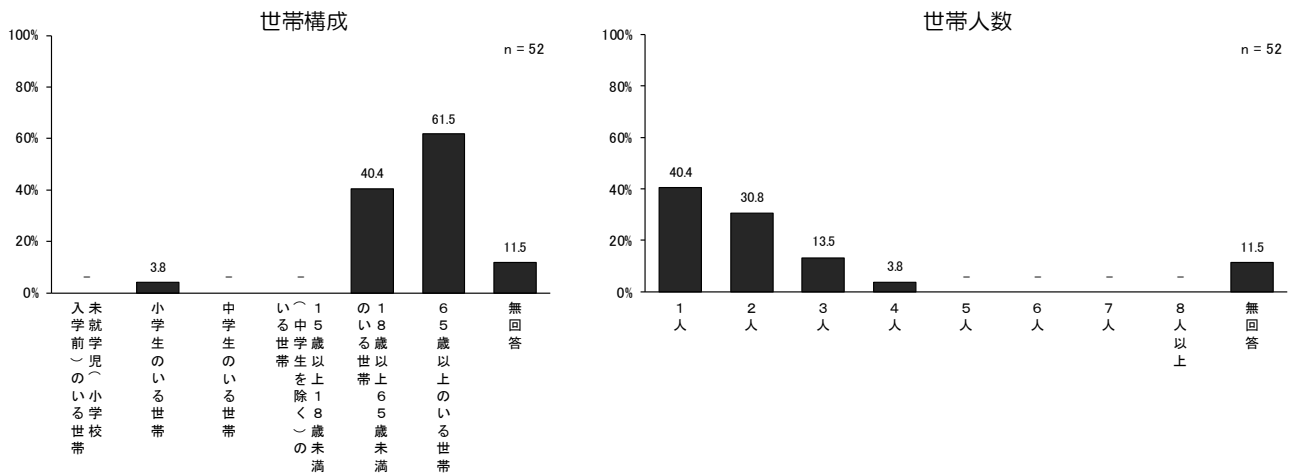
(2) 災害公営住宅（町が今後町内に整備する住宅）に入居する際の世帯構成・人数

【問9-3で「4」と回答した方にうかがいます。】

問9-5-1 入居する際の家族構成についてお聞かせください。（人数で回答）

災害公営住宅（町が今後町内に整備する住宅）に入居する際の世帯構成については、「65歳以上のいる世帯」が61.5%と最も高く、次いで「18歳以上65歳未満のいる世帯」が40.4%となっている。  
世帯人数については、「1人」が40.4%と最も高く、次いで「2人」が30.8%、「3人」が13.5%となっている。

<図表3-3-8-2 災害公営住宅（町が今後町内に整備する住宅）に入居する際の世帯構成・人数>



(3) 災害公営住宅（町が今後町内に整備する住宅）に入居する際に希望する居住地域

【問9-3で「4」と回答した方にうかがいます。】

問9-5-2 居住地域の希望はありますか。（○は1つ）

災害公営住宅（町が今後町内に整備する住宅）に入居する際に希望する居住地域については、居住地域の希望が「ある」は32.7%、「ない」は40.4%となっている。

<図表3-3-8-3 災害公営住宅（町が今後町内に整備する住宅）に入居する際に希望する居住地域>





### 3-3-9 富岡町へ帰還する場合に今後の生活において必要な支援

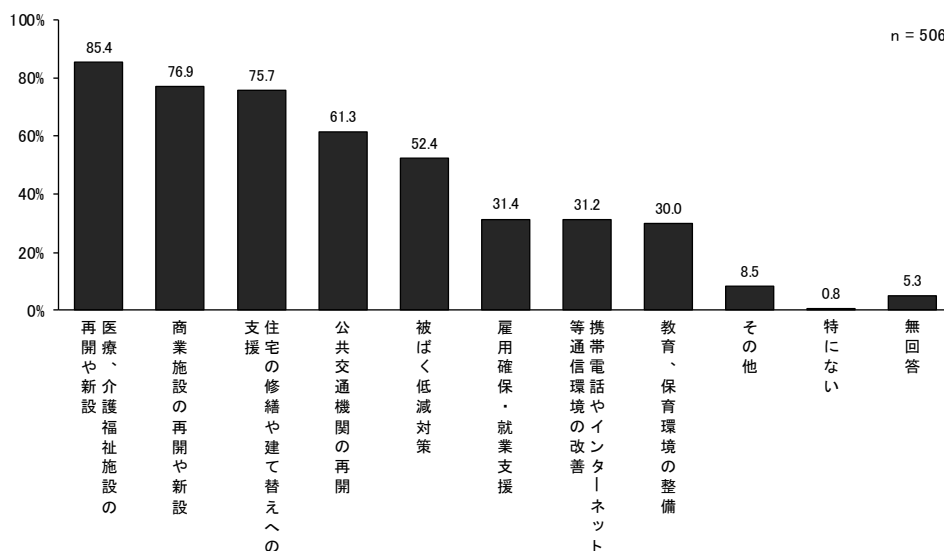
【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

問9-6 富岡町に戻る場合に、今後の生活においてどのような支援が必要と考えますか。（〇はいくつでも）

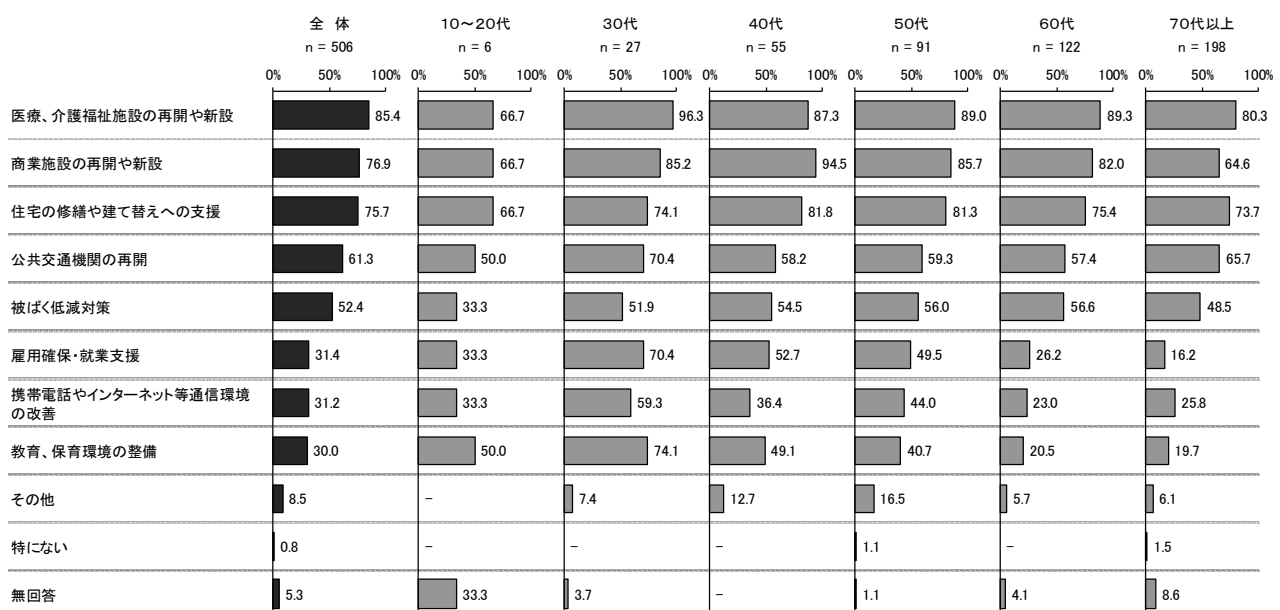
富岡町へ帰還する場合に今後の生活において必要な支援については、「医療、介護福祉施設の再開や新設」が85.4%と最も高く、次いで「商業施設の再開や新設」が76.9%、「住宅の修繕や建て替えへの支援」が75.7%となっている。

回答者の年齢別にみると、「商業施設の再開や新設」は40代（94.5%）で9割以上、50代（85.7%）、60代（82.0%）で8割以上、「住宅の修繕や建て替えへの支援」は40代（81.8%）、50代（81.3%）で8割以上を占める。また、「雇用確保・就業支援」は40代（52.7%）、50代（49.5%）で5割前後、「携帯電話やインターネット等通信環境の改善」は50代（44.0%）で4割代半ば、「教育、保育環境の整備」は40代（49.1%）で5割近く、50代（40.7%）で4割となっており、他の年齢と比べて高い。

<図表3-3-9-1 富岡町へ帰還する場合に今後の生活において必要な支援>



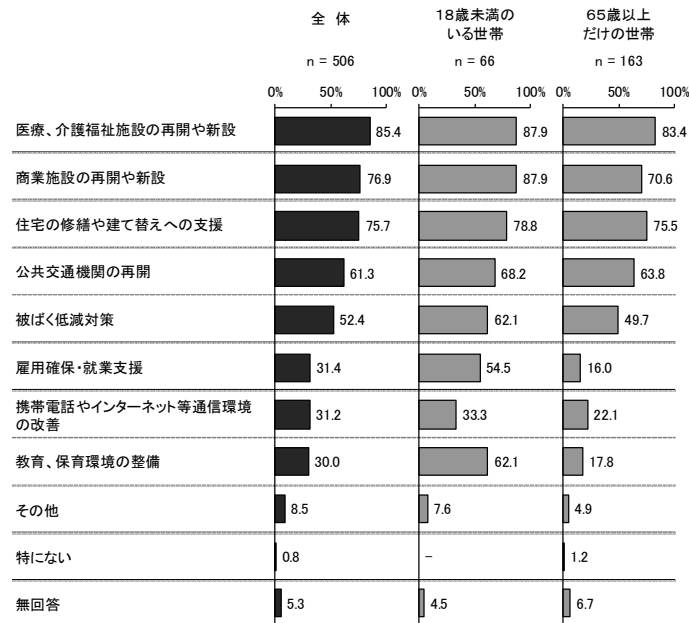
<図表3-3-9-2 富岡町へ帰還する場合に今後の生活において必要な支援（年齢別）>



### Ⅲ 調査結果

世帯構成別にみると、18歳未満のいる世帯では、「医療、介護福祉施設の再開や新設」、「商業施設の再開や新設」（ともに87.9%）、「被ばく低減対策」、「教育、保育環境の整備」（ともに62.1%）、「雇用確保・就職支援」（54.5%）が高くなっている。

<図表3-3-9-3 富岡町へ帰還する場合に今後の生活において必要な支援（世帯構成別）>



### 3-3-10 帰還の判断がつかないあるいは戻らないと決めている理由

【問9で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問9-2 まだ判断がつかない、あるいは戻らないと決めている理由はどのようなことですか。

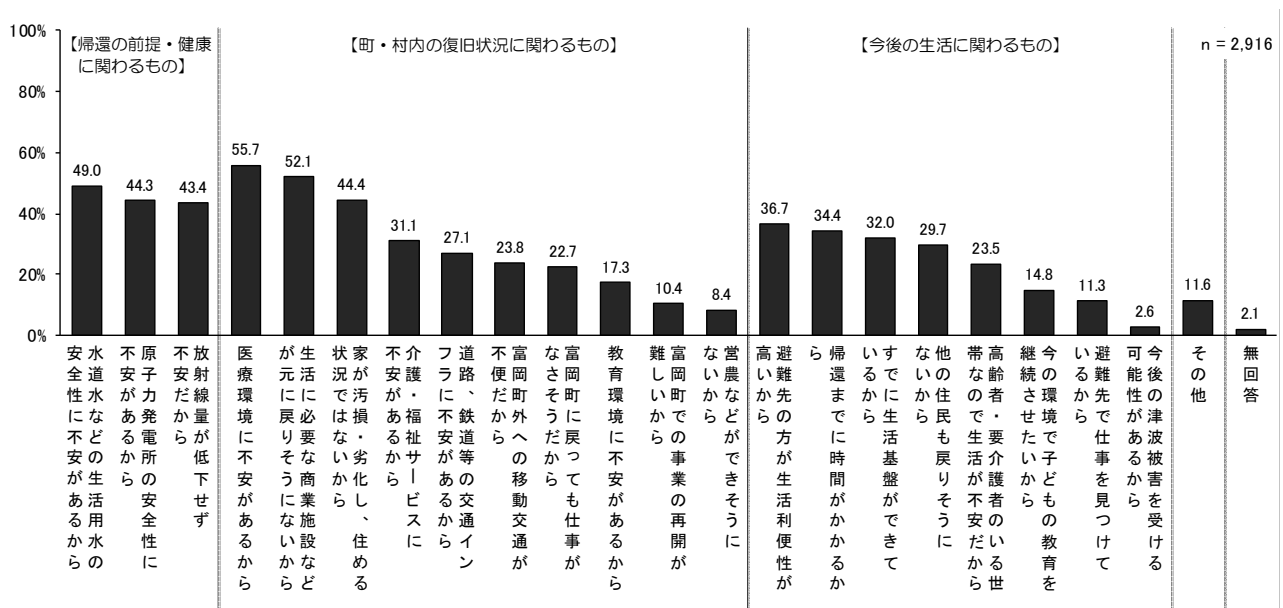
(〇はいくつでも)

帰還の判断がつかないあるいは戻らないと決めている理由について、【帰還の前提・健康に関わるもの】では、「水道水などの生活用水の安全性に不安があるから」が最も高く49.0%、次いで「原子力発電所の安全性に不安があるから」が44.3%、「放射線量が低下せず不安だから」が43.4%となっている。

【町内の復旧状況に関わるもの】では、「医療環境に不安があるから」が55.7%で最も高く、次いで「生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから」が52.1%、「家が汚損・劣化し、住める状況ではないから」が44.4%となっている。

【今後の生活に関わるもの】では、「避難先のほうが生活利便性が高いから」が36.7%で最も高く、次いで「帰還までに時間がかかるから」が34.4%、「すでに生活基盤ができているから」が32.0%となっている。

<図表3-3-10-1 帰還の判断がつかないあるいは戻らないと決めている理由>



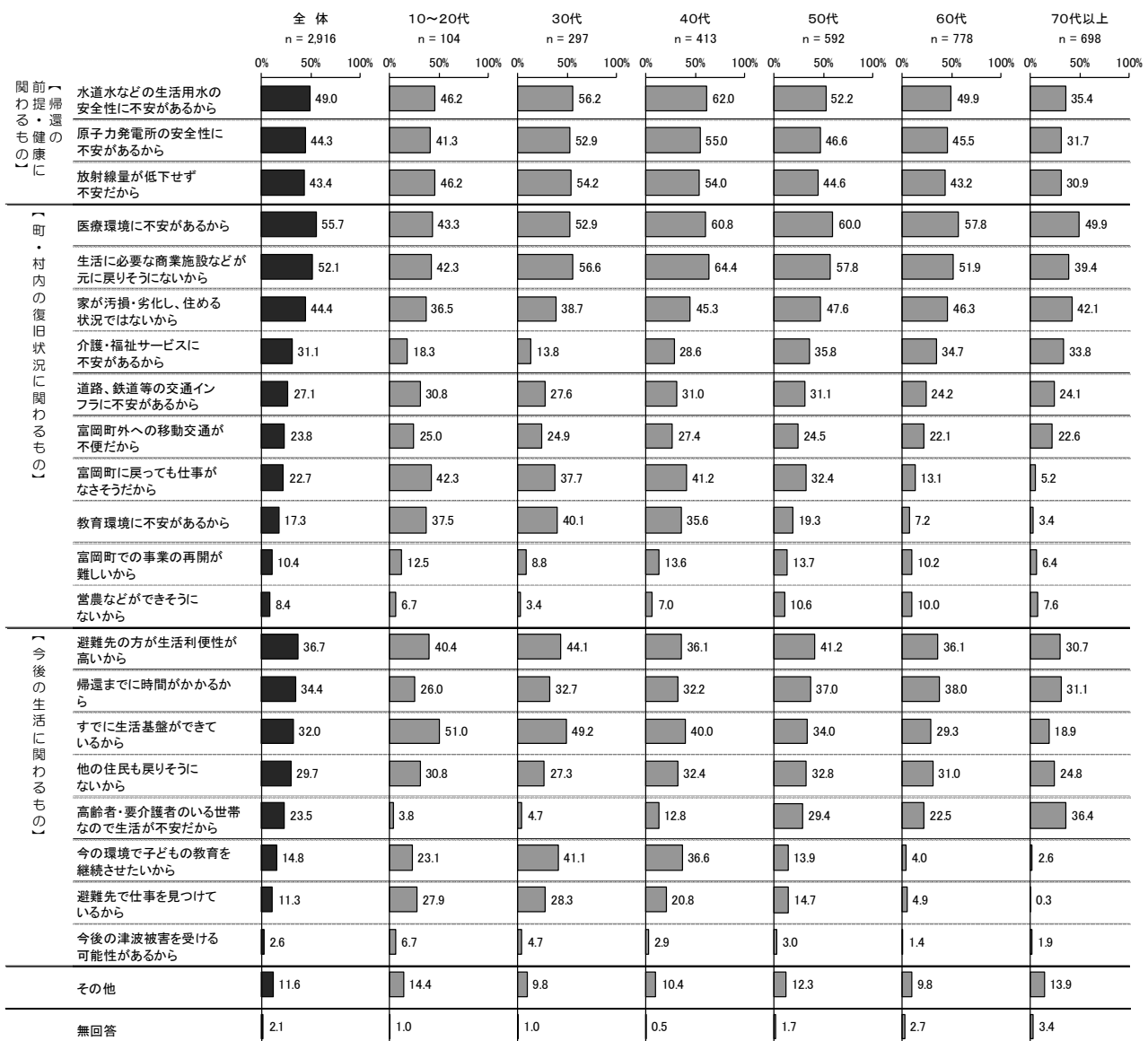
### III 調査結果

回答者の年齢別にみると、【帰還の前提・健康に関わるもの】では、「水道水などの生活用水の安全性に不安があるから」は30代（56.2%）、40代（62.0%）で高い。「原子力発電所の安全性に不安があるから」は30代（52.9%）、40代（55.0%）で5割以上と高くなっている。「放射線量が低下せず不安だから」も30代（54.2%）、40代（54.0%）で5割以上と高い。

【町内の復旧状況に関わるもの】では、「医療環境に不安があるから」が40代（60.8%）、50代（60.0%）で6割以上と高い。「生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから」は40代（64.4%）、50代（57.8%）で高い。「富岡町に戻っても仕事がなさそうだから」は10～20代（42.3%）、30代（37.7%）、40代（41.2%）、50代（32.4%）の各年齢で高くなっている。また、「教育環境に不安があるから」は10～20代（37.5%）、30代（40.1%）、40代（35.6%）で3～4割と高い。

【今後の生活に関わるもの】では、「避難先のほうが生活利便性が高いから」は30代（44.1%）で高くなっている。「すでに生活基盤ができてきているから」は10～40代の各年齢で4～5割を占め高い。「高齢者・要介護者だけの世帯なので生活が不安だから」は50代（29.4%）、70代以上（36.4%）で高くなっている。「今の環境で子どもの教育を継続させたいから」は30代（41.1%）、40代（36.6%）で4割前後、「避難先で仕事を見つけているから」は10～20代（27.9%）、30代（28.3%）、40代（20.8%）で2割台と高くなっている。

<図表3-3-10-2 帰還の判断がつかないあるいは戻らないと決めている理由（年齢別）>

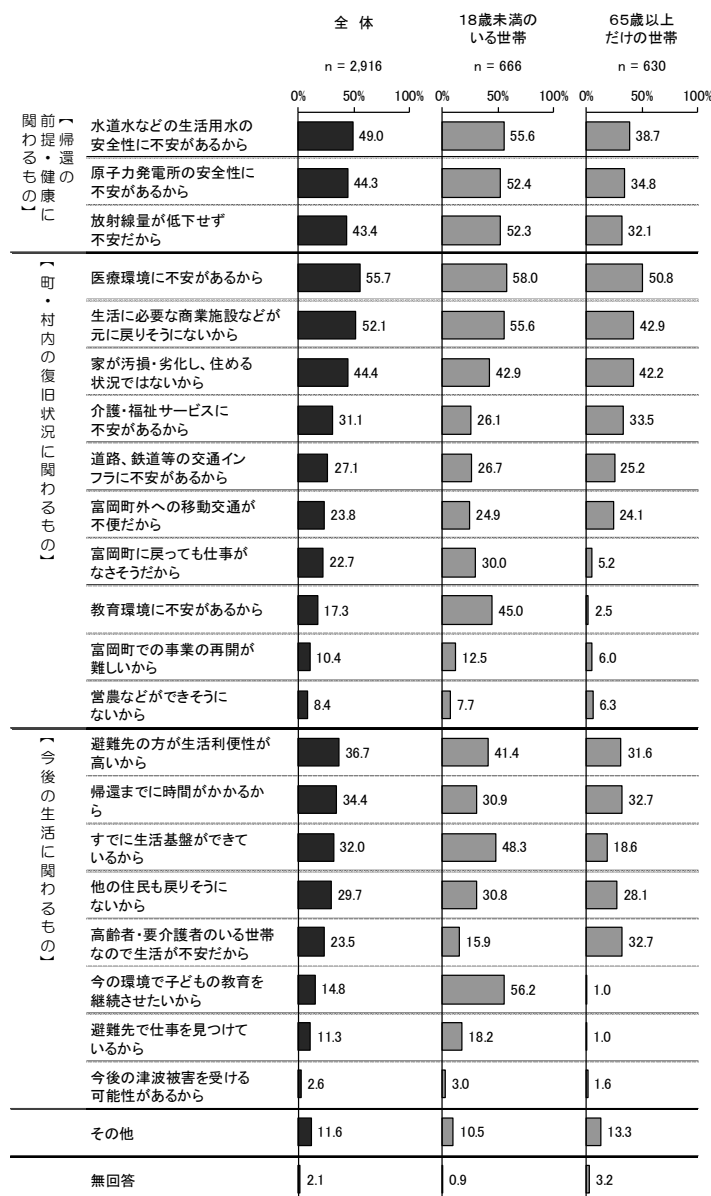


世帯構成別にみると【帰還の前提・健康に関わるもの】では、18歳未満のいる世帯でいずれも5割以上と高い。

【町内の復旧状況に関わるもの】では、「富岡町に戻っても仕事がなさそうだから」は18歳未満のいる世帯（30.0%）で3割と高くなっている。「教育環境に不安があるから」は18歳未満のいる世帯（45.0%）で4割以上と高い。

【今後の生活に関わるもの】では、「すでに生活基盤ができているから」は18歳未満のいる世帯で48.3%と半数近くを占める。「高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから」は65歳以上だけの世帯（32.7%）で3割以上と高い。「今の環境で子どもの教育を継続させたいから」は18歳未満のいる世帯で（56.2%）で5割以上となっている。

＜図表3-3-10-3 帰還の判断がつかないあるいは戻らないと決めている理由（世帯構成別）＞



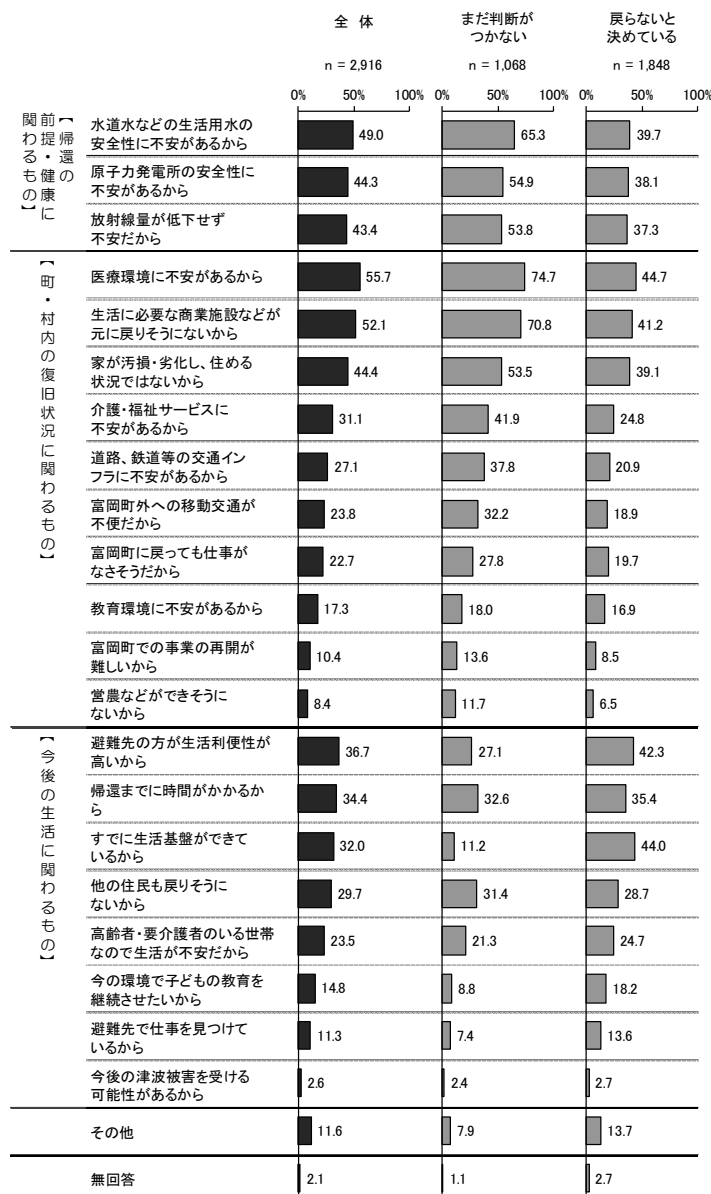
### III 調査結果

帰還意向別にみると【帰還の前提・健康に関わるもの】では、まだ判断がつかないと回答した人でいずれも5～6割と高い。

【町内の復旧状況に関わるもの】では、「医療環境に不安があるから」、「生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから」、「家が汚損・劣化し、住める状況ではないから」、「介護・福祉サービスに不安があるから」、「道路・鉄道等の交通インフラに不安があるから」、「富岡町外への移動交通が不便だから」、「富岡町に戻っても仕事がなさそうだから」の各回答は、まだ判断がつかないと回答した人で高くなっている。

【今後の生活に関わるもの】では、「避難先のほうが生活利便性が高いから」、「すでに生活基盤ができているから」は戻らないと決めていると回答した人で4割以上と高い。

＜図表3-3-10-4 帰還の判断がつかないあるいは戻らないと決めている理由（帰還意向別）＞



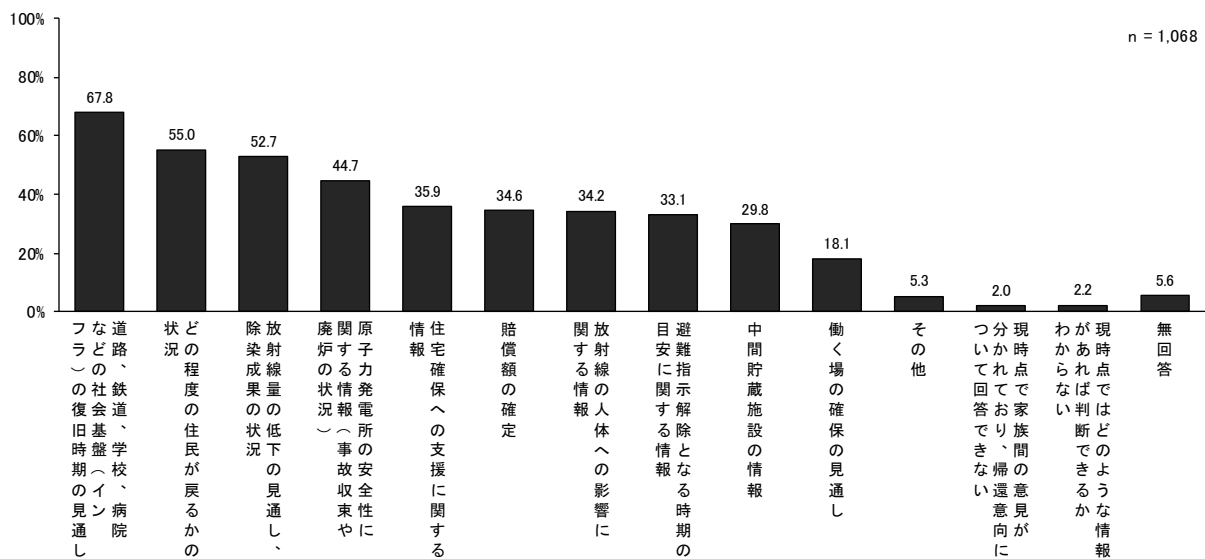
### 3-3-11 富岡町への帰還を判断する上で必要と思う情報

【問9で「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問9-7 富岡町へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。(〇はいくつでも)

富岡町への帰還を判断する上で必要と思う情報については、「道路、鉄道、学校、病院などの社会基盤（インフラ）の復旧時期の見通し」が67.8%と最も高く、次いで「どの程度の住民が戻るかの状況」が55.0%、「放射線量の低下の見通し、除染成果の状況」が52.7%となっている。

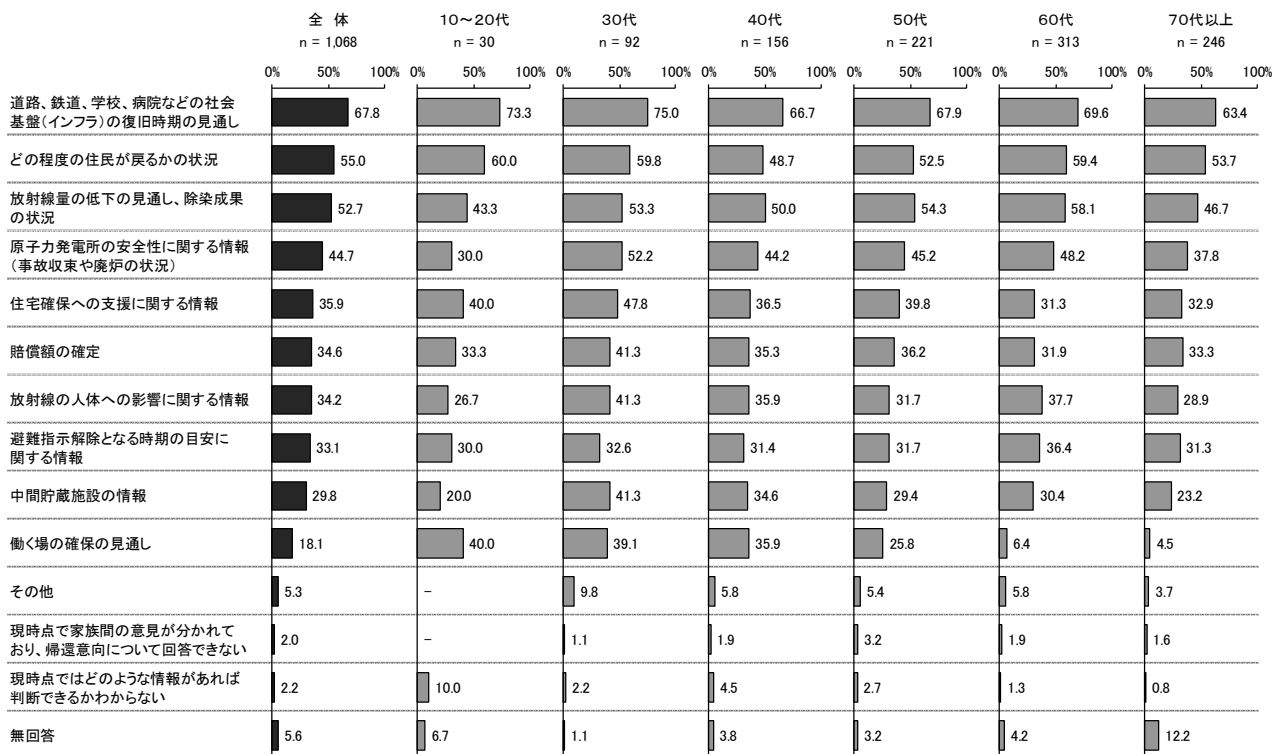
＜図表3-3-11-1 富岡町への帰還を判断する上で必要と思う情報＞



### III 調査結果

回答者の年齢別にみると、「道路、鉄道、学校、病院などの社会基盤（インフラ）の復旧時期の見通し」は10～20代（73.3%）、30代（75.0%）で7割以上と高い。「どの程度の住民が戻るかの状況」は10～20代（60.0%）で6割以上となっている。「放射線量の低下の見通し、除染成果の状況」は60代（58.1%）で6割近くと高くなっている。「原子力発電所の安全性に関する情報（事故収束や廃炉の状況）」は30代（52.2%）で過半数を占め高い。「住宅確保への支援に関する情報」は30代（47.8%）で半数近くとなっている。「賠償額の確定」、「放射線の人体への影響に関する情報」、「中間貯蔵施設の情報」は30代（いずれも41.3%）で4割以上と高い。「働く場の確保の見通し」は10代～50代の各年齢で2割～4割と高くなっている。

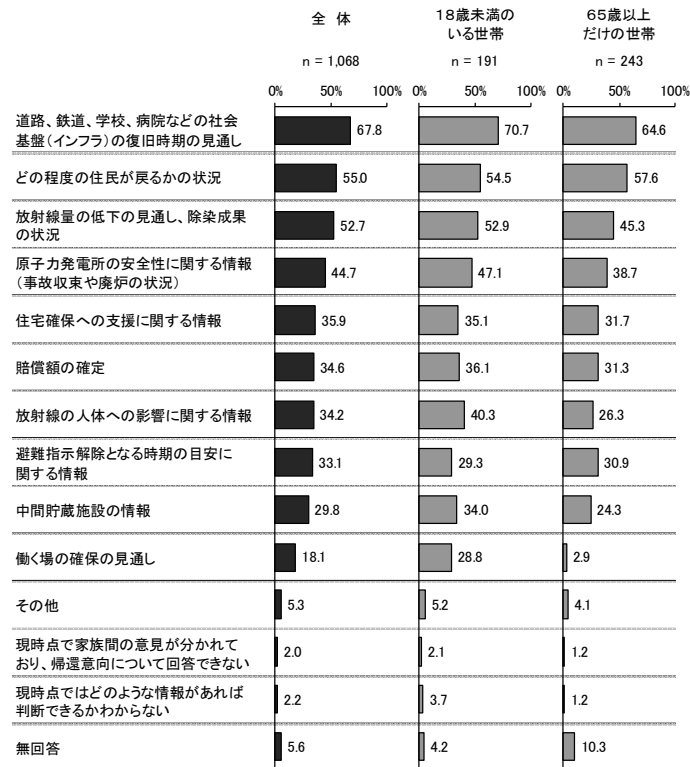
＜図表3-3-11-2 富岡町への帰還を判断する上で必要と思う情報（年齢別）＞





世帯構成別にみると、「放射線の人体への影響に関する情報」は18歳未満のいる世帯（40.3%）で全体の割合と比べ高い。また、「働く場の確保の見通し」についても18歳未満のいる世帯（28.8%）で全体の割合と比べ高い。

＜図表3-3-11-3 富岡町への帰還を判断する上で必要と思う情報（世帯構成別）＞



### 3-3-12 富岡町へ戻った場合に希望する仕事

#### (1) 富岡町へ戻った場合に希望する仕事の業種

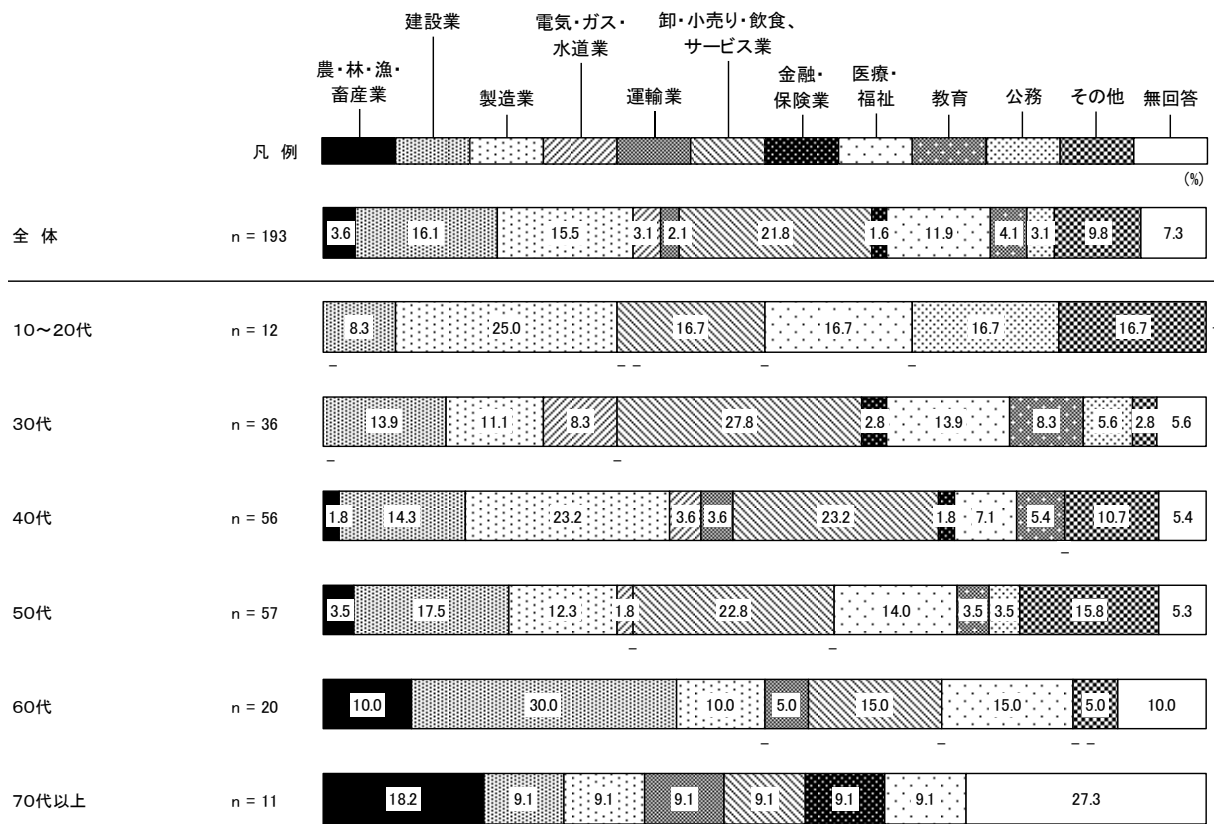
【問9-7で「8」と回答した方にうかがいます。】

問9-7-1 どのような業種の仕事を希望しますか。(〇は1つ)

富岡町へ戻った場合に希望する仕事の業種については、「卸・小売り・飲食、サービス業」が21.8%と最も高く、次いで「建設業」が16.1%、「製造業」が15.5%となっている。

回答者の年齢別にみると、「製造業」は40代(23.2%)で高くなっている。

<図表3-3-12-1 富岡町に戻った場合に希望する仕事の業種(年齢別)>



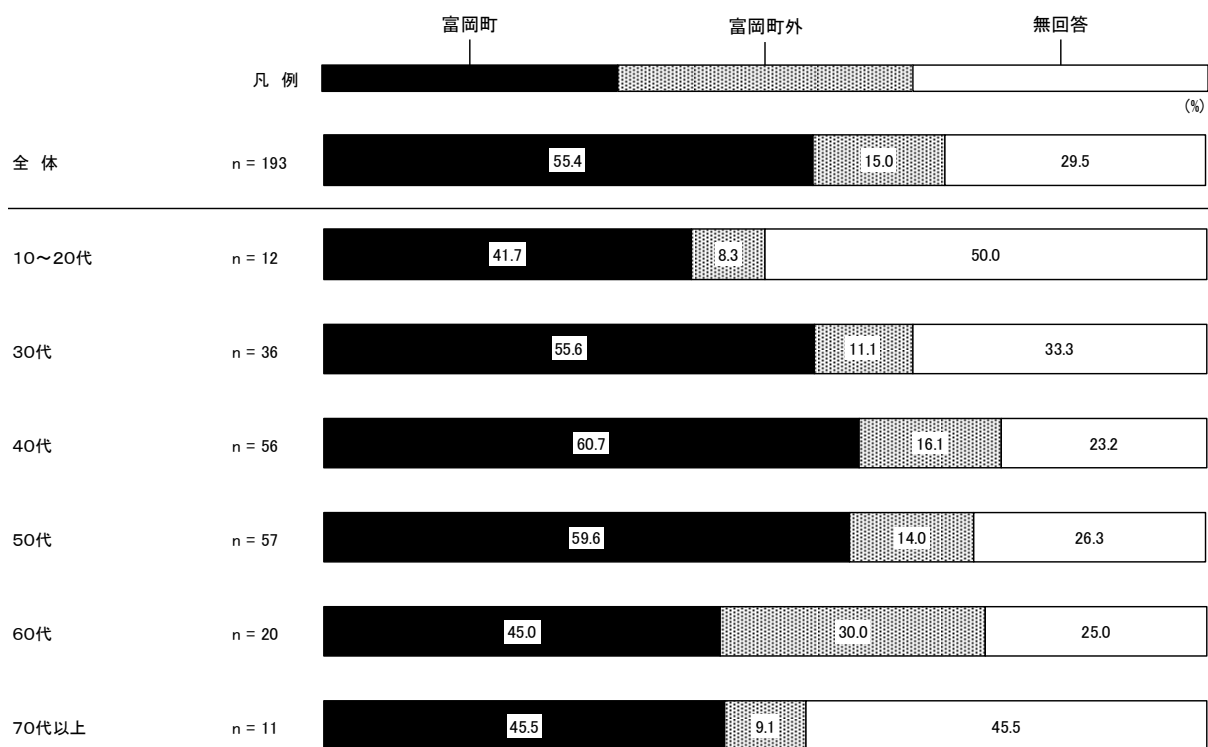
(2) 富岡町へ戻った場合に希望する仕事の場所

【問9-7で「8」と回答した方にかがいます。】

問9-7-2 仕事の場所（勤務先）はどこを希望しますか。（〇は1つ）

富岡町へ戻った場合に希望する仕事の場所については、「富岡町」が55.4%と過半数を占める。回答者の年齢別にみると、「富岡町」は40代（60.7%）で6割を占め高い。

<図表3-3-12-2 富岡町に戻った場合に希望する仕事の場所（年齢別）>



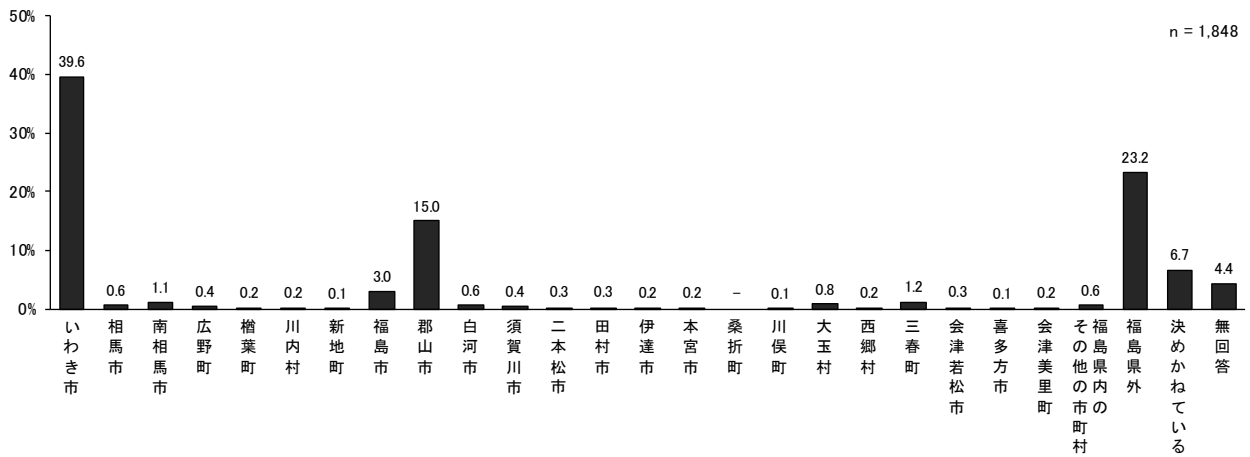
### 3-3-13 帰還しない場合に居住したい自治体

【問9で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

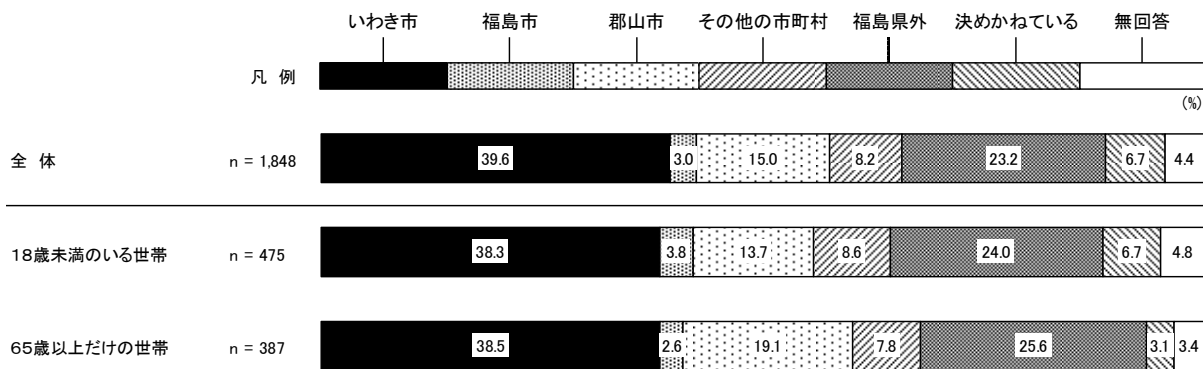
問9-9 帰還しない場合に、今後、居住を希望する（既に居住している場合を含む）自治体はどちらですか。その自治体を教えてください。（〇は1つ）

帰還しない場合に居住したい自治体については、「いわき市」が39.6%と最も高く、次いで「福島県外」が23.2%、「郡山市」が15.0%となっている。  
世帯構成別にみても、全体と同様の傾向にある。

<図表3-3-13-1 帰還しない場合に居住したい自治体>

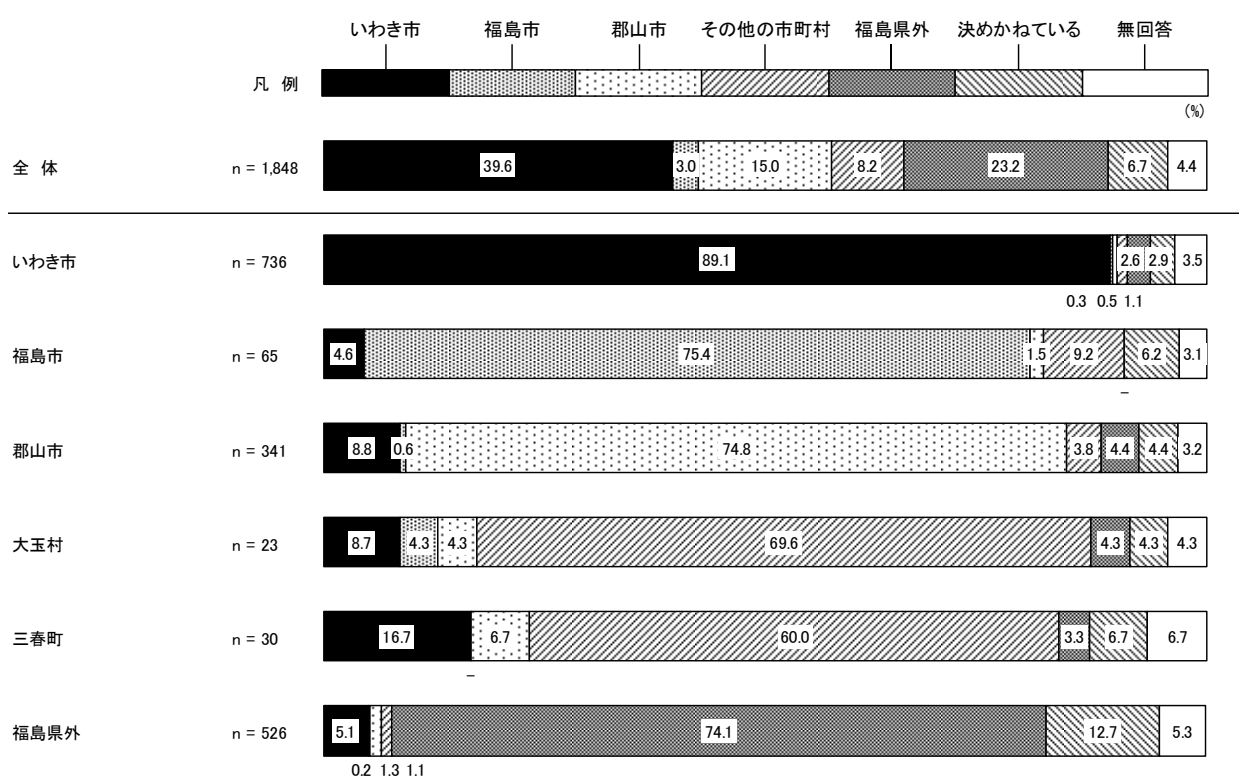


<図表3-3-13-2 帰還しない場合に居住したい主な自治体（世帯構成別）>



主な避難先自治体別にみると、いずれの自治体でも避難先の自治体に居住を希望する割合が高い。

<図表3-3-13-3 帰還しない場合に居住したい主な自治体（主な避難先自治体別）>



### 3-3-14 帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態

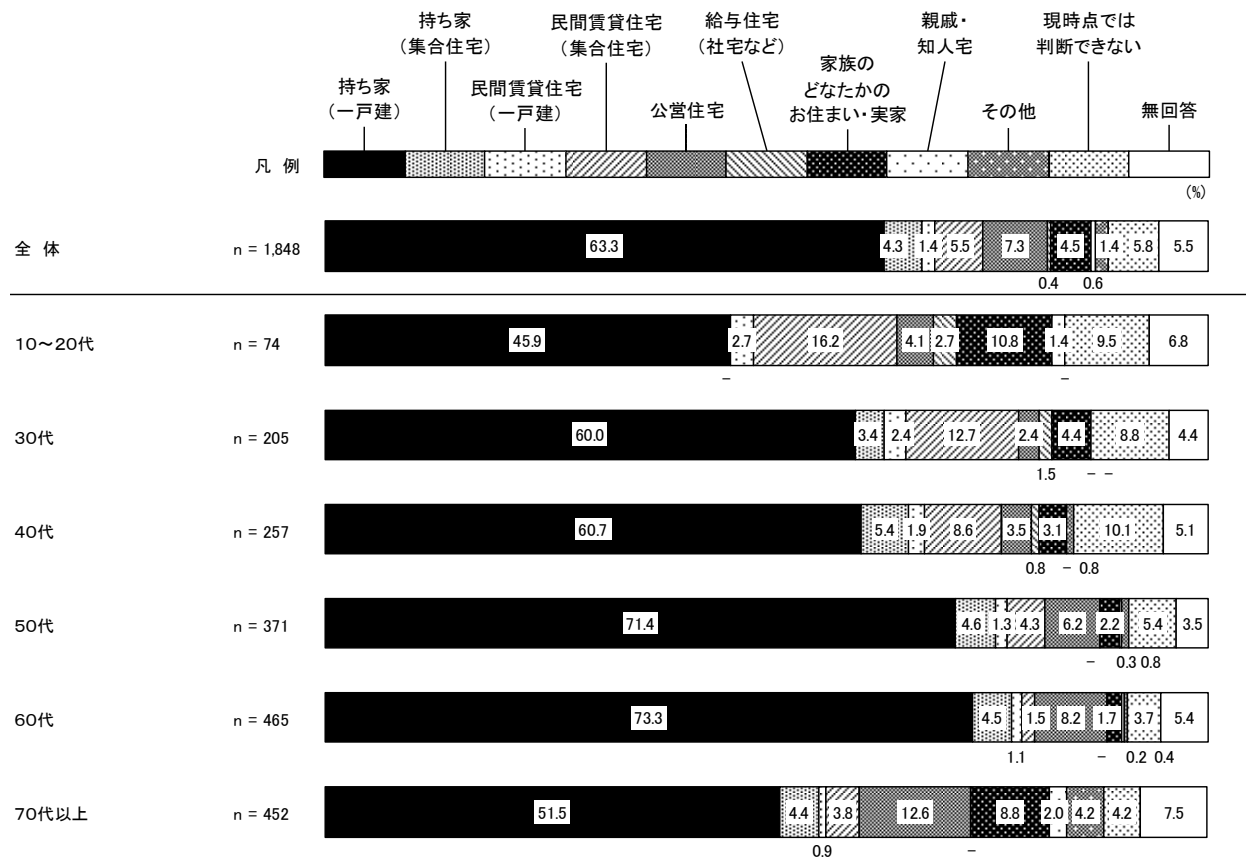
【問9で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問9-10 帰還しない場合に、今後のお住まいとして、希望する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。（〇は1つ）

帰還せず別の自治体に転居する場合に希望する住居形態については、「持ち家（一戸建）」が63.3%と最も高く、6割以上を占めている。

回答者の年齢別にみると、「持ち家（一戸建）」は50代で71.4%、60代で73.3%と高く、ともに7割以上を占める。「公営住宅」は70代以上で12.6%と他の年代と比べ高い。また、「民間賃貸住宅（集合住宅）」は10代~20代で16.2%、30代で12.7%と他の年代と比べ高い。

<図表3-3-14-1 帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態（年齢別）>



### 3-3-15 富岡町との“つながり”を保ちたいか

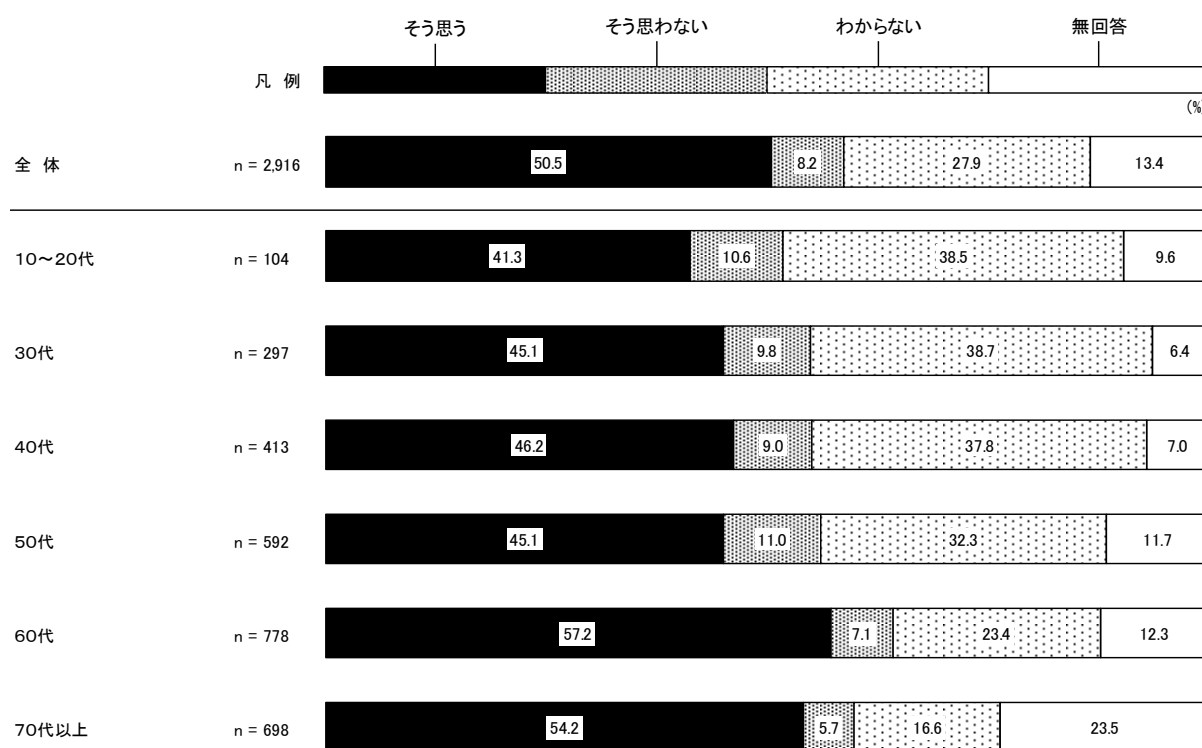
【問9で「2」、「3」と回答した方にうかがいます。】

問9-8 富岡町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(〇は1つ)

帰還について、まだ判断がつかない場合及び帰還しない場合に、富岡町との“つながり”を保ちたいかについては、「そう思う」が50.5%、次いで「わからない」が27.9%、「そう思わない」が8.2%となっている。

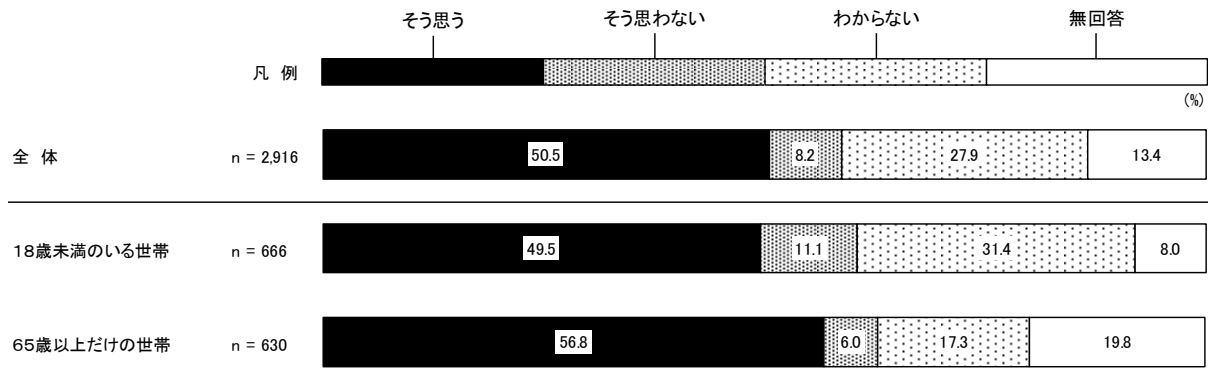
回答者の年齢別にみると、60代、70代以上では「そう思う」が過半数を占める。

<図表3-3-15-1 富岡町との“つながり”を保ちたいか(年齢別)>

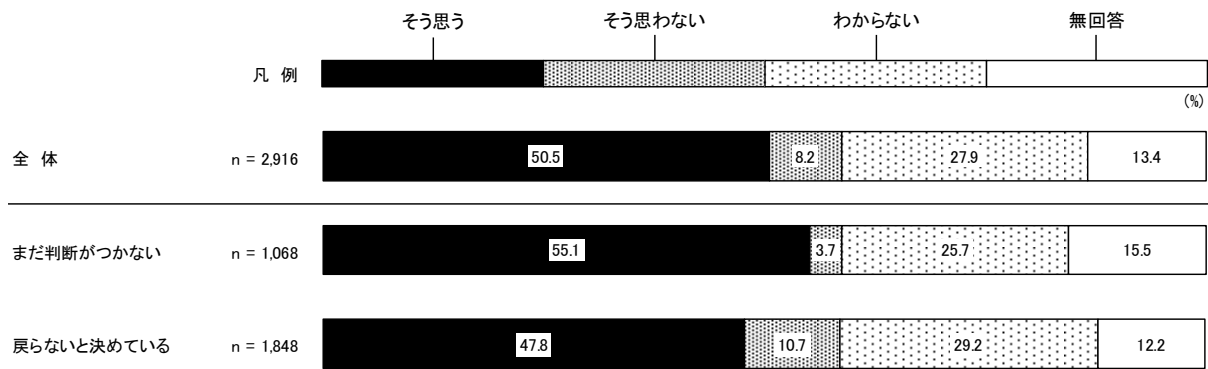


世帯構成別にみると、「そう思う」は65歳以上の世帯（56.8%）で高い。  
 帰還意向別にみると、「そう思う」は概ね全体と同様の傾向にある。

<図表3-3-15-2 富岡町との“つながり”を保ちたいか（世帯構成別）>



<図表3-3-15-3 富岡町との“つながり”を保ちたいか（帰還意向別）>





### 3-4 意見・要望

問 10 国や自治体への要望、復興に対するあなたの展望やお気持ちなどをご自由にお書きください。

国や自治体への要望、復興に対する展望や気持ちなどについて、2,349 世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難生活の長期化への不安</li> <li>・元の生活が取り戻せるかどうかの不安</li> <li>・元の生活、安定した生活の回復</li> <li>・元の生活に戻ることにあきらめ</li> <li>・現在の生活について</li> <li>・現在の生活の人間関係・コミュニティについて</li> <li>・現在の生活の経済的な不安について</li> <li>・現在の生活の健康に関する不安について</li> <li>・現在の生活の仕事・学業に関する不安について</li> <li>・現在の生活全般の不安について</li> <li>・将来の生活に関する考えについて</li> <li>・将来の生活の経済的な不安について</li> <li>・将来の生活の健康に関する不安について</li> <li>・将来の生活の仕事・学業に関する不安について</li> <li>・将来の生活全般の不安について</li> <li>・生活（再建）支援について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除染作業の意義について</li> <li>・除染作業にかかる費用の他への活用について</li> <li>・除染作業の効果などについて</li> <li>・除染作業の実施箇所などについて</li> <li>・除染作業の早期・迅速・的確な実施について</li> <li>・除染作業スケジュールの明確化について</li> <li>・除染廃棄物の処理について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●震災発生前の居住地について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰還困難区域への立入りについて</li> <li>・帰還困難区域等の設定について</li> <li>・所有する住まい・土地の買取りについて</li> <li>・自宅の現状（被害状況）について</li> <li>・自宅の再建・改築・解体について</li> <li>・元の住居や土地などの管理・処分について</li> <li>・元の住居や土地に対する税について</li> <li>・所有する墓地の維持・管理・移転について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復旧・復興の遅れ、長期化について</li> <li>・復旧・復興のスケジュールについて</li> <li>・復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について</li> <li>・町村合併について</li> <li>・ライフライン・インフラの整備について</li> <li>・社会福祉施設の整備について</li> <li>・医療施設の復興・充実について</li> <li>・学校の復興・充実について</li> <li>・商業の復興・充実について</li> <li>・住民の参加・自助努力について</li> <li>・早期の原状回復・復興実現について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賠償内容・方法について</li> <li>・賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について</li> <li>・所有する住まい・土地に対する賠償全般について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●原発の安全性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃炉作業の迅速な実施について</li> <li>・廃炉作業全般について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰還への不安</li> <li>・帰還可能時期の明確化について</li> <li>・帰還したい</li> <li>・帰還しない</li> <li>・現時点では帰還の判断ができない</li> <li>・帰還に関する施策について</li> <li>・帰還を望まない人への対応について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●原発事故に対する対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や東電の対応について</li> <li>・対応の長期化、遅れについて</li> <li>・情報の開示・発信について</li> <li>・中長期的スケジュールについて</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●避難期間中及び将来の住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復興公営住宅の早期・迅速な建設について</li> <li>・復興公営住宅の建設地・形態等について</li> <li>・復興公営住宅に係る経済的負担について</li> <li>・復興公営住宅への入居が可能かどうかの不安</li> <li>・復興公営住宅への入居について</li> <li>・居住場所の確保について</li> <li>・借上げ住宅について</li> <li>・住宅の購入について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のエネルギー政策について</li> <li>・行政に対する謝意、励まし</li> <li>・その他</li> </ul>

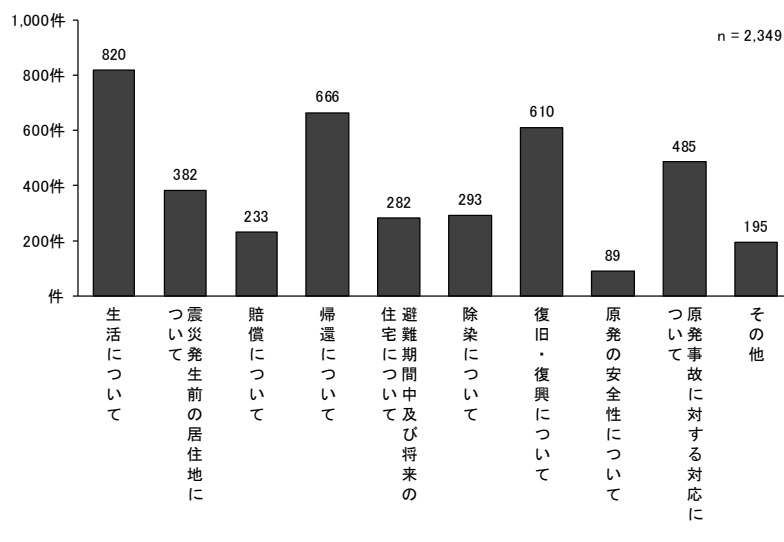
※掲載する文章は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

まず、10の大項目についての、分類結果は下図のとおりとなった。

「生活について」が820件と最も多く、次いで「帰還について」が666件、「復旧・復興について」が610件などとなっている。

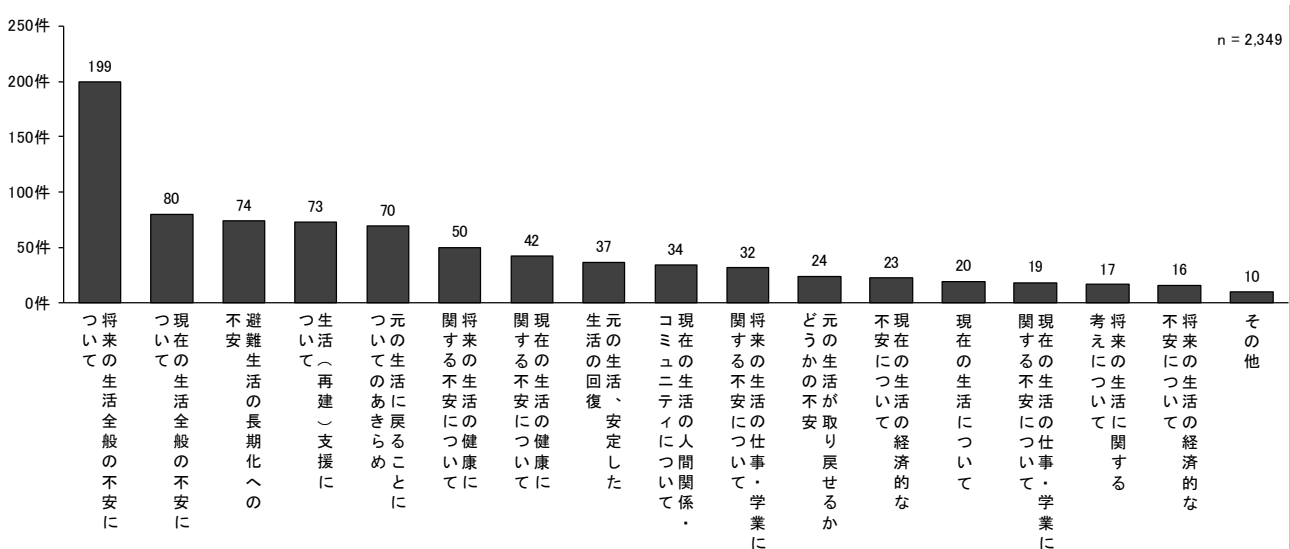
<図表3-4-1 意見に係る記入内容の分類結果>



(1) 生活について

生活についての具体的な意見としては、「将来の生活全般の不安について」が199件と最も多く、次いで「現在の生活全般の不安について」が80件、「避難生活の長期化への不安」が74件などとなっている。

<図表3-4-2 生活についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

**[将来の生活全般の不安について]**

- 戻りたい気持ちは非常に強いですが、実際戻ったとして、その後の生活が想像できない。(30代)
- 子育て世代の意見が反映されていない。子供は避難先の学校になじんでおり転校はなるべく避けたい。学区の問題でどこの復興住宅でもよい訳ではない。思えば避難してからというもの望まない選択の連続で疲れ果てた。家族の事情に添った選択ができるようにしてほしい。(40代)
- まだ町の将来像が自分の中にえがくことができない。年令的にも夫婦で高齢者と呼ばれる中に入ってしまったので帰還が進む中で状況を見てどうするか決めたい。今でもつながりが町報といっただけなので帰還してもコミュニティの中に入っていけるかも不安なのでむずかしい。(70代以上)

**[現在の生活全般の不安について]**

- 避難者であるという事実はずっと付きまとい、出身地を聞かれると戸迷いながらも嘘はつけず事実を伝えるのですが、その後が気まずくなってしまう。ずっと後めたい気持ちを持ったまま生活していかなくちゃいけないのでしょうか？不安は、つきませんが毎日元気に過ごそうと思ながら生活しています。(30代)
- 二重生活になってしまい、大変苦しいです。働いても、働いても毎月赤字、避難先での生活基盤が出来ている以上、新たな生活は、金銭面に大変です。原発への不安がある中、富岡町には戻れないと思います。(40代)
- 帰れるものなら我が古里、富岡に帰りたいです。慣れない土地で暮らす事は本当につらく苦しい毎日です。1日だって晴れた日はございません 親せき、友人、知人皆離ればなれになってしまい、本当に淋しい悲しい限りです。もう一度、富岡で皆と一緒に暮らしたいですね。(70代以上)

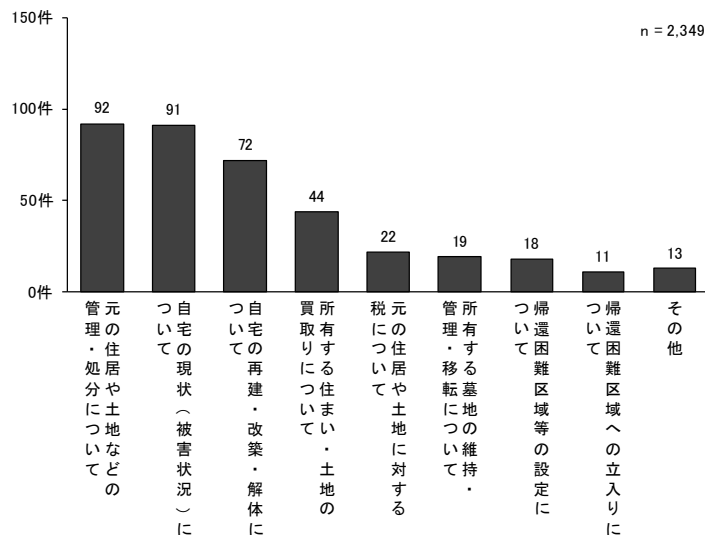
#### 〔避難生活の長期化への不安〕

- 事故後長期間の避難が続いている。さらに長期間（数年）続くと考えると、町へ帰る意志が薄れていくと考えます。又、事故時点から何ら変わりなく、復興の姿が見えてきません。復興に際し、町村合併等の考えもあるはず（そちらの方が現実的）ですが、各町村がそれぞれ独自に動いているように見えます。（40代）
- 長く続く避難生活がストレスになっている。見通しがたたない現在、富岡町に、自分の家に帰りたい気持ちが強くなっている。震災前の富岡町が好きだった。変りはた町、自分の家を見つとつらく、さびしいと思う。（50代）
- 帰還困難区域に住まいがあります。4年過ぎても何も変わりません。年をとるのを数えているだけです。数年後は70才を過ぎ何も希望が持てなくなります。長く生活した町なので帰りたい気持ちもありますが、帰っても1人では生活できません。（60代）

(2) 震災発生前の居住地について

震災発生前の居住地についての具体的な意見としては、「元の住居や土地などの管理・処分について」が92件と最も多く、次いで「自宅の現状（被害状況）について」が91件、「自宅の再建・改築・解体について」が72件などとなっている。

＜図表3-4-3 震災発生前の居住地についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

**【元の住居や土地などの管理・処分について】**

- 残して来た家財等の処分について、どうすれば良いかわからない。(30代)
- 一部損壊程度の建物の扱いについて、町はどのように考えているか示してほしい。これら建物を残したまま、新たな土地で生活再建を図っている人は少なからずいる。具体的な有効活用方法も含めて早く示す必要があるのではないか。(50代)
- すでに、いわき市に住居を構えているので、富岡町にある一戸建の持家をどうしたらいいかわからない。国や自治体でサポートして欲しい。解除された時に、固定資産税を取られても困るし、解体するのにお金がかかっても困る。国と東電で対応してもらいたい。(60代)

**【自宅の現状（被害状況）について】**

- 震災後、一度だけアパートに帰ったのですが、家の前には牛のフンなどがたくさんあり、カギも閉まらず、また、警察から下着が盗まれたと連絡があったりで、それ以来、行く気が起きずに帰れていません。アパートの片づけ等はやって頂けるのでしょうか？できれば、もう行きたくありません。(10~20代)
- 富岡の持家は、どの様になってしまうのか、不安です。帰還困難区域の地域の為、(除染等)何もされていない。家がダメになって行く姿は見るのはつらい。(40代)
- 8月初旬に居住困難区域の自宅に行きました。草木で周りが荒れ果てている現実を見ると復興に対する展望がまったく見えてこない。(50代)

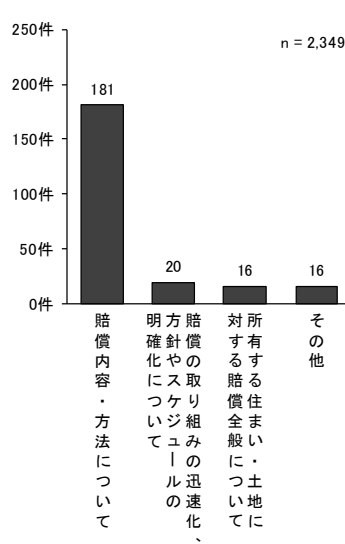
#### [自宅の再建・改築・解体について]

- 大人は帰還しないと決めていても、子供と老人は帰還しようとしている。この4年で家が住めない状態になってしまっている。いずれ戻ろうと考えてもいるが、建物（家）を再建できる資金を補っていただきたい。（40代）
- 元の住居に住むには無理です。建替も考えますが、リフォーム業者が足りないとの声もあります。住める様になればと思います。大変とは思いますが帰りたいと思っている住民です。（50代）
- 移住をする予定で、自宅は取り壊しを決めたが、残される宅地、田畑山林は、高齢となり後継者もおらず、維持管理が出来ない。老い先短く、故郷は遠く、町との連携も難しい状況にあります。（70代以上）

(3) 賠償について

賠償についての具体的な意見としては、「賠償内容・方法について」が181件と最も多く、次いで「賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について」が20件、「所有する住まい・土地に対する賠償全般について」が16件などとなっている。

<図表3-4-4 賠償についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

**【賠償内容・方法について】**

- 精神的苦痛に対する賠償金の延長。何年経っても、精神的に戻るわけない。事故の責任として、対象者すべてに賠償金を払い続けるべき。(10~20代)
- 賠償金の格差をなくしてほしい。現時点での賠償は、とても格差がありすぎだと思います。たかが、2・300mの距離の違いで一方では賠償無し、一方では700万円の賠償。今、帰れないのは同じ。これから帰れるとしても、いつになる事やら。何だか、おかしくないですか？(40代)
- 不動産に対する補償については十分だと思うが、賃貸住宅に居住していた者に対する配慮が不足しているので、もっと強く改善を要求して欲しい。(60代)

**【賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について】**

- 富岡で生活はもう無理。賠償請求を速やかに。追加の賠償金が早くほしい。(40代)
- 以前、町民全員に同じ賠償と言っていたのに、現在、その話は聞かなくなったのはなぜですか。地域によって差が大きく納得できない。(50代)
- 帰還困難区域なので、営業賠償が28年度以後も続くのかどうか不安である(賠償で生活をしていかなくてもならない)。国は責任をもって帰還出来るまで賠償を継続するように決定してほしい。賠償に課税はやめてほしい。(60代)

#### [所有する住まい・土地に対する賠償全般について]

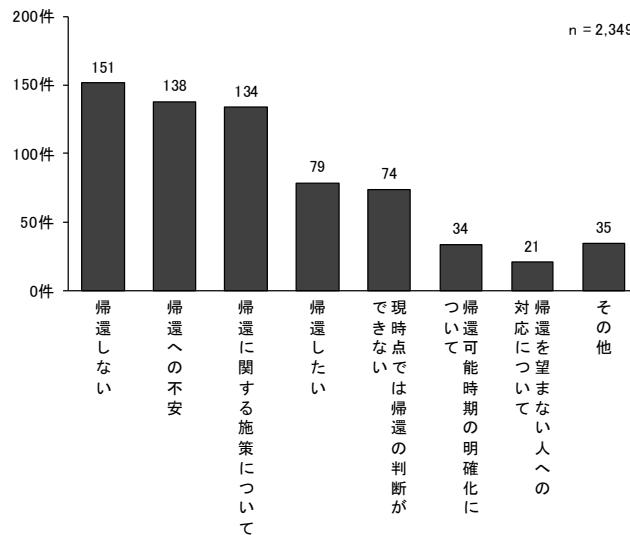
- 帰町宣言後、別の地域に住んでも、デメリットがないような対策を考えて欲しい。例えば、帰らないと宣言した人には、富岡町に残した家、土地の固定資産税等を免除する。家、土地を、国か県か町に買い取ってもらう。税を賠償してもらう、等を考えて欲しい。(40代)
- 東電賠償における住居確保について、個人所有の住宅と、法人所有の店舗兼住宅についてその価値に大きな差があり、法人所有の住宅に関しては、同程度の住居が確保不可能です。住居の確保(事故以前の暮らし)を前提の賠償であれば、同じ価値を賠償してもらいたい。(50代)
- 家の汚損、劣化が著しく修復には多額の費用が必要となる。仮に解体するとしても住めない家に金をかける気にはなれない。解体費用についても全額保証して欲しい。(60代)



(4) 帰還について

帰還についての具体的な意見としては、「帰還しない」が151件と最も多く、次いで「帰還への不安」が138件、「帰還に関する施策について」が134件などとなっている。

<図表3-4-5 帰還についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[帰還しない]

- 戻るつもりはないけれど、私にとって生まれ育った町なので、いつか自分の子供にも見せてあげられるような姿になっていて欲しいと思います。(10~20代)
- 避難区域解除を急ぐあまり、住民の考えを無視してほしくない。原発が廃炉になっても、現時点では、まだ危険な状況にあると思う。元の富岡町のように、生活するにも不自由がなく、安全で安心な町になるまでは、帰りたいとは思わない。(30代)
- 除染は終わったとしても、元の自分の家に住むことはないと思います。周りを見ても帰って来る人が見当たりません。二人の息子の故郷を失ったことは本当に悲しいです。(60代)

[帰還への不安]

- 富岡町が本当に安全かどうか分からないのに除染等が進んでいて、帰らせようと思っているとしか考えられない。急ぎすぎな気がする。(30代)
- 町では、いずれ(2年後)帰還すると考えているようですが、本当に帰還できるのでしょうか。それで本当に安全は確保できるのですか。中途半端な状況で 安易に帰還するとか言わないでほしい。(40代)
- 原子力発電所の事故が終息しておらず、いつまた、事故がおこるかわからない状態。高い放射線量が原発でみられているなかで、何故、富岡町に戻れますでしょうか?不安で住むことなどできません。富岡町で妊娠、出産、子育ては、絶対にできません。(50代)

### Ⅲ 調査結果

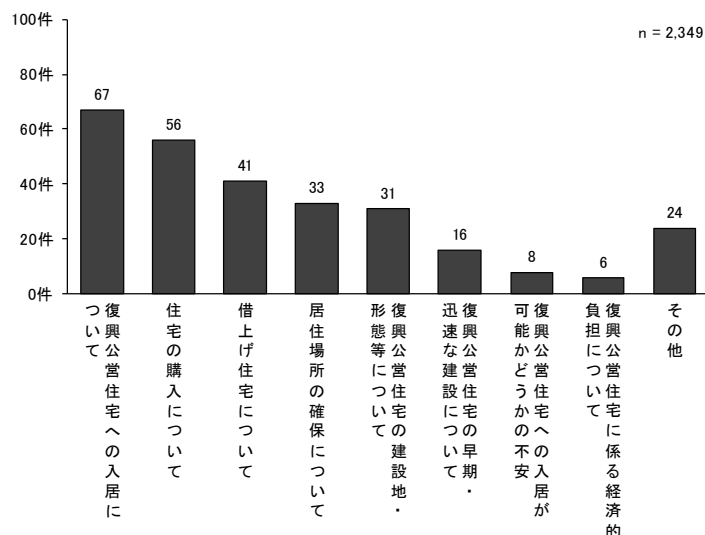
#### [帰還に関する施策について]

- 放射線の不安がすごくある。完全に元の環境、状況になるまで、絶対に帰還宣言はしないでほしい。(30代)
- 原子力発電所の安全性が、確実でないにもかかわらず、帰還の時期を決めてしまうのは、納得がいきません。除染も、とりあえず終わらせてしまいたいという気がします。帰還のために、除染の成果だけを求めているような感じです。(50代)
- 何よりも重要なことは、高齢者の帰還要望ではなく、若者や子供の要望に重点をおくべきだと思う。現時点でも、若者とその子供達の帰還を要望しているのはほんのわずかに過ぎない。これから益々避難先に住みなれ、利便性を考慮すると、より、帰還を望む人は減ると思う。(70代以上)

(5) 避難期間中及び将来の住宅について

避難期間中及び将来の住宅についての具体的な意見としては、「復興公営住宅への入居について」が67件と最も多く、次いで「住宅の購入について」が56件、「借上げ住宅について」が41件などとなっている。

<図表3-4-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

**【復興公営住宅への入居について】**

- 今いる南相馬市には、双葉郡避難者対象の復興住宅について、まだ募集もない。子供たちの進学、進路の関係で、他に移ることもできない為、早くなんとかしてほしい。(40代)
- 復興住宅へ入りたいのですが希望の所に入れなくています。いわき市の復興住宅へ入れるのか不安でいます。(60代)
- 高齢なので仮設から1日も早く出て、一戸建の公営住宅への入居をお願いしたいのです。1人と1匹とくらしています。そのため1戸建をお願いしたいのです。(70代以上)

**【住宅の購入について】**

- 持ち家を希望していますが、土地の値段が高騰しており購入できません。震災前の3倍以上になる土地もあり、妥協を重ねないと手が届かない状況です。需要と供給の関係で価格が変化する事は分かりますが、地元の住民、避難で土地を捜している方、供に人生設計が進まない原因の1つだと思います。この復興を妨げる課題に対して、国や自治体が早急に支援する等の対応をして欲しいと思います。(30代)
- すべてにおいて、遅いと思います。最近まで仮設住宅に住んでいましたが、もう、限界でした。今は、家族と一緒に暮らしているので、自宅を再建して良かったと思います。これからは、いわき市で暮らして行きたいと思います。(40代)
- 生きている間に震災前の生活と同じ様にできないと判断し、いわき市に新居をもったが、帰れない富岡の家といわき市民にもなれない今に心が暗い毎日です。(50代)

### Ⅲ 調査結果

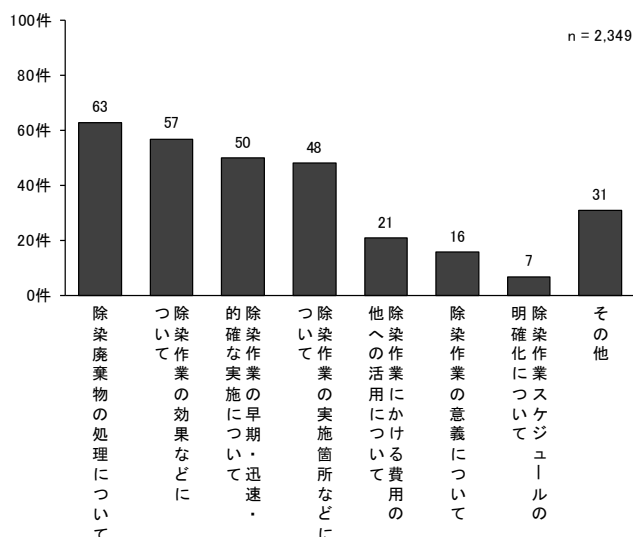
#### 【借上げ住宅について】

- 応急仮設住宅（借りあげ）に住まわせていただき、家計としては大変助かっているのですが、将来のことを考えると、富岡町に戻る戻らないは別として、いつそれが無くなるのか、計画等を教えていただくと、もっと現実的問題として将来のことを考えられると思います。（30代）
- 福島県外の借り上げ住宅の変更を認めてほしい。神奈川県では、被災当初の所から、どんな事情があっても変更はみとめられないので、通学や仕事の利便性を考慮してほしいです。（40代）
- これから先、借り上げ住宅補償がなくなった場合、収入が無く、どうして家賃を支払うのか不安です。（60代）

(6) 除染について

除染についての具体的な意見としては、「除染廃棄物の処理について」が63件と最も多く、次いで「除染作業の効果などについて」が57件、「除染作業の早期・迅速・的確な実施について」が50件などとなっている。

<図表3-4-7 除染についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【除染廃棄物の処理について】

- いっその事、「戻れません」とはっきり言ってしまっって、汚染された物を富岡町内に集めてキレイに出来るのなら、そういった設備を作った方がよほど町民のためにも、国のためにもなると思う。(10~20代)
- 若者が戻らず、将来的に町として機能をもつことが困難な見通しであれば災害廃棄物処理にあたり、しばらくは有効的に活用していく方が国全体として見た際に妥当な結論なのではないでしょうか。(30代)
- 福島第一原発の廃炉を加速させるため、富岡町も研究施設を作る等、国で買い上げ、国の管理化とすべき。大熊、富岡、双葉を一体化させ中間貯蔵施設等も早く作る事が復興を加速させる事につながると思う。(60代)

【除染作業の効果などについて】

- いくら除染したからと言われても不安。数km先には、同じ富岡でも帰還困難区域で高線量の場所がある。外で自由に遊ぶ事もできない。何をしても不安な場所にはいくら故郷でも帰る事はできない。(10~20代)
- 現在、町の除染を実施していますが、除染というより清掃です。放射能を取り除くことは、困難であり、草・木がのびてくれば、また放射線量は上昇してきます。水もダムのある底にある汚泥も、雨や台風などにより濁れば放射能を含んだ泥が上水として流れてしまいます。第一原発の廃炉が完全に収束しないかぎり町への帰還はむずかしいと思います。(50代)
- 復興が進んでいない中、帰還するのは無理だと思います。除染しても効果が表れず原発の作業も進んでおらず心配や不安だけが募るだけです。住む為に安心、安全は何時得られるのでしょうか。(70代以上)

### Ⅲ 調査結果

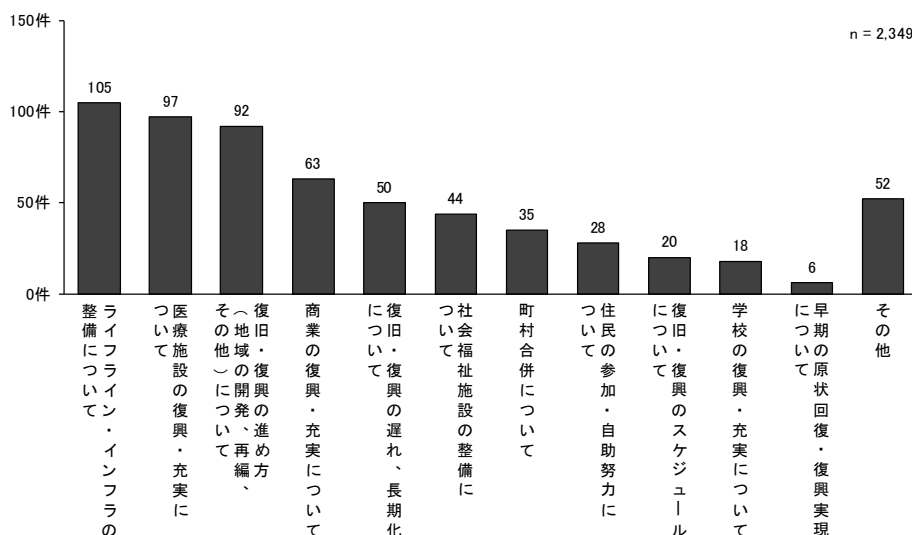
#### [除染作業の早期・迅速・的確な実施について]

- 除染を早く進めて欲しい。帰還できる環境を整えていただいて早い時期に避難指示を解除していただき、自宅に戻りたい。(30代)
- 確実な染量低下(除染)を切に願います。もっと地域毎に時間をかけ、見直し、何度も隅々まで調査、測定を繰り返した後にインフラ等の回復を含め、住める状況になればいろいろ考えたいと思います。私は帰宅困難区域ですが、もし解除されたとしても恐ろしくてとても戻る気にはなりません!(40代)
- 除染を進めて、帰還できる住民は帰った方が良い。富岡町は規模が小さくなくても再生復興できると思う。放射能は心配ない。(60代)

(7) 復旧・復興について

復旧・復興についての具体的な意見としては、「ライフライン・インフラの整備について」が105件と最も多く、次いで「医療施設の復興・充実について」が97件、「復旧・復興の進め方（地域の開発、再建、その他）」について」が92件などとなっている。

<図表3-4-8 復旧・復興についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

**【ライフライン・インフラの整備について】**

- まずは電気、ガス、水道等。インフラ整備をし、その後、医療介護体制の充実。その上で商業施設（小売、飲食）出店への支援（特区の整備等）を行い、県内で一番便利な地域を目指す位でないとは戻らないと思います。（40代）
- 平成 29 年位に解除になるようなことが言われていますがはたしてどの位の人が帰還するのかわからないし、インフラの整備がととのわないうちは帰れそうにありません。子供はまだ中学生だし義父母は90才をこえているし帰っても介護設備がないとこまります。（50代）
- 放射線量が低減さえすれば帰町出来るものではない。医療、介護機関、商店街の整備、公共交通機関の復旧整備等、いわゆるインフラとライフラインの復旧整備等々原発事故前の何不自由のない生活の出来ることが絶対条件と考える。（70代以上）

**【医療施設の復興・充実について】**

- 医療、福祉がしっかりしていること。教育がしっかりしていること。安心して生活がおくれるようにしてほしい。（10～20代）
- 帰還困難区域以外の場所は、除染が進めば、生活可能だと考えています。同時に商業施設、医療施設の再開等を進めていってほしいと思います。国が先頭に立って、1日も早い帰還を実現できるようがんばって下さい。（40代）
- 富岡町に医療福祉その他が出来れば戻りたいと思っています。富岡町に一戸建の復興住宅が出来れば戻りたいと思っています。（70代以上）

#### [復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について]

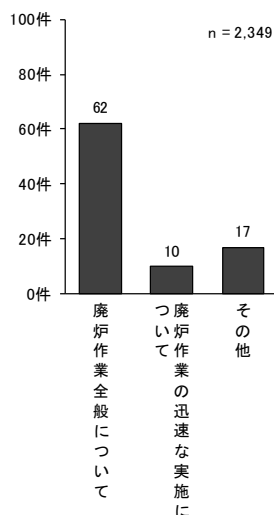
- 国・県・町が同じ方向に向かって進むこと。町民もその方向に向かって、一緒ががんばっていくことが大事だと思います。町民が一緒ががんばっていけるような施策や、目に見える形での復興など、町民の心にひびくような体制づくりと対応が必要だと感じています。(30代)
- 双葉郡の各町村が単独で復興に進んでいるように思える。10～30年後を見据え、双葉郡、浜通りが一つになって復興を進めなければ、税金が無駄になってしまう気がする。最近では、国から見放されている気がする。現実的に、本当に住民が安全に戻れるようになるのか、町として機能するのか、全く判らない。(40代)
- 住民感情としては、少しでも人の気配があり、少々のにぎわいがあれば、気持ちも変わり、帰る気になるのでは。町民全員の気持ちを満足させる帰還に向けた制度施策はあり得ない訳です。50点位を当面目標に進めてもらいたい。(60代)



(8) 原発の安全性について

原発の安全性についての具体的な意見としては、「廃炉作業全般について」が62件と最も多く、次いで「廃炉作業の迅速な実施について」が10件などとなっている。

<図表3-4-9 原発の安全性についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【廃炉作業全般について】

- 放射能の個々の身体に与える影響の解明を求む。原発廃棄炉へ向けての安全性の確保を求む。(30代)
- 富岡町のあった場所、双葉郡はすべて原子力の場所とし、廃棄物等の最終処分場等の施設や廃炉に関わる施設等をつくり、原発に関わるものすべて郡内にまとめてほしいです。他の汚染されていない所にわざわざ運び、汚染を広げる事はぜったいおかしいと思います。(40代)
- 廃炉作業の間、全てにおいて不安がつきまとう。町への帰還は福島第一原発の廃炉が終了してからだと思ふ。(50代)

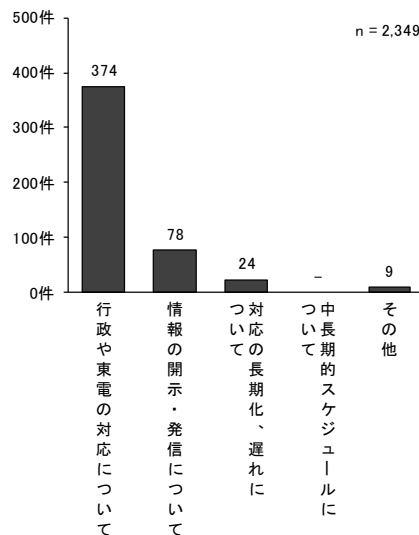
【廃炉作業の迅速な実施について】

- 場合によっては4町による町合併に踏み切り、廃炉作業最優先で新しい町作りを進めていく必要がある。当町は廃炉作業を支援する周縁部の地として、Jヴィレッジに代わる新たな拠点を設け、廃棄物の受け入れも積極的に行うべき。当町の“復興”とは、廃炉作業の最大拠点としての位置付けに他ならない。(40代)
- 東電福島第一原発の安定的な状況を早急に確保して欲しい。富岡町の除染は大丈夫か心配もある、山、川の除染も徹底的に線量が下がる迄やる必要がある。(60代)
- 人の居ない町にならない為にも、早々に第2原発の廃炉を確定させこれに伴う産業や研究機関等を誘致して、人材を町に集めて、少しでも活気が出れば、除々には人も増えてくると思う。廃炉にならなければ、帰還はない。(60代)

(9) 原発事故に対する対応について

原発事故に対する対応についての具体的な意見としては、原発事故に対する対応についての具体的な意見としては、「行政や東電の対応について」が374件と最も多く、次いで「情報の開示・発信について」が78件、「対応の長期化、遅れについて」が24件などとなっている。

＜図表3-4-10 原発事故に対する対応についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

**【行政や東電の対応について】**

- 富岡町全体での解除でなければ納得がいかない。自分達が住んでいた場所のとなりが仮置き場になっているのに、解除準備区域になっているのが分からない。まずは、今の段階での現状をはっきり見てから、物事を考えてもらいたい。(10～20代)
- 原子力政策は国の国策として進めて来たはず。東電についての追及はされているが、国の責任については十分な追及と反省がないと思う。その証拠に今だに原子力の再稼働を進めようとしている。南海トラフ地震が危惧される中、今回の反省と今後の対策について国はあまりにも対応がされていない。(50代)
- 今回の原発事故の責任は国と東電にすべてある。我々は東電を信じ原発を推進した国を信じ原発は多重防護で絶対安全だと云われそれを信じて共存共栄で私も推進した一人です。それが裏切られその怒りも大変大きいものを持っている。国と東電は避難者には責任ある賠償すべきである。(70代以上)

**【情報の開示・発信について】**

- 戻るか戻らないか、心を決めかねている人達もいると思うので、しっかり除染して、本当に安心・安全に暮らせるために最低でも何年かかるのか、もしくは、もう戻ることは厳しいのかなどを、正確に示してほしい。「戻れるかも…」という気持ちにさせているのは、正確な情報が出ていないからではないか？(30代)
- 放射線に対するリスクについてはしっかりと正しい情報発信をしてほしい。現状は過剰になりすぎていると思う。(40代)
- 困難区域については、除染、その他具体的に何も示されていない現状下で、既に4年経過し、不安をかかえた状態でただその時期を待っているのは、人生が終わってしまう。(60代)

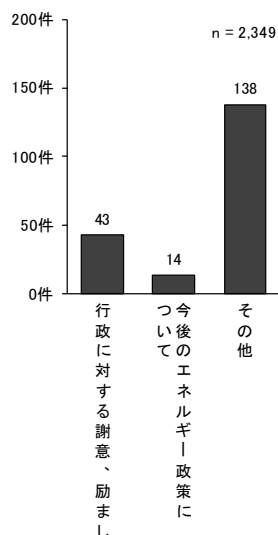
【対応の長期化、遅れについて】

- 正直、国も電力も考え方が甘いと思う。帰還して震災前に戻るのには何十年かかると思いますか？今まで無い物質が、いくら体に害が無いと言う形でも、住民側からすれば恐ろしい事です。対応が遅いので生活基盤の見通しがたちません。本当に疲れました。(30代)
- 対応がゆっくりすぎて、時間が掛りすぎて、皆さんの気持ちも、離れていっていると思います。(40代)
- 震災から4年が経過し、いわき市内で新しい持家に今年の2月に引越しました。新しい生活の基盤を建てるには、4年もの年月が必要でしたが、国及び富岡町としての対応はあまりにも遅く、全く情報が少なく今後の展開が全く見えません。(50代)

#### (10) その他

その他についての具体的な意見としては、「行政に対する謝意、励まし」が43件と最も多く、次いで「今後のエネルギー政策について」が14件などとなっている。

＜図表3-4-11 その他についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【行政に対する謝意、励まし】

- 富岡町はとても頑張っていると思う。そして、福島県も。国は一体何をしているのか？何をしてきているのか？熱意が伝わってこない。期待もしていない（できない）。避難者の気持ちを分かってもらおうとも思わない。福島県と富岡町には期待している。協力もできるだけしたい。（30代）
- あのように、とても住み易い処がこの様な状況になってしまい、とても心を痛めている。空も海も碧くて住めなくなっている…という事を本当に信じられない。あきらめる事が必要なのだ…と思う。自治体も一生懸命やって下さっている、国の方も我々の自立心の為に「解除」の方向を考えておられる。ありがとうございます。（50代）
- 今は長男と二人で暮して居ます何とか健康を保って居ます。医療費も免除され費用も無料でとても助かって居ます。自治体の方々も一生懸命にやってくれてると思います。皆様に感謝して居ます。有難うございます。（70代以上）

#### 【今後のエネルギー政策について】

- 原発に代わる代替エネルギーの促進をお願いしたいです。原発事故がもう起こることのないように。（30代）
- 原発は安全ではないことがはっきりしました。国内全ての原発を廃止してください。クリーンエネルギーの割合を無理矢理、増やしましょう。（40代）
- 原発は、一度事故が起きれば多くの方が被害を被ることは今回のことで明白である。故に原発はすべて廃炉にすべきである。双葉郡内には利用しなくなった土地が今後増えるものと思われる。県や町はそういう土地を太陽光発電に利用し、自分達で使う電力は再生可能エネルギーだけにすると良いと思う。（60代）

[その他]

- きっと、いろいろな思いがあると思いますが、みんな長年住んでいたふるさと（双葉郡）が大好きだと思います。（30代）
- インターネット及び電話にてアンケートが出来ませんか？言葉で書くのは大変だし細かな事がつたわらない。（50代）
- 富岡町民のみなさんが、早く町へ帰れることを願っています。夜の森の桜はきれいですね。（60代）



## IV 參考資料





# 富岡町住民意向調査

この調査は、以下の項目について調べるために行います。ご協力をお願いします。

- 避難先の復興公営住宅の必要戸数
- 町内の災害公営住宅の必要戸数
- 避難先等での今後の生活について
- 避難指示解除後の町での就労・生活について

## 記入上の注意

### ● 調査をお願いする方

震災発生時、富岡町に住民登録をしていた世帯（避難後の転出者を含む）が対象です。ご回答は、**世帯の代表者の方**にお願いいたします。

現在、世帯が何ヶ所かに分かれて避難されている場合には、**それぞれの場所に調査票を送付しておりますので、本調査票の送付されたお住まいの代表者の方**に、ご回答をお願いいたします。

### ● ご回答方法

ご回答は、あてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。

「その他」に○をされた場合は、( ) 内に具体的な内容もご記入ください。

□ の中に具体的な内容の記入をお願いしている間には、具体的な内容（地名、数など）をご記入ください。

- ・調査票は記名式でお願いしております。最終ページに「氏名」、「住所」、「連絡先」の欄がありますが、強制ではありませんので、差し支えが無ければご記入をお願いします。

### ➤ 個人情報について

- ・調査票に記載いただいた個人情報は、富岡町、福島県及び復興庁において適切に管理するとともに、各種施策の検討目的以外には使用いたしません。
- ・また、回答はすべて統計的な処理を行い、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

### ● ご提出方法

ご記入済みの調査票は、**8月17日（月）まで**に、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。

## 【お問い合わせ先】

復興庁「住民意向調査」  
問い合わせセンター

調査の趣旨、記入方法について

フリーダイヤル 0120-901-840

[設置期間：8月4日（火）～8月17日（月）10時～17時]

土・日・祝を除く



はじめに、ご記入いただくあなたご自身のことについて教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

**問 1** あなたの現在の年齢(○は1つ)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. ~19歳   | 8. 50~54歳  |
| 2. 20~24歳 | 9. 55~59歳  |
| 3. 25~29歳 | 10. 60~64歳 |
| 4. 30~34歳 | 11. 65~69歳 |
| 5. 35~39歳 | 12. 70~74歳 |
| 6. 40~44歳 | 13. 75~79歳 |
| 7. 45~49歳 | 14. 80歳以上  |

【すべての方にうかがいます。】

**問 2** 現在のあなたの職業を教えてください。

仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

(1) 職業(就業形態) (○は1つ)

- |                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 自営業・会社経営者(継続中もしくは再開済)  | 7. パート・アルバイト         |
| 2. 自営業・会社経営者(休業中)         | 8. 学生 ⇒問3へ           |
| 3. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 9. 無職(職を探していない) ⇒問3へ |
| 4. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 10. 無職(職を探している) ⇒問3へ |
| 5. 団体職員                   | 11. その他 [具体的に        |
| 6. 公務員                    | ]                    |

【仕事に就いている方(問2(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方)にうかがいます。】

(2) 業種 (○は1つ)

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| 1. 農・林・漁・畜産業      | 7. 金融・保険業     |
| 2. 建設業            | 8. 医療・福祉      |
| 3. 製造業            | 9. 教育         |
| 4. 電気・ガス・水道業      | 10. 公務        |
| 5. 運輸業            | 11. その他 [具体的に |
| 6. 卸・小売り・飲食、サービス業 | ]             |

東日本大震災発生時および震災前の、あなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

**問 3** 震災発生当時にお住まいだった場所について教えてください。

(1) 現在どの避難指示区域に当たるかを教えてください。(○は1つ)

1. 避難指示解除準備区域
2. 居住制限区域
3. 帰還困難区域

(2) 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(○は1つ)

- |           |         |         |                       |
|-----------|---------|---------|-----------------------|
| 1. 杉内     | 9. 赤木   | 17. 下郡山 | 25. 小良ヶ浜              |
| 2. 仲町     | 10. 上本町 | 18. 毛萱  | 26. 栄町                |
| 3. 高津戸    | 11. 王塚  | 19. 仏浜  | 27. 新夜ノ森              |
| 4. 下千里    | 12. 本町  | 20. 駅前  | 28. 不明                |
| 5. 大菅     | 13. 岩井戸 | 21. 西原  | (わからない場合は住所を記載してください) |
| 6. 夜の森駅前北 | 14. 清水  | 22. 中央  | [ ]                   |
| 7. 夜の森駅前南 | 15. 上郡  | 23. 小浜  |                       |
| 8. 新町     | 16. 太田  | 24. 深谷  |                       |

【すべての方にうかがいます。】

**問 4** 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建)         | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 持ち家(集合住宅)        | 8. 親戚・知人宅          |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建)      | 9. その他 [ 具体的に ]    |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅)     | [ ]                |
| 5. 公営住宅             |                    |
| 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) |                    |

<b>避難状況について教えてください。</b>
-------------------------

【すべての方にうかがいます。】

**問 5** あなたが現在避難されている自治体を教えてください。(○は1つ)

<p>【 浜 通 り 】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. いわき市</li> <li>2. 相馬市</li> <li>3. 南相馬市</li> <li>4. 広野町</li> <li>5. 檜葉町</li> <li>6. 川内村</li> <li>7. 新地町</li> </ol>	<p>【 中 通 り 】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>8. 福島市</li> <li>9. 郡山市</li> <li>10. 白河市</li> <li>11. 須賀川市</li> <li>12. 二本松市</li> <li>13. 田村市</li> <li>14. 伊達市</li> <li>15. 本宮市</li> <li>16. 桑折町</li> <li>17. 川俣町</li> <li>18. 大玉村</li> <li>19. 西郷村</li> <li>20. 三春町</li> </ol>	<p>【 会 津 】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>21. 会津若松市</li> <li>22. 喜多方市</li> <li>23. 会津美里町</li> </ol> <p>【 福島県内のその他の市町村(1から23以外) 】</p> <p>24. 福島県内のその他の市町村 →具体的にご記入ください</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> (市・町・村) <p>【 福島県外 】</p> <p>25. 福島県外 →具体的にご記入ください</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> (都・道・府・県) <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> (市・町・村)
---	--	---

【すべての方にうかがいます。】

**問 6** 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。

(1) 「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。

**あなた自身を含めて、現在の年齢等にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)**

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 15歳以上 18歳未満 (中学生を除く)	人
イ) 小学生	人	オ) 18歳以上 65歳未満	人
ウ) 中学生	人	カ) 65歳以上	人

(2) 「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。

**あなた自身を含めて、現在の年齢等にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)**

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 15歳以上 18歳未満 (中学生を除く)	人
イ) 小学生	人	オ) 18歳以上 65歳未満	人
ウ) 中学生	人	カ) 65歳以上	人

#### IV 参考資料

【すべての方にうかがいます。】

**問 7** 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(○は1つ)

- |                                 |                     |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. 応急仮設住宅(プレハブ型。無償)             | 6. 家族のどなたかのお住まい・実家  |
| 2. 応急仮設住宅(民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償) | 7. 親戚・知人宅           |
| 3. 公営住宅(2.は除く。有償)               | 8. 持ち家(ご本人またはご家族所有) |
| 4. 民間賃貸住宅(有償)                   | 9. その他 (具体的に )      |
| 5. 給与住宅(社宅など)                   |                     |

## 復興公営住宅など今後の避難期間中の居留意向についてお聞かせください。

(※今後、富岡町が町内に整備する災害公営住宅の居留意向については、問9以降で改めて伺います。)

【すべての方にうかがいます。】

**問 8** 現在、福島県は別紙に記載の通り、復興公営住宅の整備を進めています。あなたの世帯は、復興公営住宅への入居を希望しますか。(○は1つ)

※この質問で、入居申し込みや入居の確約を行うものではありません。

1. 既に当選または入居が決定している(入居している) ⇒問 8-1 へ
2. 入居の申し込み中であるが、まだ当選していない ⇒問 8-1 へ
3. 今後、入居申し込みしたい ⇒問 8-1 へ
4. 現時点では判断できない ⇒問 8-3 へ
5. 入居を希望しない ⇒問 8-4 へ

【問8で「1」、「2」、「3」と回答した方(復興公営住宅へ既に当選または入居が決定している(入居している)方、入居の申し込み中である方、今後、入居申し込みしたい方)にうかがいます。】

**問 8-1** 入居が決定している(入居している)、入居を希望する、または申し込みを行っている復興公営住宅の地域(自治体名)、入居する際の家族構成についてお聞かせください。

(1)自治体名を教えてください。

	復興公営住宅(生活拠点)を整備済みまたは整備中の市町村										市町村 その他の
	福島市	会津若松市	郡山市	いわき市	白河市	二本松市	南相馬市	大玉村	三春町	広野町	
<1世帯目> (○は1つ)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11 ( )
<2世帯目> (○は1つ)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11 ( )

※1 家族が多い等の理由により、復興公営住宅を2戸借りられる方(希望も含む)は、<2世帯目>の列にもお答えください。

※2 「11」を選択した場合は、( )内に具体的にご希望の市町村名を記入してください。

(2)入居する際の家族構成をご記入ください。(人数で回答)

※分散してお住まいのご家族についてはご記入いただかなくて結構です。

	ア) 未就学児 (小学校入学前)	イ) 小学生	ウ) 中学生	エ) 15歳以上 18歳未満 (中学生を除く)	オ) 18歳以上 65歳未満	カ) 65歳以上
<1世帯目>	人	人	人	人	人	人
<2世帯目>	人	人	人	人	人	人

#### IV 参考資料

【問8で「1」、「2」、「3」と回答した方（復興公営住宅へ既に当選または入居が決定している（入居している）方、入居の申し込み中である方、今後、入居申し込みしたい方）にうかがいます。】

**問 8-2** 復興公営住宅に入居する場合に、サービスとして必要だと思うものは何ですか。（○は3つまで）

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| 1. 避難住民同士の交流会等の開催 | 4. 子どもの学習支援  |
| 2. 地元住民との交流会等の開催  | 5. 健康相談員の設置  |
| 3. 高齢者向けの見守り(巡回等) | 6. その他〔具体的に〕 |

➤ **問 9 へ**

【問8で「4. 現時点では判断できない」と回答した方にうかがいます。】

**問 8-3** 復興公営住宅への入居について、現時点で判断できない理由は何ですか。（○はいくつでも）

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 1. 持ち家の購入を検討しているから                              | 6. 復興公営住宅の周辺環境がわからないから  |
| 2. 応急仮設住宅(プレハブ型・借上げ型)に住み続けたいから                  | 7. 近所にどのような人が住むかわからないから |
| 3. 集合住宅ではなく一戸建に住みたいから(希望する場所に一戸建が整備されるかわからないから) | 8. 自身の生活の見通しがたっていないから   |
| 4. 希望する復興公営住宅でペットを飼えない(飼えるかわからない)から             | 9. 賠償の状況がわからないから        |
| 5. 高齢者・要介護者のいる世帯なので、生活が不安だから                    | 10. 家賃を支払うことになるから       |
|   | 11. その他〔具体的に〕           |



【問8で「4. 現時点では判断できない」、「5. 入居を希望しない」と回答した方にうかがいます。】  
**問 8-4** 復興公営住宅以外で、居住を希望する(既に居住している場合を含む)自治体はどちらですか。その自治体を教えてください。(○は1つ)

<p>【 浜 通 り 】</p> <p>1. いわき市 2. 相馬市 3. 南相馬市 4. 広野町 5. 檜葉町 6. 川内村 7. 新地町 8. 富岡町 *1</p>	<p>【 中 通 り 】</p> <p>9. 福島市 10. 郡山市 11. 白河市 12. 須賀川市 13. 二本松市 14. 田村市 15. 伊達市 16. 本宮市 17. 桑折町 18. 川俣町 19. 大玉村 20. 西郷村 21. 三春町</p>	<p>【 会 津 】</p> <p>22. 会津若松市 23. 喜多方市 24. 会津美里町</p> <p>【 福島県内のその他の市町村(1から24以外) 】</p> <p>25. 福島県内のその他の市町村 →具体的にご記入ください</p> <p><input type="text"/> (市・町・村)</p> <p>【 福島県外 】</p> <p>26. 福島県外 →具体的にご記入ください</p> <p><input type="text"/> (都・道・府・県)</p> <p><input type="text"/> (市・町・村)</p> <p>【 その他 】</p> <p>27. 決めかねている</p>
--	--	---

\*1 富岡町については、避難指示が一部解除された場合

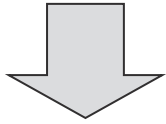
【問8で「4. 現時点では判断できない」、「5. 入居を希望しない」と回答した方にうかがいます】  
**問 8-5** 復興公営住宅以外で、希望する(既に居住している場合を含む)住宅はどのような形態ですか。(○は1つ)

<p>1. 持ち家(一戸建)</p> <p>2. 持ち家(集合住宅)</p> <p>3. 民間賃貸住宅(一戸建)</p> <p>4. 民間賃貸住宅(集合住宅)</p> <p>5. 公営住宅</p>	<p>6. 給与住宅(社宅など)</p> <p>7. 家族のどなたかのお住まい・実家</p> <p>8. 親戚・知人宅</p> <p>9. その他(具体的に )</p> <p>10. 現時点では判断できない</p>
--	---

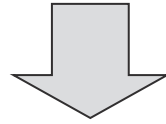
【すべての方にうかがいます。】

**問 9** 将来、富岡町の避難指示が解除された後の富岡町への帰還について、現時点でどのようにお考え

1. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む) 2. まだ判断がつか



「1」を選んだ方のみ、  
こちらへお進みください



「2」  
こち

**問 9-1-1** 富岡町へ戻る時期を教えてください。(○は1つ)

1. 解除後すぐに戻りたい
2. 解除後3年以内に戻りたい
3. 解除後5年以内に戻りたい
4. 解除後10年以内に戻りたい
5. 時期は決めていないがいずれ戻りたい

**問 9-1-2** 現時点から解除まで待てる期間を教えてください。(○は1つ)

1. 3年以内
2. 5年以内
3. 10年以内
4. その他(            年以内)
5. 何年でも待つ
6. わからない

**問 9-1-3** 戻る場合に家族の全員か一部かについて教えてください。(○は1つ)

1. 家族全員での帰還を考えている
2. 家族一部での帰還を考えている
3. 現在検討しているところ
4. 検討をしていない

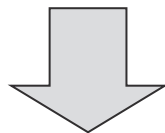
【問 9 で「2. まだ  
**問 9-2** まだ判  
(○は

【帰還の前提・健康

1. 放射線量が低下
2. 原子力発電所の
3. 水道水などの生

【町・村内の復旧状

4. 富岡町に戻っても
5. 富岡町での事業
6. 営農などができそ
7. 家が汚損・劣化し
8. 富岡町外への移
9. 道路、鉄道等の交
10. 医療環境に不安
11. 介護・福祉サービ
12. 教育環境に不安
13. 生活に必要な商



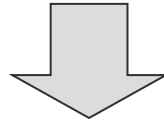
問 9-1-4 へ

ついてお聞かせください。

ですか。「1」から「3」の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。(○は1つ)

ない 3. 戻らないと決めている

を選んだ方は、  
らへお進みください



「3」を選んだ方は、  
こちらへお進みください

判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】  
断がつかない、あるいは戻らないと決めている理由はどのようなことですか。  
いくつでも)

**康に関わるもの】**

せず不安だから  
安全性に不安があるから  
活用水の安全性に不安があるから

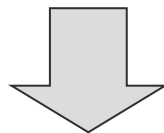
**状況に関わるもの】**

仕事がなさそうだから  
の再開が難しいから  
うにないから  
、住める状況ではないから  
動交通が不便だから  
通インフラに不安があるから  
があるから  
スに不安があるから  
があるから  
業施設などが元に戻りそうにないから

**【今後の生活に関わるもの】**

14. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
15. 他の住民も戻りそうにないから
16. 今後の津波被害を受ける可能性があるから
17. 帰還までに時間がかかるから
18. 避難先で仕事を見つけているから
19. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
20. 避難先の方が生活利便性が高いから
21. すでに生活基盤ができているから
22. その他

（具体的に



問 9 で「2. まだ判断がつかない」を選んだ方は問 9-7 へ

問 9 で「3. 戻らないと決めている」を選んだ方は問 9-8 へ

#### IV 参考資料

【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

**問9-1-4** 帰還した場合の仕事の見通しはありますか。(○は1つ)

1. ある ⇒ 問9-1-5 へ
2. ないが仕事に就きたい ⇒ 問9-1-7 へ
3. 仕事はしない ⇒ 問9-3 へ

【問9-1-4で「1」と回答した方にうかがいます】

**問9-1-5** 見通しがたっている仕事の業種は何ですか。(○は1つ)

1. 農・林・漁・畜産業
2. 建設業
3. 製造業
4. 電気・ガス・水道業
5. 運輸業
6. 卸・小売り・飲食、サービス業
7. 金融・保険業
8. 医療・福祉
9. 教育
10. 公務
11. その他(具体的に )

【問9-1-4で「1」と回答した方にうかがいます】

**問9-1-6** 見通しがたっている仕事の場所(勤務先)はどこですか。(○は1つ)

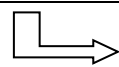
1. 富岡町
2. 富岡町外(具体的な市町村名 )

 問9-3 へ

【問9-1-4で「2」と回答した方にうかがいます】

**問9-1-7** 仕事に就く場合、どのような業種を希望しますか。(○はいくつでも)

1. 農・林・漁・畜産業
2. 建設業
3. 製造業
4. 電気・ガス・水道業
5. 運輸業
6. 卸・小売り・飲食、サービス業
7. 金融・保険業
8. 医療・福祉
9. 教育
10. 公務
11. その他(具体的に )

 問9-3 へ

【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

**問9-3** 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。（○は1つ）

- |                                   |          |
|-----------------------------------|----------|
| 1. 自宅に住みたい(建て替える場合を含む) ⇒問9-6へ     |          |
| 2. 自宅とは別の場所に新たに戸建の持ち家を建てたい ⇒問9-4へ |          |
| 3. 自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい ⇒問9-4へ   |          |
| 4. 災害公営住宅(町が今後町内に整備する住宅) ⇒問9-5へ   |          |
| 5. 民間賃貸住宅(戸建)                     | } ⇒問9-6へ |
| 6. 民間賃貸住宅(集合住宅)                   |          |
| 7. 給与住宅(社宅など)                     |          |
| 8. 家族のどなたかのお住まい・実家                |          |
| 9. 親戚・知人宅                         |          |
| 10. その他(具体的に                      |          |
| 11. 現時点では判断できない                   |          |

【問9-3で「2」、「3」と回答した方にうかがいます。】

**問9-4** 元の持ち家以外を希望される理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 自宅周辺の放射線量の高さが心配だから
2. 自宅周辺に住む人が少ないと思うから
3. 富岡町内の新たな場所で生活を開始したいから
4. 今後、津波の被害を受けることが心配だから
5. 自宅が荒廃しているから
6. その他(具体的に )

⇩ 問9-6へ

【問9-3で「4」と回答した方にうかがいます。】

**問9-5** 町が今後町内で整備する災害公営住宅では、どのような形態を希望されますか。（○は1つ）

1. 戸建て(平屋)
2. 戸建て(2階建て)
3. 長屋タイプ(共有スペースがある住宅)
4. 集合住宅(アパートタイプ)
5. その他(具体的に )

**IV 参考資料**

【問 9-3 で「4」と回答した方にうかがいます。】

**問 9-5-1** 入居する際の家族構成についてお聞かせください。(人数で回答)

ア) 未就学児 (小学校入学前)	イ) 小学生	ウ) 中学生	エ) 15歳以上 18歳未満 (中学生を除く)	オ) 18歳以上 65歳未満	カ) 65歳以上
人	人	人	人	人	人

【問 9-3 で「4」と回答した方にうかがいます。】

**問 9-5-2** 居住地域の希望はありますか。(○は1つ)

1. ある(具体的に (例:上手岡地区) 2. ない	)
----------------------------------	---

【問 9 で「1. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」と回答した方にうかがいます。】

**問 9-6** 富岡町に戻る場合に、今後の生活においてどのような支援が必要と考えますか。  
(○はいくつでも)

1. 被ばく低減対策 2. 住宅の修繕や建て替えへの支援 3. 商業施設の再開や新設 4. 医療、介護福祉施設の再開や新設 5. 教育、保育環境の整備 6. 公共交通機関の再開 7. 雇用確保・就業支援 8. 携帯電話やインターネット等通信環境の改善 9. その他(具体的に 10. 特にない	)
---	---

 **問 10 へ**

【問9で「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

**問9-7** 富岡町へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。(○はいくつでも)

1. 避難指示解除となる時期の目安に関する情報
2. 道路、鉄道、学校、病院などの社会基盤(インフラ)の復旧時期の見通し
3. どの程度の住民が戻るかの状況
4. 放射線量の低下の見通し、除染成果の状況
5. 中間貯蔵施設の情報
6. 原子力発電所の安全性に関する情報(事故収束や廃炉の状況)
7. 放射線の人体への影響に関する情報
8. 働く場の確保の見通し ⇒ 問9-7-1 へ
9. 賠償額の確定
10. 住宅確保への支援に関する情報
11. その他(具体的に )
12. 現時点で家族間の意見が分かれており、帰還意向について回答できない
13. 現時点ではどのような情報があれば判断できるかわからない

↳ 問9-7で「8」に○をつけなかった人は問9-8へ

【問9-7で「8」と回答した方にうかがいます】

**問9-7-1** どのような業種の仕事を希望しますか。(○は1つ)

1. 農・林・漁・畜産業
2. 建設業
3. 製造業
4. 電気・ガス・水道業
5. 運輸業
6. 卸・小売り・飲食、サービス業
7. 金融・保険業
8. 医療・福祉
9. 教育
10. 公務
11. その他(具体的に )

【問9-7で「8」と回答した方にうかがいます】

**問9-7-2** 仕事の場所(勤務先)はどこを希望しますか。(○は1つ)

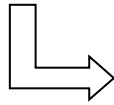
1. 富岡町
2. 富岡町外(具体的な市町村名 )

**IV 参考資料**

【問9で「2」、「3」と回答した方にうかがいます】

**問9-8** 富岡町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

- 1. そう思う
- 2. そう思わない
- 3. わからない



問9で「2. まだ判断がつかない」を選んだ方は問10へ

問9で「3. 戻らないと決めている」を選んだ方は問9-9へ

【問9で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

**問9-9** 帰還しない場合に、今後、居住を希望する(既に居住している場合を含む)自治体はどちらですか。その自治体を教えてください。(○は1つ)

【 浜 通 り 】

- 1. いわき市
- 2. 相馬市
- 3. 南相馬市
- 4. 広野町
- 5. 檜葉町
- 6. 川内村
- 7. 新地町

【 中 通 り 】

- 8. 福島市
- 9. 郡山市
- 10. 白河市
- 11. 須賀川市
- 12. 二本松市
- 13. 田村市
- 14. 伊達市
- 15. 本宮市
- 16. 桑折町
- 17. 川俣町
- 18. 大玉村
- 19. 西郷村
- 20. 三春町

【 会 津 】

- 21. 会津若松市
- 22. 喜多方市
- 23. 会津美里町

【 福島県内のその他の市町村(1から23以外) 】

- 24. 福島県内のその他の市町村  
→具体的にご記入ください

(市・町・村)

【 福島県外 】

- 25. 福島県外  
→具体的にご記入ください

(都・道・府・県)

(市・町・村)

【 その他 】

- 26. 決めかねている

【問9で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

**問9-10** 帰還しない場合に、今後のお住まいとして、希望する(既に居住している場合を含む)住宅はどのような形態ですか。(○は1つ)

- 1. 持ち家(一戸建)
- 2. 持ち家(集合住宅)
- 3. 民間賃貸住宅(一戸建)
- 4. 民間賃貸住宅(集合住宅)
- 5. 公営住宅
- 6. 給与住宅(社宅など)
- 7. 家族のどなたかのお住まい・実家
- 8. 親戚・知人宅
- 9. その他(具体的に )
- 10. 現時点では判断できない



【すべての方にうかがいます。】

**問 10** 国や自治体への要望、復興に対するあなたの展望やお気持ちなどをご自由にお書きください。



最後に、あなたご自身のことについて教えてください。

避難生活を安心して過ごしていただくためには、仮設住宅等から、早期に安定的な居住・生活環境にお移り頂くことが重要と考えております。

入居を迷っている方などに今後の居住についてご意向をお聞きしたり、復興公営住宅の進捗に応じて、復興公営住宅への入居希望をお持ちの方に希望の状況について改めてお聞きしたりする場合がありますので、差し支えが無ければ、あなたの氏名と現在のご住所、ご連絡先をご記入いただけますと幸いです（強制ではありません）。

なお、本調査は、今後の復興公営住宅整備に向けて、住民のみなさまのご意見やご要望などをお伺いすることを目的として実施しております。当該欄にご記入いただくことによって、復興公営住宅への入居申し込みや入居の確約となるわけではありません。

F1 あなたの氏名

F2 現在のあなたの住所(番地、アパート名・部屋番号までご記入ください)

F3 あなたの連絡先(電話番号)

以上でご回答いただく内容は終わりです。

ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済み調査票を入れて、

8月17日(月)までに郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。

**富岡町 住民意向調査  
報告書**

平成28年3月

復興庁 福島県 富岡町

調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター

